

令和2年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金社会福祉推進事業
「生活困窮者自立支援制度の実施状況の把握・分析等に関する調査研究事業」

改正生活困窮者自立支援法等の実施状況に関するアンケート調査 【福祉事務所設置自治体(基礎自治体・都道府県)】単純集計結果

一般社団法人北海道総合研究調査会

調査対象：福祉事務所設置自治体における生活困窮者自立相談支援事業主管部局(基礎自治体:860、都道府県:47)

調査期間：令和2年11月24日～令和2年12月21日

回収状況： 基礎自治体 507 自治体 (回収率： 59.0%)
都道府県 39 自治体 (回収率： 83.0%) ※ただし、Ⅰ～Ⅶは広島県・島根県を除く37件で集計。

Ⅰ. 基本情報

1. 自立相談支援事業の実施状況

■ 自立相談支援機関の運営方法

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
直営	173	34.1%	10	27.0%
委託	294	58.0%	28	75.7%
直営+委託	52	10.3%	1	2.7%
全体	507		37	

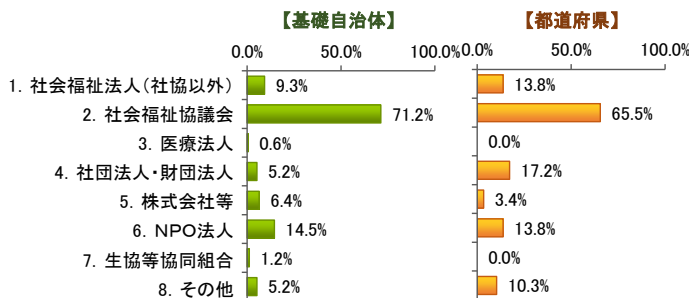
設置している自治体における平均箇所数

	基礎自治体	都道府県
	平均箇所数	平均箇所数
直営	1.2カ所	3.3カ所
委託	1.3カ所	4.8カ所
直営+委託	1.2カ所	2.0カ所
全体	1.2カ所	4.6カ所

■ 委託先

(複数回答)

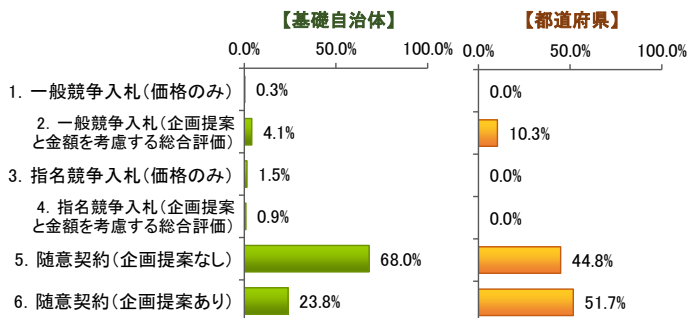
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 社会福祉法人(社協以外)	32	9.3%	4	13.8%
2. 社会福祉協議会	245	71.2%	19	65.5%
3. 医療法人	2	0.6%	0	0.0%
4. 社団法人・財団法人	18	5.2%	5	17.2%
5. 株式会社等	22	6.4%	1	3.4%
6. NPO法人	50	14.5%	4	13.8%
7. 生協等協同組合	4	1.2%	0	0.0%
8. その他	18	5.2%	3	10.3%
全体	344		29	



■ 委託先の調達方法

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 一般競争入札(価格のみ)	1	0.3%	0	0.0%
2. 一般競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	14	4.1%	3	10.3%
3. 指名競争入札(価格のみ)	5	1.5%	0	0.0%
4. 指名競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	3	0.9%	0	0.0%
5. 随意契約(企画提案なし)	234	68.0%	13	44.8%
6. 随意契約(企画提案あり)	82	23.8%	15	51.7%
全体	344		29	

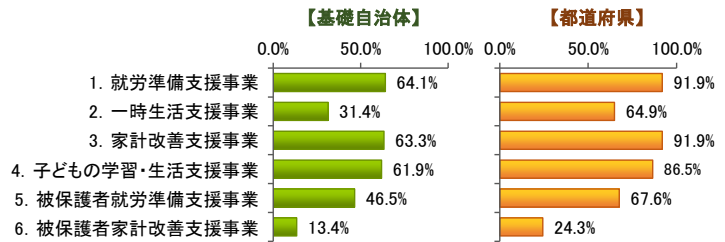


2. 任意事業等の実施状況

■任意事業の実施状況

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 就労準備支援事業	325	64.1%	34	91.9%
2. 一時生活支援事業	159	31.4%	24	64.9%
3. 家計改善支援事業	321	63.3%	34	91.9%
4. 子どもの学習・生活支援事業	314	61.9%	32	86.5%
5. 被保護者就労準備支援事業	236	46.5%	25	67.6%
6. 被保護者家計改善支援事業	68	13.4%	9	24.3%
全体	507		37	

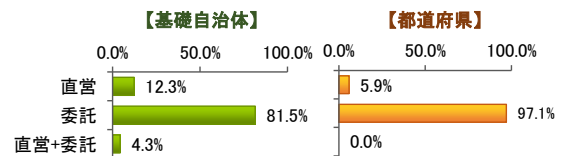


1) 就労準備支援事業

■運営方法

(複数回答)

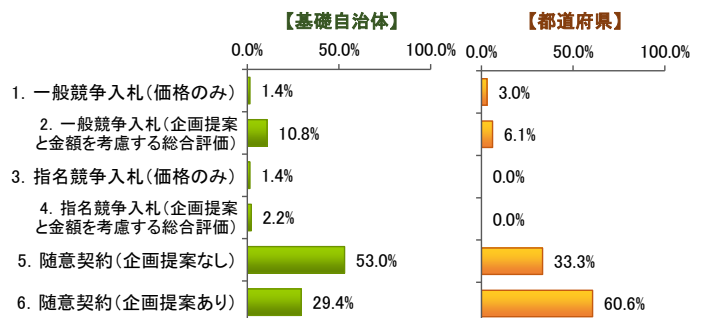
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
直営	40	12.3%	2	5.9%
委託	265	81.5%	33	97.1%
直営+委託	14	4.3%	0	0.0%
全体	325		34	



■委託先の調達方法

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 一般競争入札(価格のみ)	4	1.4%	1	3.0%
2. 一般競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	30	10.8%	2	6.1%
3. 指名競争入札(価格のみ)	4	1.4%	0	0.0%
4. 指名競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	6	2.2%	0	0.0%
5. 随意契約(企画提案なし)	148	53.0%	11	33.3%
6. 随意契約(企画提案あり)	82	29.4%	20	60.6%
全体	279		33	

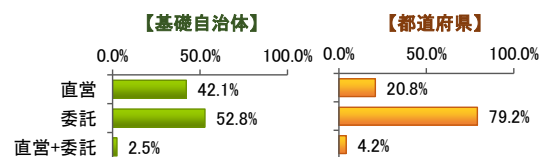


2) 一時生活支援事業

■運営方法

(複数回答)

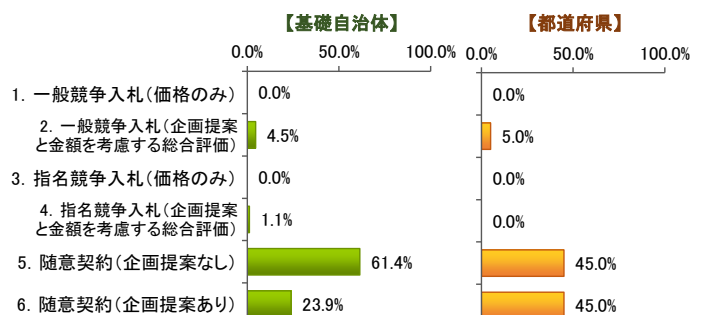
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
直営	67	42.1%	5	20.8%
委託	84	52.8%	19	79.2%
直営+委託	4	2.5%	1	4.2%
全体	159		24	



■委託先の調達方法

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 一般競争入札(価格のみ)	0	0.0%	0	0.0%
2. 一般競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	4	4.5%	1	5.0%
3. 指名競争入札(価格のみ)	0	0.0%	0	0.0%
4. 指名競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	1	1.1%	0	0.0%
5. 随意契約(企画提案なし)	54	61.4%	9	45.0%
6. 随意契約(企画提案あり)	21	23.9%	9	45.0%
全体	88		20	

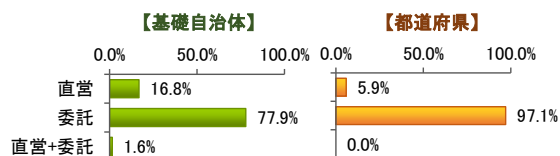


3) 家計改善支援事業

■運営方法

(複数回答)

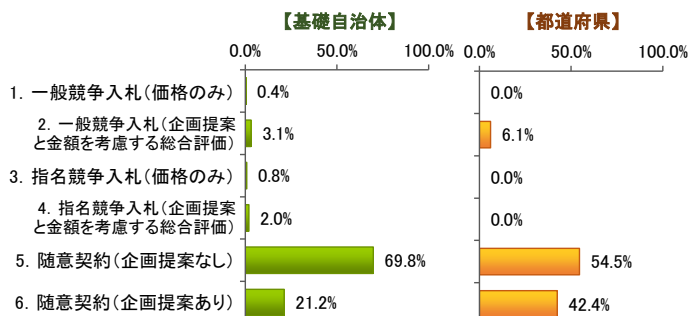
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
直営	54	16.8%	2	5.9%
委託	250	77.9%	33	97.1%
直営+委託	5	1.6%	0	0.0%
全体	321		34	



■委託先の調達方法

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 一般競争入札(価格のみ)	1	0.4%	0	0.0%
2. 一般競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	8	3.1%	2	6.1%
3. 指名競争入札(価格のみ)	2	0.8%	0	0.0%
4. 指名競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	5	2.0%	0	0.0%
5. 随意契約(企画提案なし)	178	69.8%	18	54.5%
6. 随意契約(企画提案あり)	54	21.2%	14	42.4%
全体	255		33	

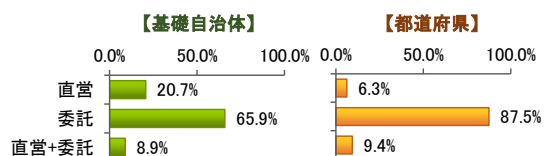


4) 子どもの学習・生活支援事業

■運営方法

(複数回答)

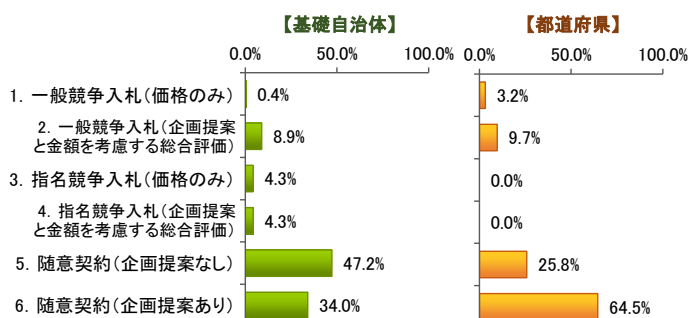
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
直営	65	20.7%	2	6.3%
委託	207	65.9%	28	87.5%
直営+委託	28	8.9%	3	9.4%
全体	314		32	



■委託先の調達方法

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 一般競争入札(価格のみ)	1	0.4%	1	3.2%
2. 一般競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	21	8.9%	3	9.7%
3. 指名競争入札(価格のみ)	10	4.3%	0	0.0%
4. 指名競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	10	4.3%	0	0.0%
5. 随意契約(企画提案なし)	111	47.2%	8	25.8%
6. 随意契約(企画提案あり)	80	34.0%	20	64.5%
全体	235		31	

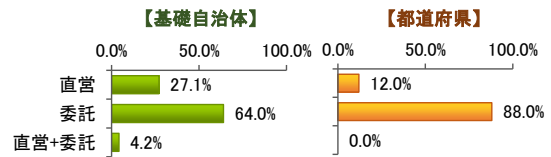


5) 被保護者就労準備支援事業

■運営方法

(複数回答)

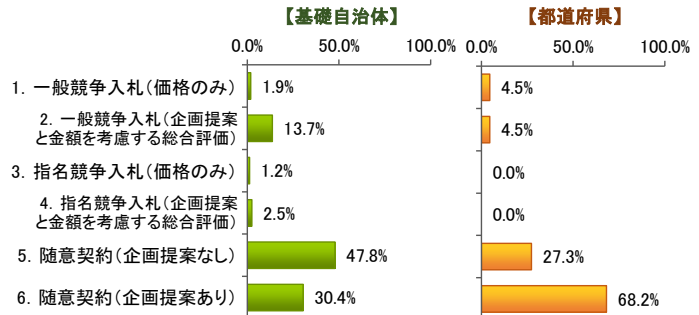
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
直営	64	27.1%	3	12.0%
委託	151	64.0%	22	88.0%
直営+委託	10	4.2%	0	0.0%
全体	236		25	



■委託先の調達方法

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 一般競争入札(価格のみ)	3	1.9%	1	4.5%
2. 一般競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	22	13.7%	1	4.5%
3. 指名競争入札(価格のみ)	2	1.2%	0	0.0%
4. 指名競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	4	2.5%	0	0.0%
5. 随意契約(企画提案なし)	77	47.8%	6	27.3%
6. 随意契約(企画提案あり)	49	30.4%	15	68.2%
全体	161		22	

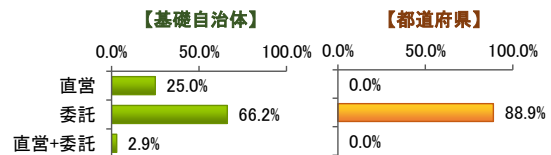


6) 被保護者家計改善支援事業

■運営方法

(複数回答)

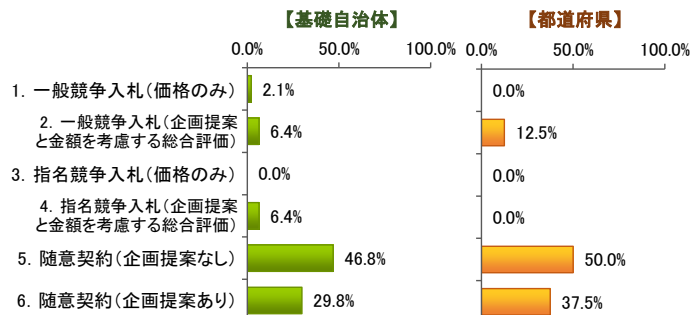
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
直営	17	25.0%	0	0.0%
委託	45	66.2%	8	88.9%
直営+委託	2	2.9%	0	0.0%
全体	68		9	



■委託先の調達方法

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 一般競争入札(価格のみ)	1	2.1%	0	0.0%
2. 一般競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	3	6.4%	1	12.5%
3. 指名競争入札(価格のみ)	0	0.0%	0	0.0%
4. 指名競争入札(企画提案と金額を考慮する総合評価)	3	6.4%	0	0.0%
5. 随意契約(企画提案なし)	22	46.8%	4	50.0%
6. 随意契約(企画提案あり)	14	29.8%	3	37.5%
全体	47		8	

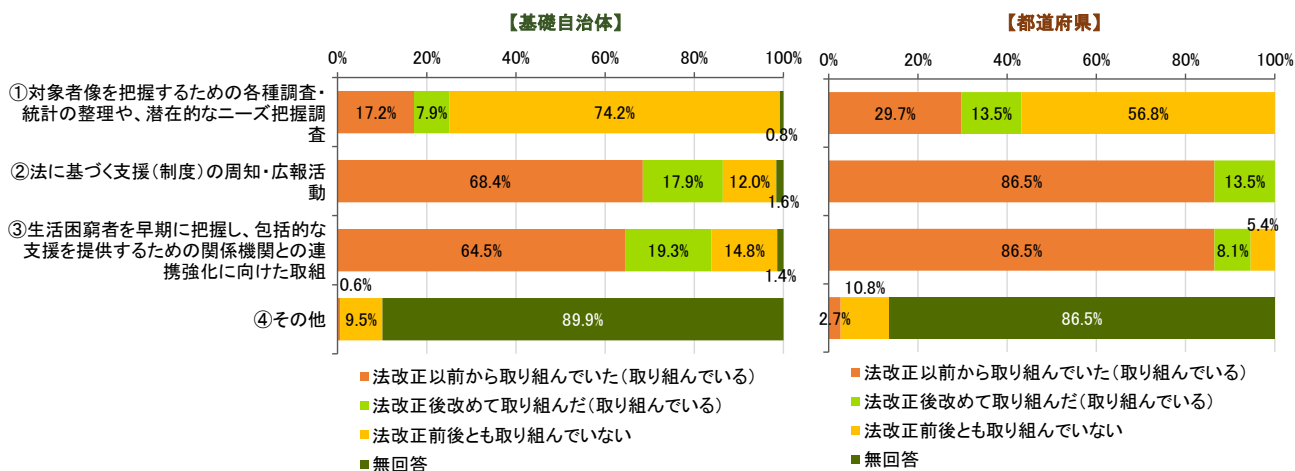


Ⅱ. 法改正事項の取組状況

1. 基本理念・定義の明確化について

(1) 基本理念及び生活困窮者の定義

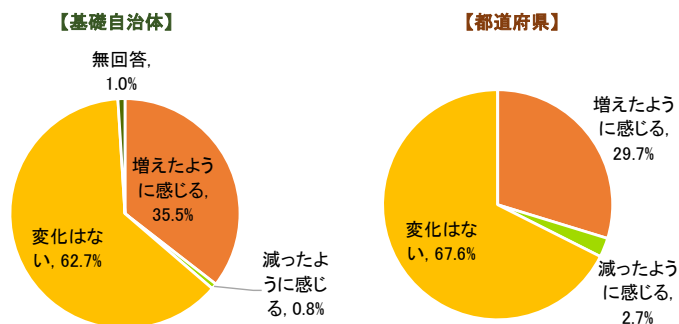
	基礎自治体					都道府県				
	法改正以前から取り組んでいた(取り組んでいる)	法改正後改めて取り組んだ(取り組んでいる)	法改正前後とも取り組んでいない	無回答	合計	法改正以前から取り組んでいた(取り組んでいる)	法改正後改めて取り組んだ(取り組んでいる)	法改正前後とも取り組んでいない	無回答	合計
①対象者像を把握するための各種調査・統計の整理や、潜在的なニーズ把握調査	87 17.2%	40 7.9%	376 74.2%	4 0.8%	507 100.0%	11 29.7%	5 13.5%	21 56.8%	0 0.0%	37 100.0%
②法に基づく支援(制度)の周知・広報活動	347 68.4%	91 17.9%	61 12.0%	8 1.6%	507 100.0%	32 86.5%	5 13.5%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
③生活困窮者を早期に把握し、包括的な支援を提供するための関係機関との連携強化に向けた取組	327 64.5%	98 19.3%	75 14.8%	7 1.4%	507 100.0%	32 86.5%	3 8.1%	2 5.4%	0 0.0%	37 100.0%
④その他	3 0.6%	0 0.0%	48 9.5%	456 89.9%	507 100.0%	1 2.7%	0 0.0%	4 10.8%	32 86.5%	37 100.0%



(2) 法改正前後の自立相談支援機関等における相談件数や相談者の属性の変化

■ 相談件数

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
増えたように感じる	180	35.5%	11	29.7%
減ったように感じる	4	0.8%	1	2.7%
変化はない	318	62.7%	25	67.6%
無回答	5	1.0%	0	0.0%
合計	507	100.0%	37	100.0%



■相談者の属性等

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. これまで自立相談支援機関等につながらなかった対象者がつながるようになった	145	28.6%	8	21.6%
2. 縦割りの制度で対応できない複合的な課題を抱える人が対象として広がった	145	28.6%	6	16.2%
3. 生活困窮に至る比較的早期の段階で対象者を把握できるようになった	97	19.1%	6	16.2%
4. その他	11	2.2%	0	0.0%
5. 変化はない	235	46.4%	25	67.6%
全体	507		37	

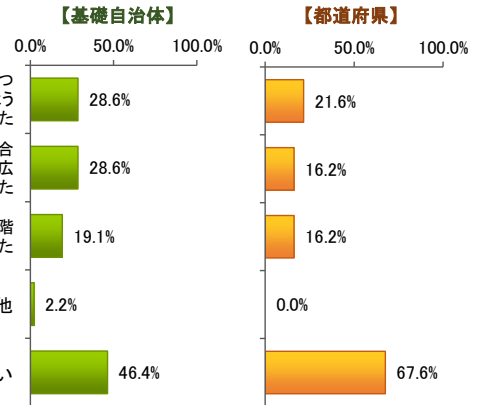
1. これまで自立相談支援機関等につながらなかった対象者がつながるようになった

2. 縦割りの制度で対応できない複合的な課題を抱える人が対象として広がった

3. 生活困窮に至る比較的早期の段階で対象者を把握できるようになった

4. その他

5. 変化はない

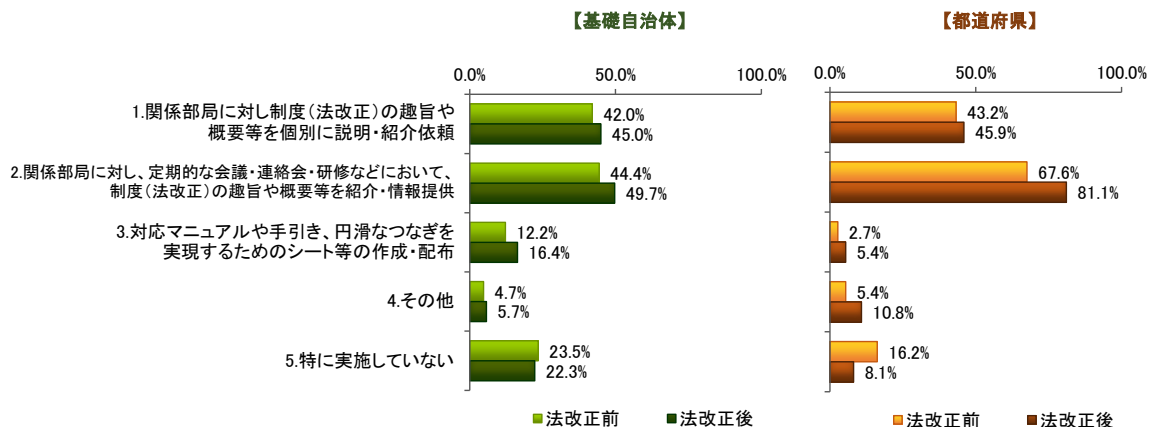


2. 自立相談支援事業等の利用勧奨について

(1) 自立相談支援事業等の「利用勧奨」の努力義務の創設に係る対応状況

(複数回答)

	基礎自治体				都道府県			
	法改正前 (H30.10.1以前)		法改正後 (H30.10.1以降)		法改正前 (H30.10.1以前)		法改正後 (H30.10.1以降)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1. 関係部局に対し制度(法改正)の趣旨や概要等を個別に説明・紹介依頼	213	42.0%	228	45.0%	16	43.2%	17	45.9%
2. 関係部局に対し、定期的な会議・連絡会・研修などにおいて、制度(法改正)の趣旨や概要等を紹介・情報提供	225	44.4%	252	49.7%	25	67.6%	30	81.1%
3. 対応マニュアルや手引き、円滑なつながりを実現するためのシート等の作成・配布	62	12.2%	83	16.4%	1	2.7%	2	5.4%
4. その他	24	4.7%	29	5.7%	2	5.4%	4	10.8%
5. 特に実施していない	119	23.5%	113	22.3%	6	16.2%	3	8.1%
全体	507		507		37		37	



(2)関係部局等との連携状況

①これまでに実際に自立相談支援事業等の利用につながった実績のある関係機関

②特に支援対象者に関する情報を把握し、自立相談支援事業等の利用につながる実績の多い関係部局

(複数回答)

	基礎自治体						都道府県					
	①法改正前 (H30.10.1以前)		①法改正後 (H30.10.1以降)		②利用につながる 実績の多い関係部 局		①法改正前 (H30.10.1以前)		①法改正後 (H30.10.1以降)		②利用につながる 実績の多い関係部 局	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1. 生活保護	490	96.6%	477	94.1%	424	83.6%	37	100.0%	37	100.0%	33	89.2%
2. 高齢者福祉	424	83.6%	426	84.0%	173	34.1%	30	81.1%	31	83.8%	17	45.9%
3. 障害者福祉	424	83.6%	421	83.0%	124	24.5%	30	81.1%	32	86.5%	12	32.4%
4. 児童福祉	381	75.1%	381	75.1%	47	9.3%	23	62.2%	24	64.9%	2	5.4%
5. ひとり親	374	73.8%	373	73.6%	73	14.4%	25	67.6%	24	64.9%	0	0.0%
6. 保健	276	54.4%	285	56.2%	17	3.4%	22	59.5%	22	59.5%	3	8.1%
7. 年金	249	49.1%	254	50.1%	5	1.0%	15	40.5%	15	40.5%	0	0.0%
8. 国保	304	60.0%	306	60.4%	34	6.7%	20	54.1%	19	51.4%	0	0.0%
9. 市町村税	348	68.6%	356	70.2%	93	18.3%	20	54.1%	23	62.2%	0	0.0%
10. 市町村営住宅	279	55.0%	299	59.0%	17	3.4%	18	48.6%	20	54.1%	0	0.0%
11. 消防	36	7.1%	35	6.9%	0	0.0%	2	5.4%	2	5.4%	0	0.0%
12. 教育委員会	188	37.1%	194	38.3%	5	1.0%	17	45.9%	18	48.6%	1	2.7%
13. 水道	175	34.5%	183	36.1%	5	1.0%	15	40.5%	14	37.8%	0	0.0%
14. ハローワーク	359	70.8%	354	69.8%	108	21.3%	28	75.7%	29	78.4%	5	13.5%
15. 年金事務所	104	20.5%	104	20.5%	0	0.0%	11	29.7%	11	29.7%	0	0.0%
16. 都道府県営住宅	99	19.5%	107	21.1%	1	0.2%	13	35.1%	15	40.5%	0	0.0%
17. 児童相談所	128	25.2%	136	26.8%	1	0.2%	18	48.6%	20	54.1%	0	0.0%
18. 学校(幼稚園、小 中学校、高校等)	163	32.1%	179	35.3%	3	0.6%	19	51.4%	20	54.1%	1	2.7%
19. 地域若者サポ ートステーション	148	29.2%	163	32.1%	5	1.0%	14	37.8%	16	43.2%	0	0.0%
20. DV関係	214	42.2%	229	45.2%	6	1.2%	14	37.8%	14	37.8%	0	0.0%
21. 社会福祉協議会	428	84.4%	427	84.2%	219	43.2%	34	91.9%	35	94.6%	24	64.9%
22. 民生委員	376	74.2%	379	74.8%	36	7.1%	29	78.4%	29	78.4%	7	18.9%
23. 自治会	110	21.7%	118	23.3%	0	0.0%	9	24.3%	9	24.3%	0	0.0%
24. 電気・ガス等ライフ ライン事業者	84	16.6%	95	18.7%	2	0.4%	11	29.7%	11	29.7%	0	0.0%
25. ひきこもり地域支 援センター	71	14.0%	96	18.9%	1	0.2%	13	35.1%	14	37.8%	0	0.0%
26. よりそいホットライ ン	49	9.7%	53	10.5%	0	0.0%	7	18.9%	6	16.2%	0	0.0%
27. 弁護士・司法書士 会等法律関係者	188	37.1%	196	38.7%	11	2.2%	15	40.5%	17	45.9%	0	0.0%
28. 消費生活センター	155	30.6%	162	32.0%	9	1.8%	13	35.1%	15	40.5%	0	0.0%
29. 警察	162	32.0%	174	34.3%	1	0.2%	14	37.8%	15	40.5%	0	0.0%
30. 地域定着支援セン ター	54	10.7%	57	11.2%	2	0.4%	11	29.7%	10	27.0%	0	0.0%
31. 病院関係者	279	55.0%	285	56.2%	23	4.5%	21	56.8%	22	59.5%	1	2.7%
32. 住まい支援関係者	92	18.1%	108	21.3%	1	0.2%	11	29.7%	14	37.8%	0	0.0%
33. シルバー人材セン ター	51	10.1%	50	9.9%	0	0.0%	9	24.3%	9	24.3%	0	0.0%
34. 保育所等子育て 関係事業者	59	11.6%	59	11.6%	1	0.2%	8	21.6%	8	21.6%	0	0.0%
全体	507		507		507		37		37		37	

これまでに実際に自立相談支援事業等の利用につながった実績のある関係機関

■法改正前と法改正後

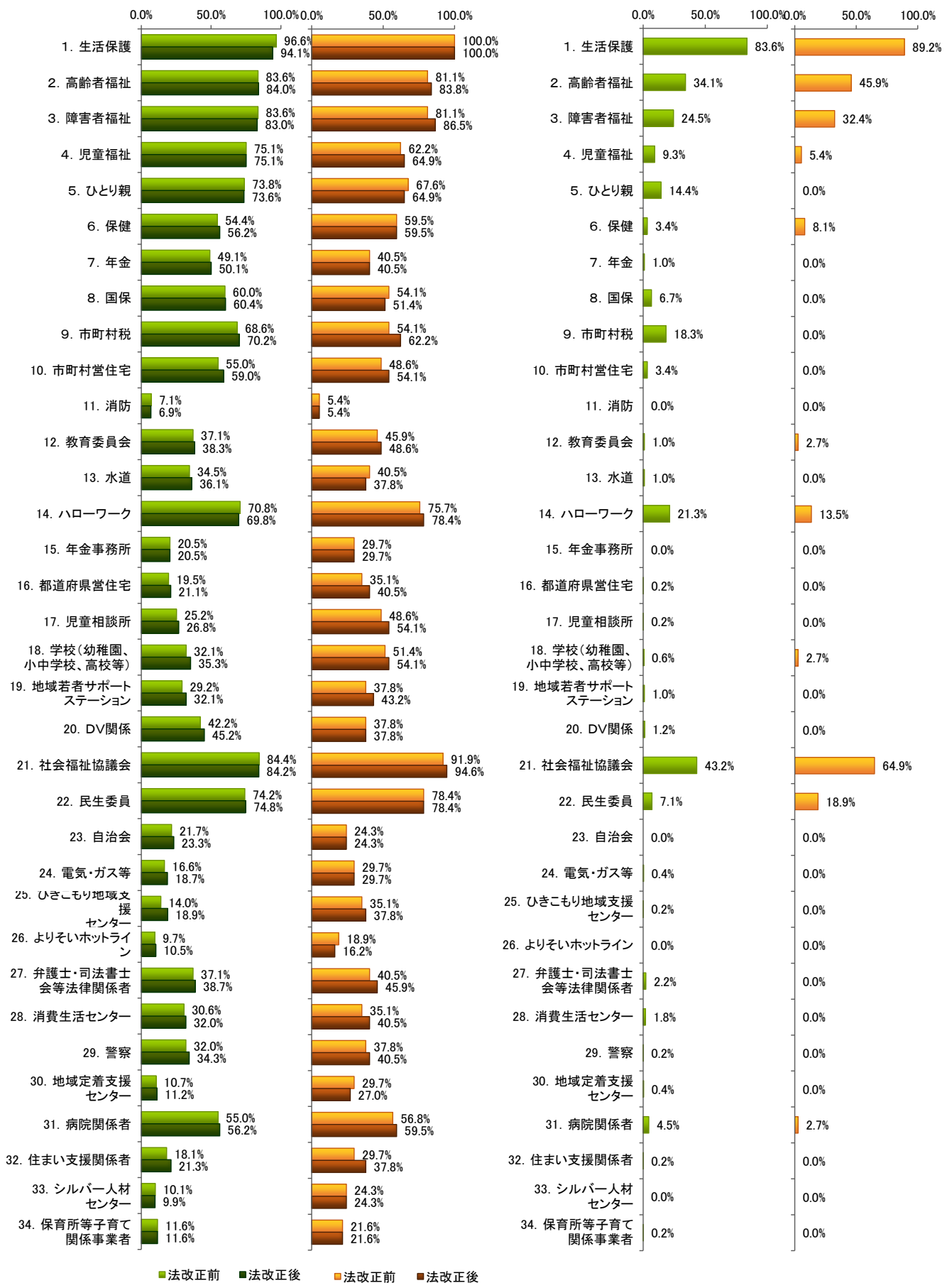
【基礎自治体】

【都道府県】

■利用につながる実績の多い関係部局

【基礎自治体】

【都道府県】

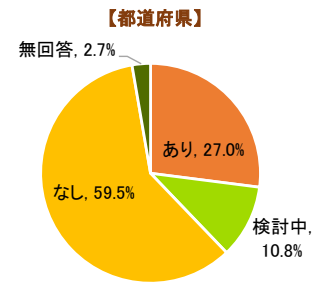
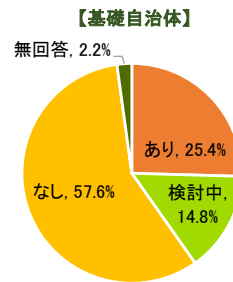


3. 関係機関間の情報共有を行う会議体(支援会議)の設置について

(1) 関係機関間の情報共有を行う会議体(支援会議)の設置有無

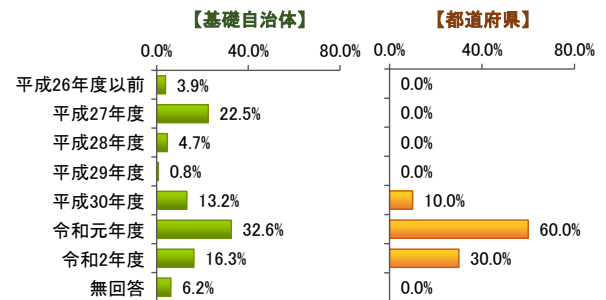
①「支援会議」の設置有無

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
あり	129	25.4%	10	27.0%
検討中	75	14.8%	4	10.8%
なし	292	57.6%	22	59.5%
無回答	11	2.2%	1	2.7%
合計	507	100.0%	37	100.0%



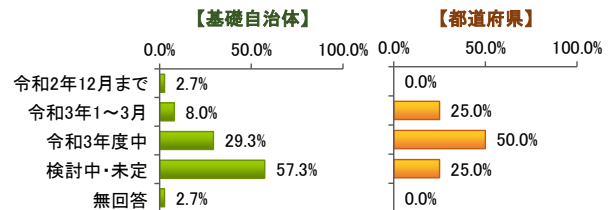
②設置時期

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
平成26年度以前	5	3.9%	0	0.0%
平成27年度	29	22.5%	0	0.0%
平成28年度	6	4.7%	0	0.0%
平成29年度	1	0.8%	0	0.0%
平成30年度	17	13.2%	1	10.0%
令和元年度	42	32.6%	6	60.0%
令和2年度	21	16.3%	3	30.0%
無回答	8	6.2%	0	0.0%
合計	129	100.0%	10	100.0%



③設置予定時期

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
令和2年12月まで	2	2.7%	0	0.0%
令和3年1～3月	6	8.0%	1	25.0%
令和3年度中	22	29.3%	2	50.0%
検討中・未定	43	57.3%	1	25.0%
無回答	2	2.7%	0	0.0%
合計	75	100.0%	4	100.0%



※(1)①「支援会議」の設置の有無で「あり」「検討中」と回答した自治体

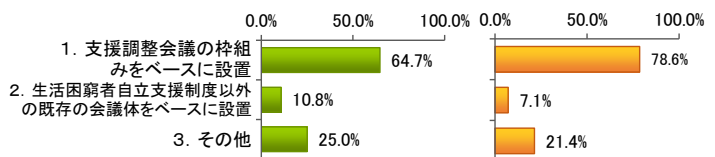
(2)「支援会議」の設置方法

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 支援調整会議の枠組みをベースに設置	132	64.7%	11	78.6%
2. 生活困窮者自立支援制度以外の既存の会議体をベースに設置	22	10.8%	1	7.1%
3. その他	51	25.0%	3	21.4%
全体	204		14	

【基礎自治体】

【都道府県】



※「2」と回答

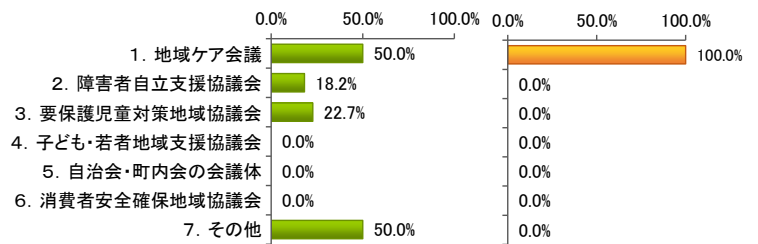
①どの会議体を活用したか

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 地域ケア会議	11	50.0%	1	100.0%
2. 障害者自立支援協議会	4	18.2%	0	0.0%
3. 要保護児童対策地域協議会	5	22.7%	0	0.0%
4. 子ども・若者地域支援協議会	0	0.0%	0	0.0%
5. 自治会・町内会の会議体	0	0.0%	0	0.0%
6. 消費者安全確保地域協議会	0	0.0%	0	0.0%
7. その他	11	50.0%	0	0.0%
全体	22		1	

【基礎自治体】

【都道府県】



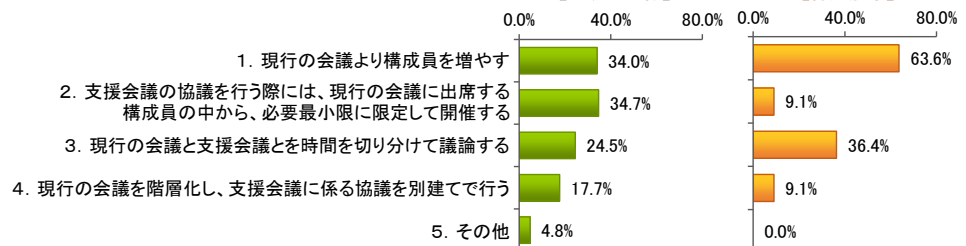
②「支援会議」を活用するにあたって具体的な方法等

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 現行の会議より構成員を増やす	50	34.0%	7	63.6%
2. 支援会議の協議を行う際には、現行の会議に出席する構成員の中から、必要最小限に限定して開催する	51	34.7%	1	9.1%
3. 現行の会議と支援会議とを時間を切り分けて議論する	36	24.5%	4	36.4%
4. 現行の会議を階層化し、支援会議に係る協議を別建てで行う	26	17.7%	1	9.1%
5. その他	7	4.8%	0	0.0%
全体	147		11	

【基礎自治体】

【都道府県】

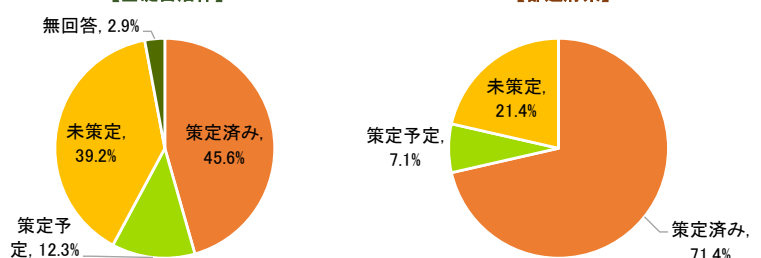


(3)「支援会議」の設置要綱の策定状況

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
策定済み	93	45.6%	10	71.4%
策定予定	25	12.3%	1	7.1%
未策定	80	39.2%	3	21.4%
無回答	6	2.9%	0	0.0%
合計	204	100.0%	14	100.0%

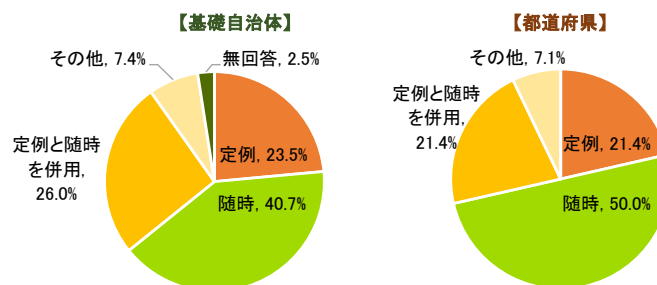
【基礎自治体】

【都道府県】



(4)「支援会議」の開催方法

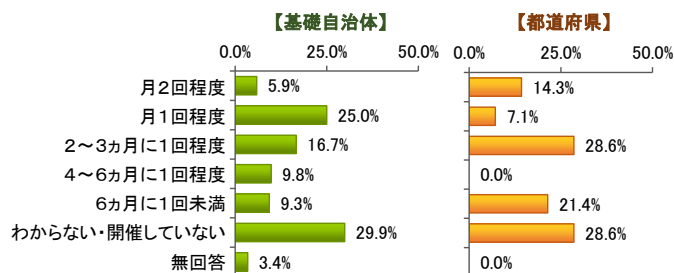
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
定例	48	23.5%	3	21.4%
随時	83	40.7%	7	50.0%
定例と随時を併用	53	26.0%	3	21.4%
その他	15	7.4%	1	7.1%
無回答	5	2.5%	0	0.0%
合計	204	100.0%	14	100.0%



(5)「支援会議」の開催頻度

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
月2回程度	12	5.9%	2	14.3%
月1回程度	51	25.0%	1	7.1%
2～3カ月に1回程度	34	16.7%	4	28.6%
4～6カ月に1回程度	20	9.8%	0	0.0%
6カ月に1回未満	19	9.3%	3	21.4%
わからない・開催していない	61	29.9%	4	28.6%
無回答	7	3.4%	0	0.0%
合計	204	100.0%	14	100.0%

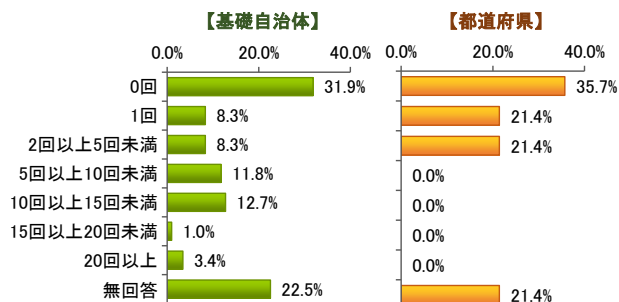
※複数設置の場合は最も頻度が多い会議体について回答



(6)「支援会議」の開催回数(令和元年度)

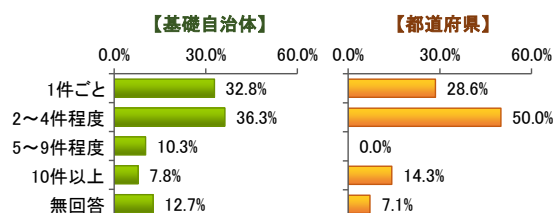
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
0回	65	31.9%	5	35.7%
1回	17	8.3%	3	21.4%
2回以上5回未満	17	8.3%	3	21.4%
5回以上10回未満	24	11.8%	0	0.0%
10回以上15回未満	26	12.7%	0	0.0%
15回以上20回未満	2	1.0%	0	0.0%
20回以上	7	3.4%	0	0.0%
無回答	46	22.5%	3	21.4%
合計	204	100.0%	14	100.0%

平均回数 5.1回 1.0回



(7)「支援会議」1回あたりの平均的な取り扱いケース数

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1件ごと	67	32.8%	4	28.6%
2～4件程度	74	36.3%	7	50.0%
5～9件程度	21	10.3%	0	0.0%
10件以上	16	7.8%	2	14.3%
無回答	26	12.7%	1	7.1%
合計	204	100.0%	14	100.0%



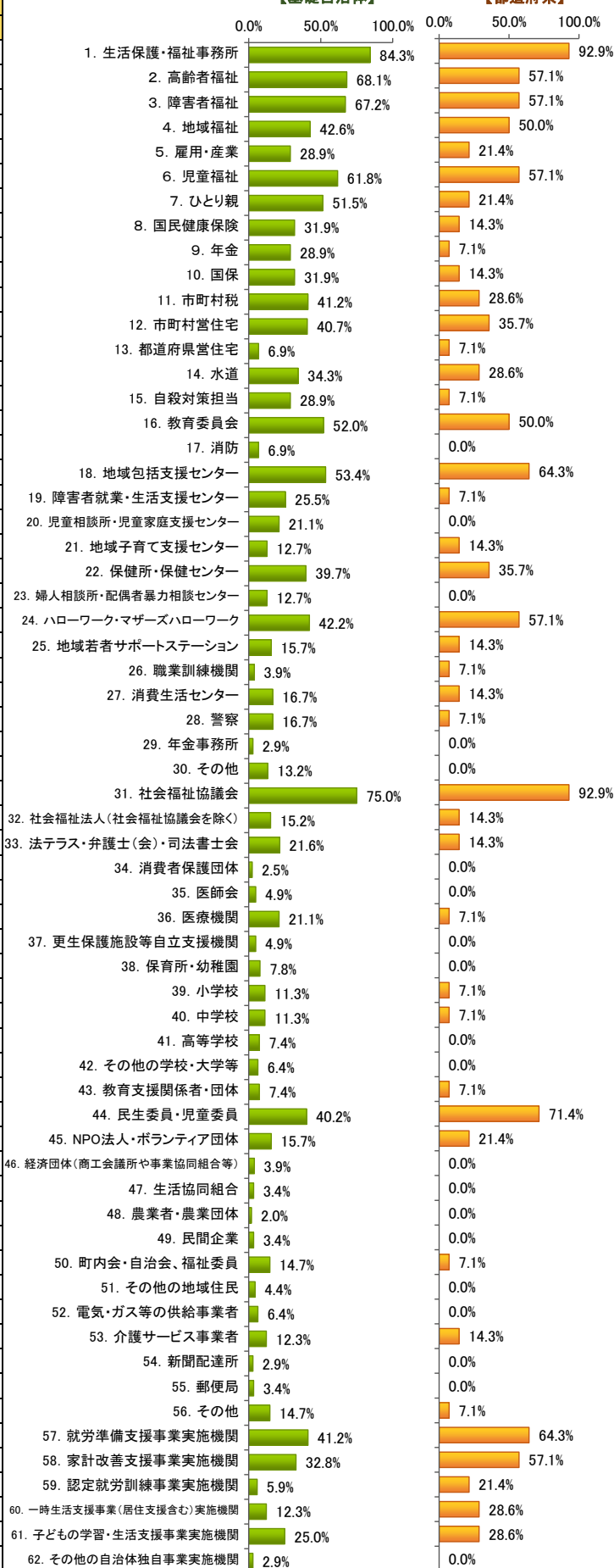
(8)「支援会議」の構成員(予定を含む)

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
行政関係	1. 生活保護・福祉事務所	172 84.3%	13 92.9%	
	2. 高齢者福祉	139 68.1%	8 57.1%	
	3. 障害者福祉	137 67.2%	8 57.1%	
	4. 地域福祉	87 42.6%	7 50.0%	
	5. 雇用・産業	59 28.9%	3 21.4%	
	6. 児童福祉	126 61.8%	8 57.1%	
	7. ひとり親	105 51.5%	3 21.4%	
	8. 国民健康保険	65 31.9%	2 14.3%	
	9. 年金	59 28.9%	1 7.1%	
	10. 国保	65 31.9%	2 14.3%	
	11. 市町村税	84 41.2%	4 28.6%	
	12. 市町村営住宅	83 40.7%	5 35.7%	
	13. 都道府県営住宅	14 6.9%	1 7.1%	
	14. 水道	70 34.3%	4 28.6%	
	15. 自殺対策担当	59 28.9%	1 7.1%	
	16. 教育委員会	106 52.0%	7 50.0%	
	17. 消防	14 6.9%	0 0.0%	
	18. 地域包括支援センター	109 53.4%	9 64.3%	
	19. 障害者就業・生活支援センター	52 25.5%	1 7.1%	
	20. 児童相談所・児童家庭支援センター	43 21.1%	0 0.0%	
	21. 地域子育て支援センター	26 12.7%	2 14.3%	
	22. 保健所・保健センター	81 39.7%	5 35.7%	
	23. 婦人相談所・配偶者暴力相談センター	26 12.7%	0 0.0%	
	24. ハローワーク・マザーズハローワーク	86 42.2%	8 57.1%	
	25. 地域若者サポートステーション	32 15.7%	2 14.3%	
	26. 職業訓練機関	8 3.9%	1 7.1%	
	27. 消費生活センター	34 16.7%	2 14.3%	
	28. 警察	34 16.7%	1 7.1%	
	29. 年金事務所	6 2.9%	0 0.0%	
	30. その他	27 13.2%	0 0.0%	
行政以外の関係機関	31. 社会福祉協議会	153 75.0%	13 92.9%	
	32. 社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)	31 15.2%	2 14.3%	
	33. 法テラス・弁護士(会)・司法書士会	44 21.6%	2 14.3%	
	34. 消費者保護団体	5 2.5%	0 0.0%	
	35. 医師会	10 4.9%	0 0.0%	
	36. 医療機関	43 21.1%	1 7.1%	
	37. 更生保護施設等自立支援機関	10 4.9%	0 0.0%	
	38. 保育所・幼稚園	16 7.8%	0 0.0%	
	39. 小学校	23 11.3%	1 7.1%	
	40. 中学校	23 11.3%	1 7.1%	
	41. 高等学校	15 7.4%	0 0.0%	
	42. その他の学校・大学等	13 6.4%	0 0.0%	
	43. 教育支援関係者・団体	15 7.4%	1 7.1%	
	44. 民生委員・児童委員	82 40.2%	10 71.4%	
	45. NPO法人・ボランティア団体	32 15.7%	3 21.4%	
	46. 経済団体(商工会議所や事業協同組合等)	8 3.9%	0 0.0%	
	47. 生活協同組合	7 3.4%	0 0.0%	
	48. 農業者・農業団体	4 2.0%	0 0.0%	
	49. 民間企業	7 3.4%	0 0.0%	
	50. 町内会・自治会、福祉委員	30 14.7%	1 7.1%	
	51. その他の地域住民	9 4.4%	0 0.0%	
	52. 電気・ガス等の供給事業者	13 6.4%	0 0.0%	
	53. 介護サービス事業者	25 12.3%	2 14.3%	
	54. 新聞配達所	6 2.9%	0 0.0%	
	55. 郵便局	7 3.4%	0 0.0%	
	56. その他	30 14.7%	1 7.1%	
任意事業実施機関	57. 就労準備支援事業実施機関	84 41.2%	9 64.3%	
	58. 家計改善支援事業実施機関	67 32.8%	8 57.1%	
	59. 認定就労訓練事業実施機関	12 5.9%	3 21.4%	
	60. 一時生活支援事業(居住支援含む)実施機関	25 12.3%	4 28.6%	
	61. 子どもの学習・生活支援事業実施機関	51 25.0%	4 28.6%	
	62. その他の自治体独自事業実施機関	6 2.9%	0 0.0%	
全体		204	14	

【基礎自治体】

【都道府県】

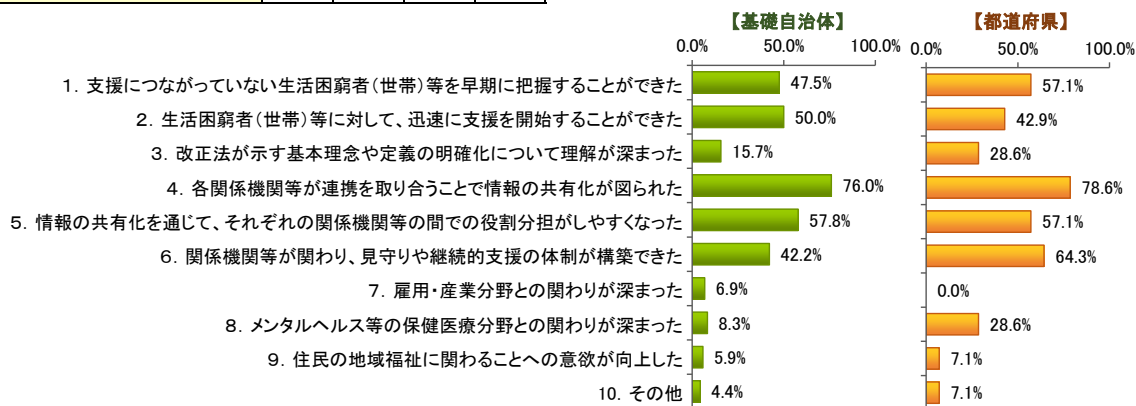


※複数の支援会議が設置されている場合は1つにでも含まれている機関

(9)「支援会議」の開催による効果

(複数回答)

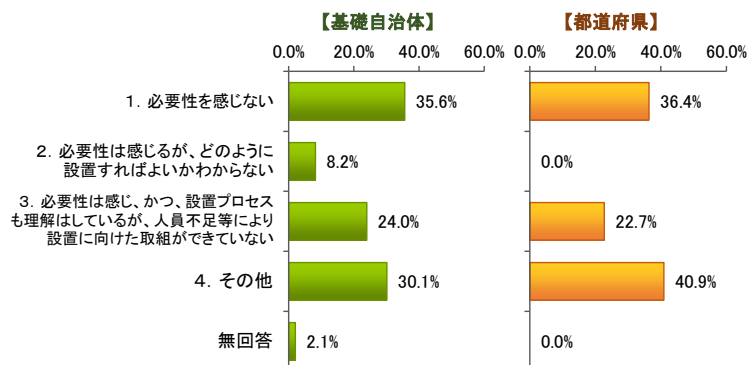
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 支援につながっていない生活困窮者(世帯)等を早期に把握することができた	97	47.5%	8	57.1%
2. 生活困窮者(世帯)等に対して、迅速に支援を開始することができた	102	50.0%	6	42.9%
3. 改正法が示す基本理念や定義の明確化について理解が深まった	32	15.7%	4	28.6%
4. 各関係機関等が連携を取り合うことで情報の共有化が図られた	155	76.0%	11	78.6%
5. 情報の共有化を通じて、それぞれの関係機関等での役割分担がしやすくなった	118	57.8%	8	57.1%
6. 関係機関等が関わり、見守りや継続的支援の体制が構築できた	86	42.2%	9	64.3%
7. 雇用・産業分野との関わりが深まった	14	6.9%	0	0.0%
8. メンタルヘルス等の保健医療分野との関わりが深まった	17	8.3%	4	28.6%
9. 住民の地域福祉に関わることへの意欲が向上した	12	5.9%	1	7.1%
10. その他	9	4.4%	1	7.1%
全体	204		14	



※(1)①「支援会議」の設置の有無で「3. なし」と回答した自治体

(11)「支援会議」を設置しない理由

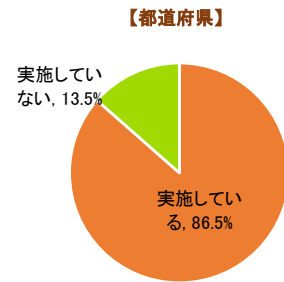
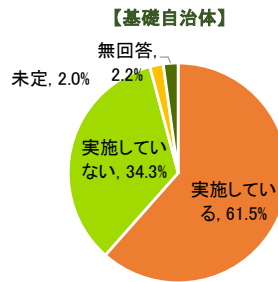
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 必要性を感じない	104	35.6%	8	36.4%
2. 必要性は感じるが、どのように設置すればよいかわからない	24	8.2%	0	0.0%
3. 必要性は感じ、かつ、設置プロセスも理解はしているが、人員不足等により設置に向けた取組ができていない	70	24.0%	5	22.7%
4. その他	88	30.1%	9	40.9%
無回答	6	2.1%	0	0.0%
合計	292	100.0%	22	100.0%



4. 「子どもの学習・生活支援事業」の実施状況について

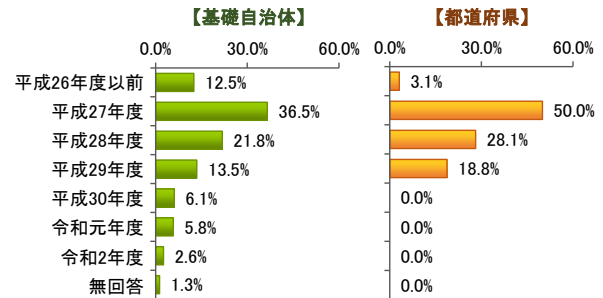
(1) 事業の実施状況

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
実施している	312	61.5%	32	86.5%
実施していない	174	34.3%	5	13.5%
未定	10	2.0%	0	0.0%
無回答	11	2.2%	0	0.0%
合計	507	100.0%	37	100.0%



■事業開始時期

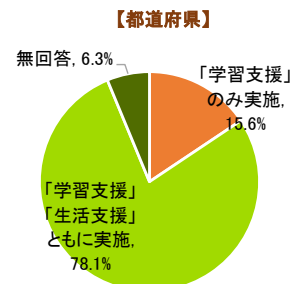
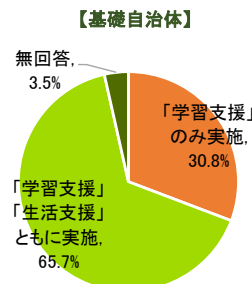
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
平成26年度以前	39	12.5%	1	3.1%
平成27年度	114	36.5%	16	50.0%
平成28年度	68	21.8%	9	28.1%
平成29年度	42	13.5%	6	18.8%
平成30年度	19	6.1%	0	0.0%
令和元年度	18	5.8%	0	0.0%
令和2年度	8	2.6%	0	0.0%
無回答	4	1.3%	0	0.0%
合計	312	100.0%	32	100.0%



※(1)事業の実施状況で「1. 実施している」と回答した自治体

①実施している事業

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
「学習支援」のみ実施	96	30.8%	5	15.6%
「学習支援」「生活支援」ともに実施	205	65.7%	25	78.1%
無回答	11	3.5%	2	6.3%
合計	312	100.0%	32	100.0%

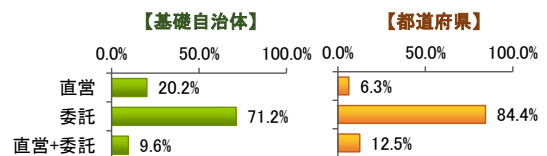


②「学習支援」の運営形態

■運営方法

(複数回答)

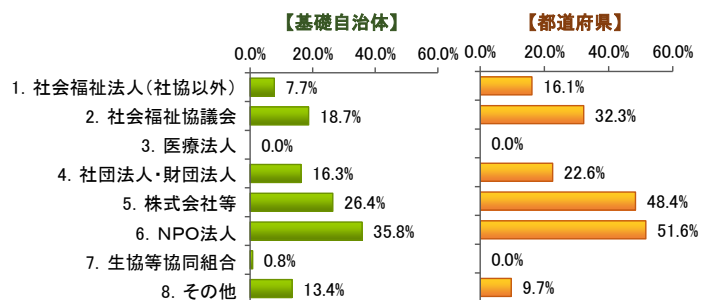
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
直営	63	20.2%	2	6.3%
委託	222	71.2%	27	84.4%
直営+委託	30	9.6%	4	12.5%
全体	312		32	



■委託先

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 社会福祉法人(社協以外)	19	7.7%	5	16.1%
2. 社会福祉協議会	46	18.7%	10	32.3%
3. 医療法人	0	0.0%	0	0.0%
4. 社団法人・財団法人	40	16.3%	7	22.6%
5. 株式会社等	65	26.4%	15	48.4%
6. NPO法人	88	35.8%	16	51.6%
7. 生協等協同組合	2	0.8%	0	0.0%
8. その他	33	13.4%	3	9.7%
全体	246		31	



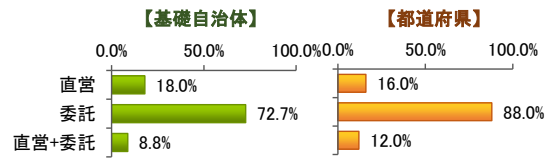
※(1)①で「2.「学習支援」「生活支援」ともに実施」と回答している場合

③「生活支援」の運営形態

■運営方法

(複数回答)

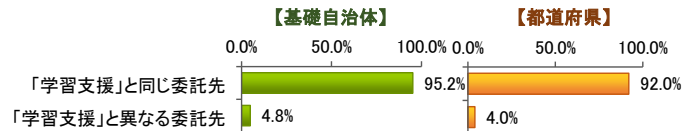
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
直営	37	18.0%	4	16.0%
委託	149	72.7%	22	88.0%
直営+委託	18	8.8%	3	12.0%
全体	205		25	



■委託先

(複数回答)

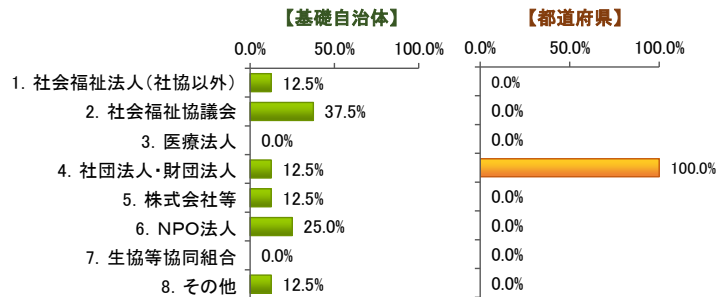
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
「学習支援」と同じ委託先	158	95.2%	23	92.0%
「学習支援」と異なる委託先	8	4.8%	1	4.0%
全体	166		25	



■委託先

(複数回答)

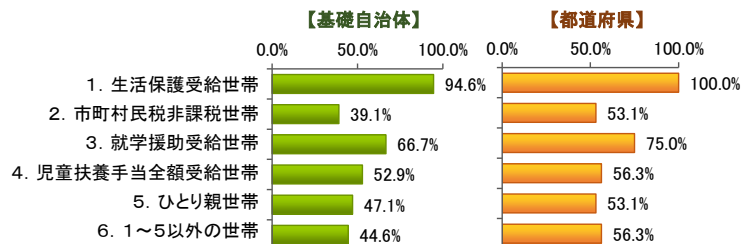
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 社会福祉法人(社協以外)	1	12.5%	0	0.0%
2. 社会福祉協議会	3	37.5%	0	0.0%
3. 医療法人	0	0.0%	0	0.0%
4. 社団法人・財団法人	1	12.5%	1	100.0%
5. 株式会社等	1	12.5%	0	0.0%
6. NPO法人	2	25.0%	0	0.0%
7. 生協等協同組合	0	0.0%	0	0.0%
8. その他	1	12.5%	0	0.0%
全体	8		1	



④「子どもの学習・生活支援事業」の対象世帯

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 生活保護受給世帯	295	94.6%	32	100.0%
2. 市町村民税非課税世帯	122	39.1%	17	53.1%
3. 就学援助受給世帯	208	66.7%	24	75.0%
4. 児童扶養手当全額受給世帯	165	52.9%	18	56.3%
5. ひとり親世帯	147	47.1%	17	53.1%
6. 1～5以外の世帯	139	44.6%	18	56.3%
全体	312		32	

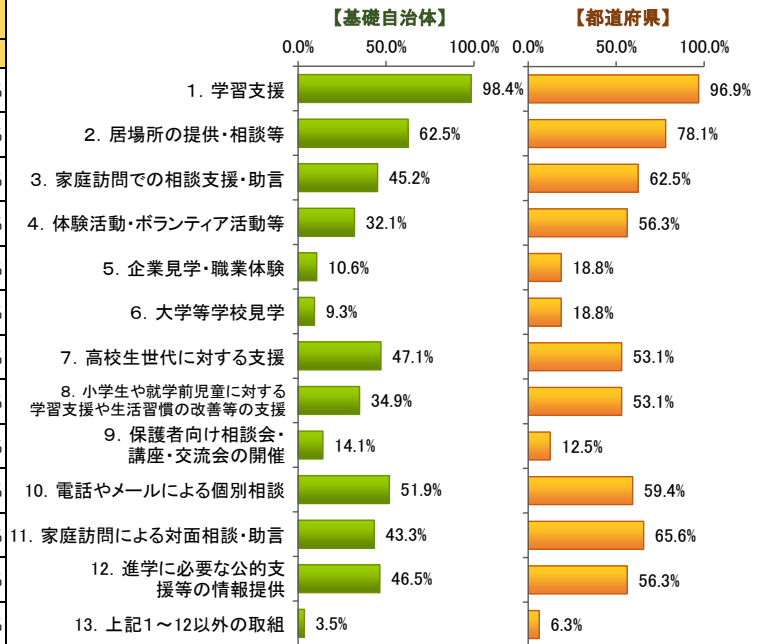


(2)実施の事業内容

①具体的な支援内容

(複数回答)

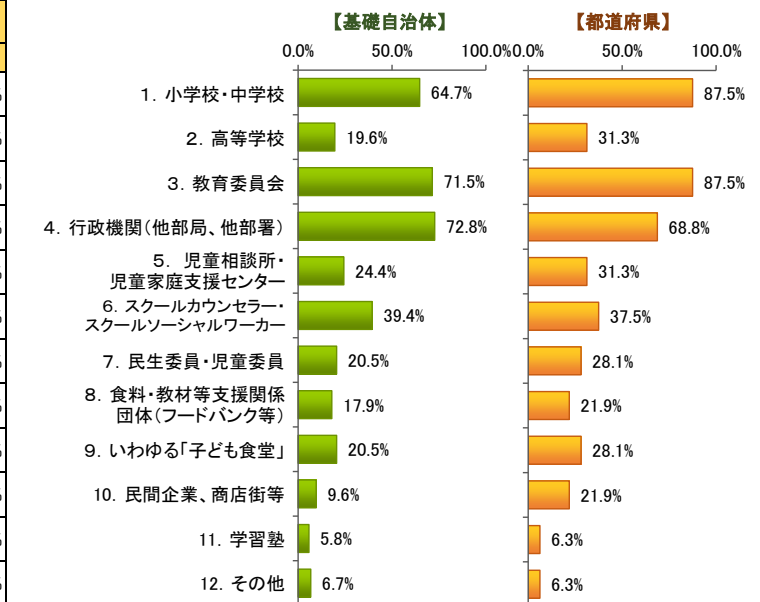
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 学習支援	307	98.4%	31	96.9%
2. 居場所の提供・相談等	195	62.5%	25	78.1%
3. 家庭訪問での相談支援・助言	141	45.2%	20	62.5%
4. 体験活動・ボランティア活動等	100	32.1%	18	56.3%
5. 企業見学・職業体験	33	10.6%	6	18.8%
6. 大学等学校見学	29	9.3%	6	18.8%
7. 高校生世代に対する支援	147	47.1%	17	53.1%
8. 小学生や就学前児童に対する学習支援や生活習慣の改善等の支援	109	34.9%	17	53.1%
9. 保護者向け相談会・講座・交流会の開催	44	14.1%	4	12.5%
10. 電話やメールによる個別相談	162	51.9%	19	59.4%
11. 家庭訪問による対面相談・助言	135	43.3%	21	65.6%
12. 進学に必要な公的支援等の情報提供	145	46.5%	18	56.3%
13. 上記1～12以外の取組	11	3.5%	2	6.3%
全体	312		32	



②事業実施するにあたっての連携先

(複数回答)

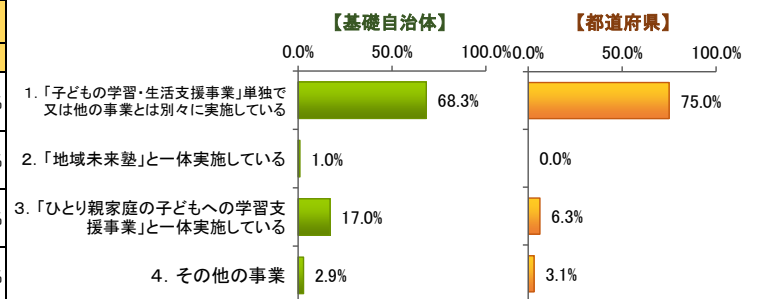
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 小学校・中学校	202	64.7%	28	87.5%
2. 高等学校	61	19.6%	10	31.3%
3. 教育委員会	223	71.5%	28	87.5%
4. 行政機関(他部局、他部署)	227	72.8%	22	68.8%
5. 児童相談所・児童家庭支援センター	76	24.4%	10	31.3%
6. スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	123	39.4%	12	37.5%
7. 民生委員・児童委員	64	20.5%	9	28.1%
8. 食料・教材等支援関係団体(フードバンク等)	56	17.9%	7	21.9%
9. いわゆる「子ども食堂」	64	20.5%	9	28.1%
10. 民間企業、商店街等	30	9.6%	7	21.9%
11. 学習塾	18	5.8%	2	6.3%
12. その他	21	6.7%	2	6.3%
全体	312		32	



③ほかの学習支援事業等との一体実施

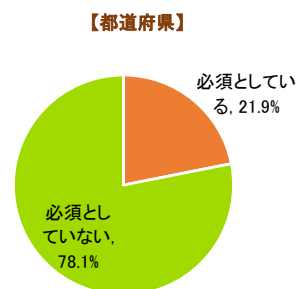
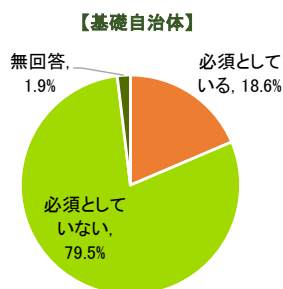
(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 「子どもの学習・生活支援事業」単独で又は他の事業とは別々に実施している	213	68.3%	24	75.0%
2. 「地域未来塾」と一体実施している	3	1.0%	0	0.0%
3. 「ひとり親家庭の子どもへの学習支援事業」と一体実施している	53	17.0%	2	6.3%
4. その他の事業	9	2.9%	1	3.1%
全体	312		32	



④子どもの事業参加にあたり、親の自立相談支援機関への相談の必須

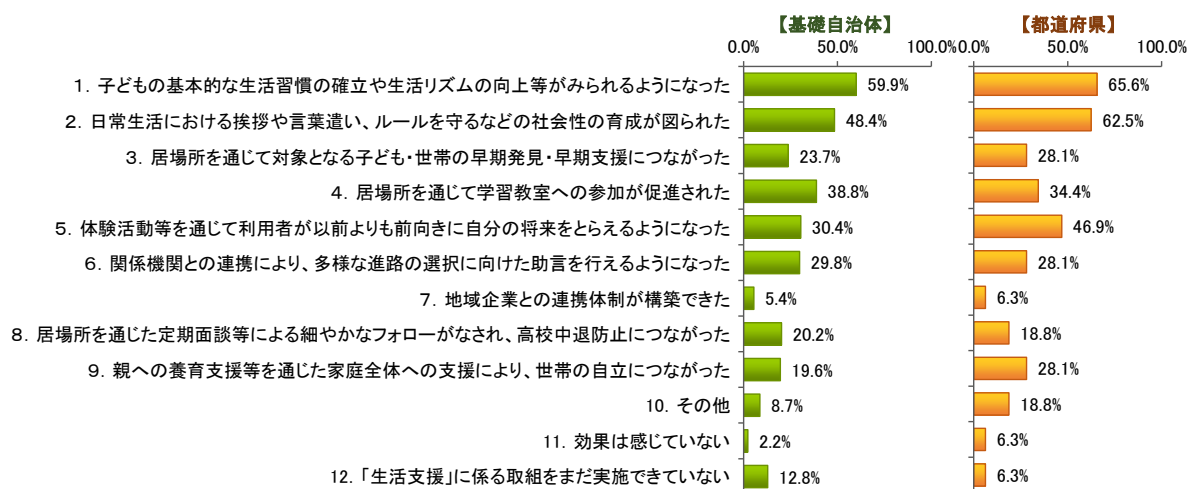
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
必須としている	58	18.6%	7	21.9%
必須としていない	248	79.5%	25	78.1%
無回答	6	1.9%	0	0.0%
合計	312	100.0%	32	100.0%



(3)子どもの学習支援事業(「子どもの学習・生活支援事業」)の強化による効果

(複数回答)

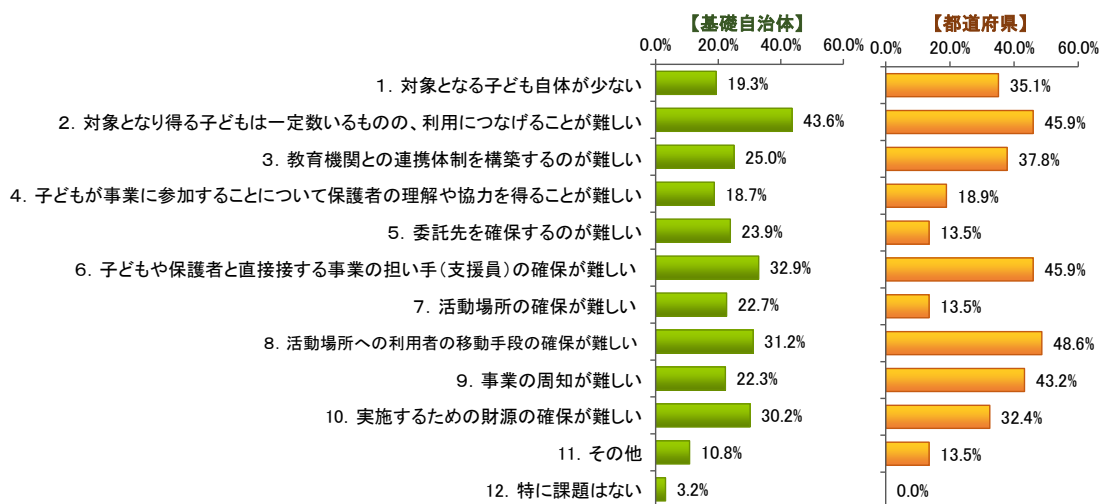
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上等がみられるようになった	187	59.9%	21	65.6%
2. 日常生活における挨拶や言葉遣い、ルールを守るなどの社会性の育成が図られた	151	48.4%	20	62.5%
3. 居場所を通じて対象となる子ども・世帯の早期発見・早期支援につながった	74	23.7%	9	28.1%
4. 居場所を通じて学習教室への参加が促進された	121	38.8%	11	34.4%
5. 体験活動等を通じて利用者が以前よりも前向きに自分の将来をとらえるようになった	95	30.4%	15	46.9%
6. 関係機関との連携により、多様な進路の選択に向けた助言を行えるようになった	93	29.8%	9	28.1%
7. 地域企業との連携体制が構築できた	17	5.4%	2	6.3%
8. 居場所を通じた定期面談等による細やかなフォローがなされ、高校中退防止につながった	63	20.2%	6	18.8%
9. 親への養育支援等を通じた家庭全体への支援により、世帯の自立につながった	61	19.6%	9	28.1%
10. その他	27	8.7%	6	18.8%
11. 効果は感じていない	7	2.2%	2	6.3%
12. 「生活支援」に係る取組をまだ実施できていない	40	12.8%	2	6.3%
全体	312		32	



(4)「子どもの学習・生活支援事業」の実施にあたっての課題

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 対象となる子ども自体が少ない	98	19.3%	13	35.1%
2. 対象となり得る子どもは一定数いるものの、利用につなげることが難しい	221	43.6%	17	45.9%
3. 教育機関との連携体制を構築するのが難しい	127	25.0%	14	37.8%
4. 子どもが事業に参加することについて保護者の理解や協力を得ることが難しい	95	18.7%	7	18.9%
5. 委託先を確保するのが難しい	121	23.9%	5	13.5%
6. 子どもや保護者と直接接する事業の担い手(支援員)の確保が難しい	167	32.9%	17	45.9%
7. 活動場所の確保が難しい	115	22.7%	5	13.5%
8. 活動場所への利用者の移動手段の確保が難しい	158	31.2%	18	48.6%
9. 事業の周知が難しい	113	22.3%	16	43.2%
10. 実施するための財源の確保が難しい	153	30.2%	12	32.4%
11. その他	55	10.8%	5	13.5%
12. 特に課題はない	16	3.2%	0	0.0%
全体	507		37	

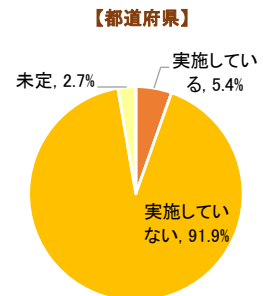
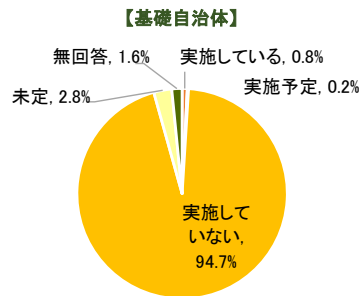


5. 「地域居住支援事業」の実施状況について

(1) 事業の実施状況

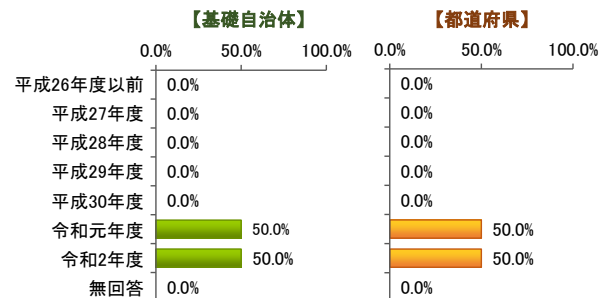
① 地域居住支援事業の実施状況

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
実施している	4	0.8%	2	5.4%
実施予定	1	0.2%	0	0.0%
実施していない	480	94.7%	34	91.9%
未定	14	2.8%	1	2.7%
無回答	8	1.6%	0	0.0%
合計	507	100.0%	37	100.0%



■ 事業開始時期

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
平成26年度以前	0	0.0%	0	0.0%
平成27年度	0	0.0%	0	0.0%
平成28年度	0	0.0%	0	0.0%
平成29年度	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	0	0.0%	0	0.0%
令和元年度	2	50.0%	1	50.0%
令和2年度	2	50.0%	1	50.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
合計	4	100.0%	2	100.0%



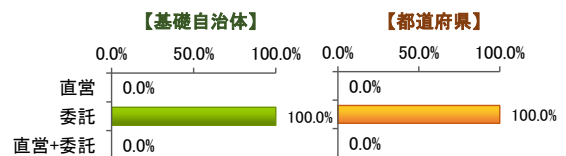
※(1)事業の実施状況で「1. 実施している」「2. 実施予定」と回答した自治体

② 「地域居住支援事業」の運営形態

■ 運営方法

(複数回答)

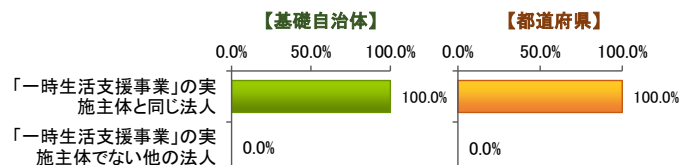
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
直営	0	0.0%	0	0.0%
委託	4	100.0%	2	100.0%
直営+委託	0	0.0%	0	0.0%
全体	4		2	



■ 委託先

(複数回答)

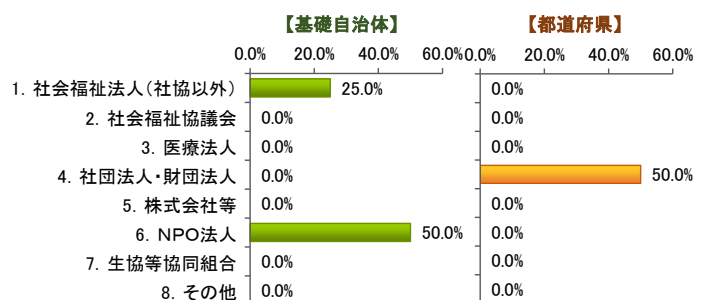
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
「一時生活支援事業」の実施主体と同じ法人	4	100.0%	2	100.0%
「一時生活支援事業」の実施主体でない他の法人	0	0.0%	0	0.0%
全体	4		2	



■ 「一時生活支援事業」の委託先

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 社会福祉法人(社協以外)	1	25.0%	0	0.0%
2. 社会福祉協議会	0	0.0%	0	0.0%
3. 医療法人	0	0.0%	0	0.0%
4. 社団法人・財団法人	0	0.0%	1	50.0%
5. 株式会社等	0	0.0%	0	0.0%
6. NPO法人	2	50.0%	0	0.0%
7. 生協等協同組合	0	0.0%	0	0.0%
8. その他	0	0.0%	0	0.0%
全体	4		2	

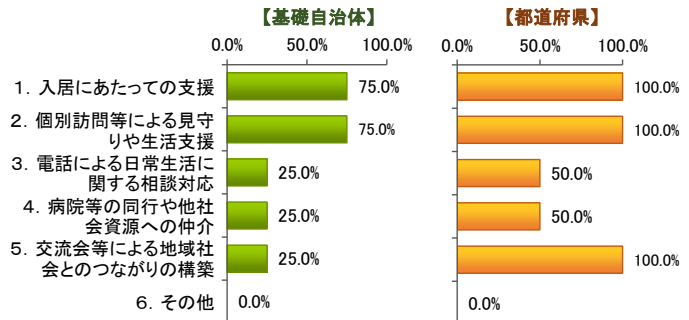


(2)実施の事業内容

①「地域居住支援事業」の想定している支援内容

(複数回答)

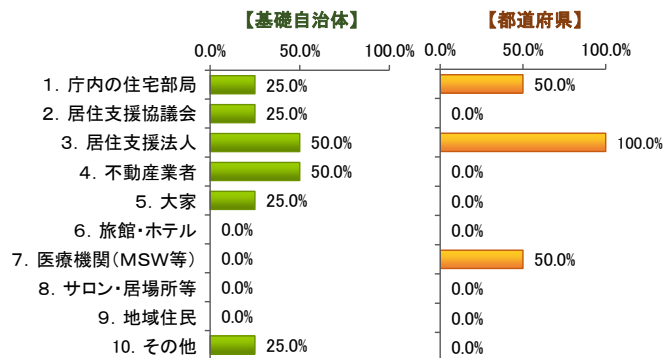
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 入居にあたっての支援	3	75.0%	2	100.0%
2. 個別訪問等による見守りや生活支援	3	75.0%	2	100.0%
3. 電話による日常生活に関する相談対応	1	25.0%	1	50.0%
4. 病院等の同行や他社会資源への仲介	1	25.0%	1	50.0%
5. 交流会等による地域社会とのつながりの構築	1	25.0%	2	100.0%
6. その他	0	0.0%	0	0.0%
全体	4		2	



②事業を実施するにあたっての連携先

(複数回答)

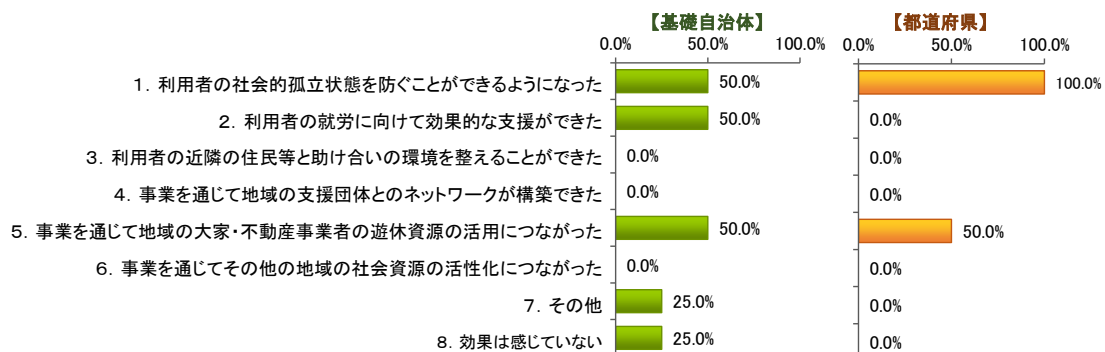
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 庁内の住宅部局	1	25.0%	1	50.0%
2. 居住支援協議会	1	25.0%	0	0.0%
3. 居住支援法人	2	50.0%	2	100.0%
4. 不動産業者	2	50.0%	0	0.0%
5. 大家	1	25.0%	0	0.0%
6. 旅館・ホテル	0	0.0%	0	0.0%
7. 医療機関(MSW等)	0	0.0%	1	50.0%
8. サロン・居場所等	0	0.0%	0	0.0%
9. 地域住民	0	0.0%	0	0.0%
10. その他	1	25.0%	0	0.0%
全体	4		2	



(3)「地域居住支援事業」の実施による効果

(複数回答)

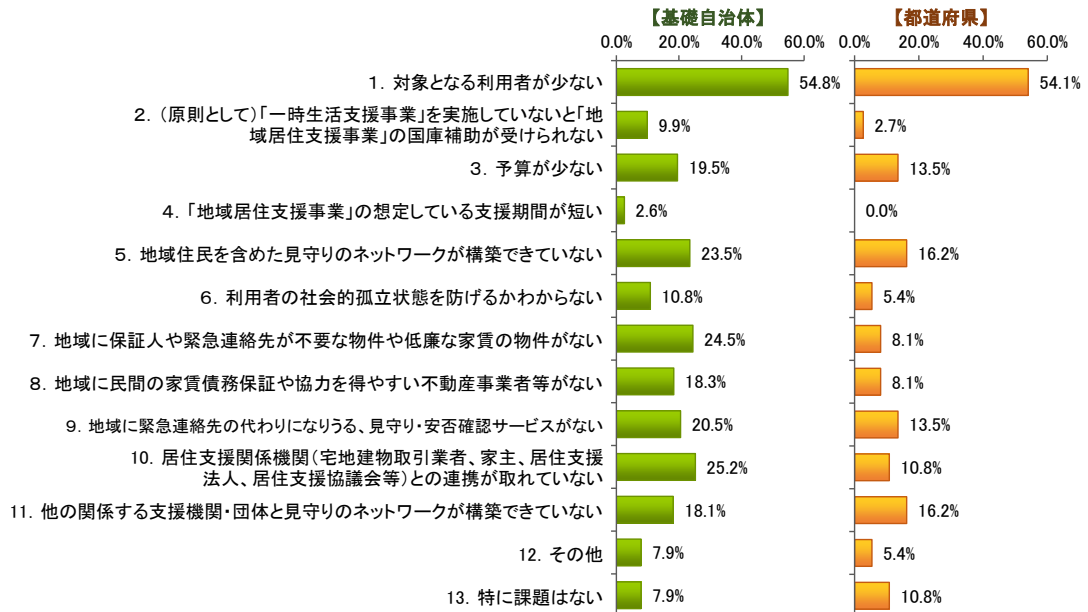
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 利用者の社会的孤立状態を防ぐことができたようになった	2	50.0%	2	100.0%
2. 利用者の就労に向けて効果的な支援ができた	2	50.0%	0	0.0%
3. 利用者の近隣の住民等と助け合いの環境を整えることができた	0	0.0%	0	0.0%
4. 事業を通じて地域の支援団体とのネットワークが構築できた	0	0.0%	0	0.0%
5. 事業を通じて地域の大家・不動産事業者の遊休資源の活用につながった	2	50.0%	1	50.0%
6. 事業を通じてその他の地域の社会資源の活性化につながった	0	0.0%	0	0.0%
7. その他	1	25.0%	0	0.0%
8. 効果は感じていない	1	25.0%	0	0.0%
全体	4		2	



(4)「地域居住支援事業」の実施にあたっての課題

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 対象となる利用者が少ない	278	54.8%	20	54.1%
2. (原則として)「一時生活支援事業」を実施していないと「地域居住支援事業」の国庫補助が受けられない	50	9.9%	1	2.7%
3. 予算が少ない	99	19.5%	5	13.5%
4. 「地域居住支援事業」の想定している支援期間が短い	13	2.6%	0	0.0%
5. 地域住民を含めた見守りのネットワークが構築できていない	119	23.5%	6	16.2%
6. 利用者の社会的孤立状態を防げるかわからない	55	10.8%	2	5.4%
7. 地域に保証人や緊急連絡先が不要な物件や低廉な家賃の物件がない	124	24.5%	3	8.1%
8. 地域に民間の家賃債務保証や協力を得やすい不動産事業者等がない	93	18.3%	3	8.1%
9. 地域に緊急連絡先の代わりになりうる、見守り・安否確認サービスがない	104	20.5%	5	13.5%
10. 居住支援関係機関(宅地建物取引業者、家主、居住支援法人、居住支援協議会等)との連携が取れていない	128	25.2%	4	10.8%
11. 他の関係する支援機関・団体と見守りのネットワークが構築できていない	92	18.1%	6	16.2%
12. その他	40	7.9%	2	5.4%
13. 特に課題はない	40	7.9%	4	10.8%
全体	507		37	

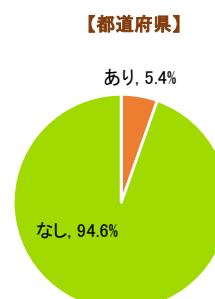
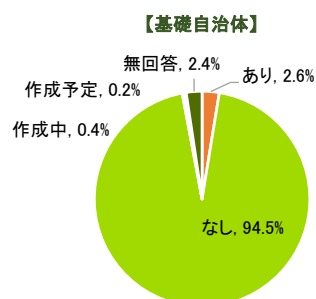


6. 「認定就労訓練事業」の実施の更なる促進について

(1) 優先発注の状況

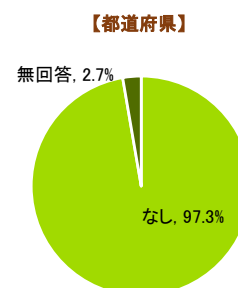
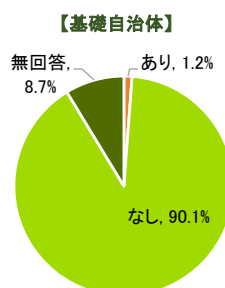
① 認定就労訓練事業所の優先発注基準の有無

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
あり	13	2.6%	2	5.4%
なし	479	94.5%	35	94.6%
作成中	2	0.4%	0	0.0%
作成予定	1	0.2%	0	0.0%
無回答	12	2.4%	0	0.0%
合計	507	100.0%	37	100.0%



② 認定就労訓練事業所から優先的に調達した実績

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
あり	6	1.2%	0	0.0%
なし	457	90.1%	36	97.3%
無回答	44	8.7%	1	2.7%
合計	507	100.0%	37	100.0%

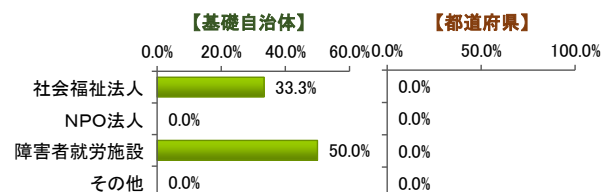


※「あり」と回答した場合

■ 契約の相手先

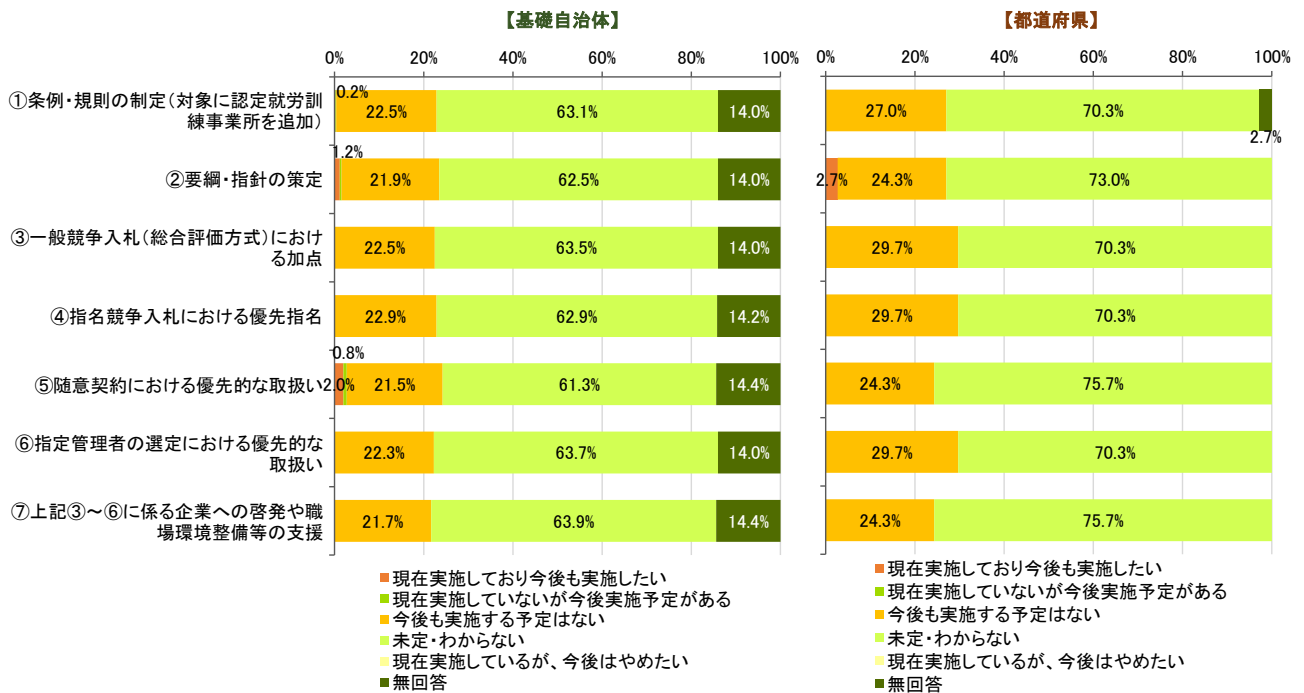
(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
社会福祉法人	2	33.3%		
NPO法人	0	0.0%		
障害者就労施設	3	50.0%		
その他	0	0.0%		
全体	6			



(2) 認定就労訓練事業所からの優先的な調達を推進するための取組意向

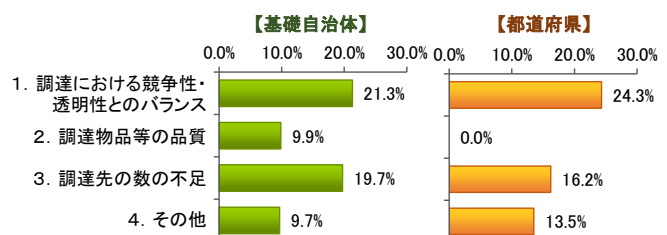
	基礎自治体							都道府県						
	現在実施しており今後も実施したい	現在実施していないが今後実施予定がある	今後も実施する予定はない	未定・わからない	現在実施しているが、今後はやめたい	無回答	合計	現在実施しており今後も実施したい	現在実施していないが今後実施予定がある	今後も実施する予定はない	未定・わからない	現在実施しているが、今後はやめたい	無回答	合計
① 条例・規則の制定(対象に認定就労訓練事業所を追加)	1 0.2%	1 0.2%	114 22.5%	320 63.1%	0 0.0%	71 14.0%	507 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 27.0%	26 70.3%	0 0.0%	1 2.7%	37 100.0%
② 要綱・指針の策定	6 1.2%	2 0.4%	111 21.9%	317 62.5%	0 0.0%	71 14.0%	507 100.0%	1 2.7%	0 0.0%	9 24.3%	27 73.0%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
③ 一般競争入札(総合評価方式)における加点	0 0.0%	0 0.0%	114 22.5%	322 63.5%	0 0.0%	71 14.0%	507 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 29.7%	26 70.3%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
④ 指名競争入札における優先指名	0 0.0%	0 0.0%	116 22.9%	319 62.9%	0 0.0%	72 14.2%	507 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 29.7%	26 70.3%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
⑤ 随意契約における優先的な取扱い	10 2.0%	4 0.8%	109 21.5%	311 61.3%	0 0.0%	73 14.4%	507 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 24.3%	28 75.7%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
⑥ 指定管理者の選定における優先的な取扱い	0 0.0%	0 0.0%	113 22.3%	323 63.7%	0 0.0%	71 14.0%	507 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 29.7%	26 70.3%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
⑦ 上記③～⑥に係る企業への啓発や職場環境整備等の支援	0 0.0%	0 0.0%	110 21.7%	324 63.9%	0 0.0%	73 14.4%	507 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 24.3%	28 75.7%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%



② 認定就労訓練事業所からの受注の機会の増大を図る際の課題

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 調達における競争性・透明性とのバランス	108	21.3%	9	24.3%
2. 調達物品等の品質	50	9.9%	0	0.0%
3. 調達先の数の不足	100	19.7%	6	16.2%
4. その他	49	9.7%	5	13.5%
全体	507		37	

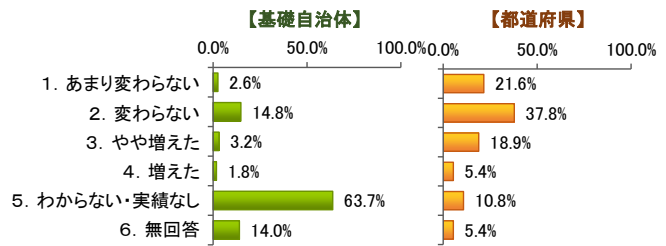


(3) 認定就労訓練事業所数

① 法改正後の変化

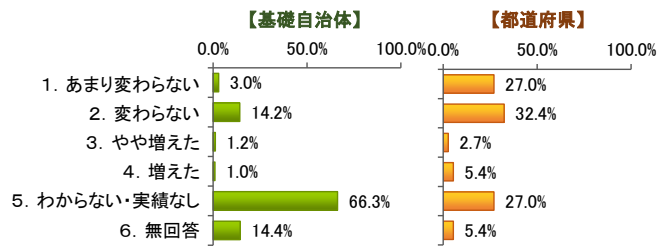
【認定件数】

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. あまり変わらない	13	2.6%	8	21.6%
2. 変わらない	75	14.8%	14	37.8%
3. やや増えた	16	3.2%	7	18.9%
4. 増えた	9	1.8%	2	5.4%
5. わからない・実績なし	323	63.7%	4	10.8%
6. 無回答	71	14.0%	2	5.4%
合計	507	100.0%	37	100.0%



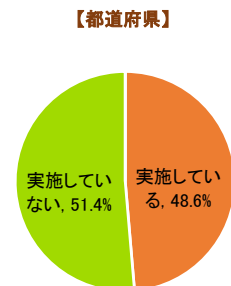
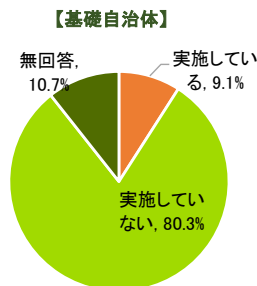
【利用実績】

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. あまり変わらない	15	3.0%	10	27.0%
2. 変わらない	72	14.2%	12	32.4%
3. やや増えた	6	1.2%	1	2.7%
4. 増えた	5	1.0%	2	5.4%
5. わからない・実績なし	336	66.3%	10	27.0%
6. 無回答	73	14.4%	2	5.4%
合計	507	100.0%	37	100.0%



② 認定就労訓練事業所の開拓の実施

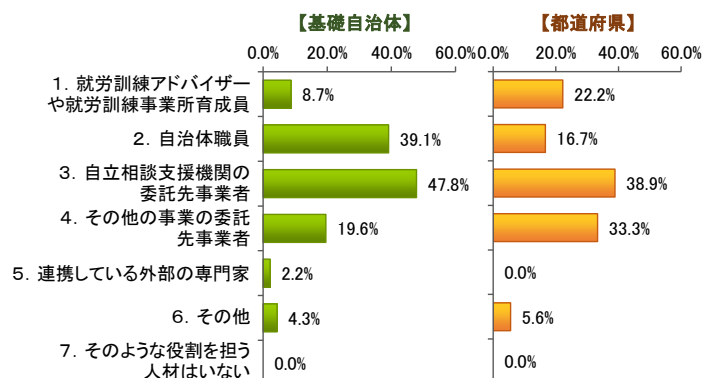
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
実施している	46	9.1%	18	48.6%
実施していない	407	80.3%	19	51.4%
無回答	54	10.7%	0	0.0%
合計	507	100.0%	37	100.0%



■ 認定就労訓練事業所の開拓の役割

(複数回答)

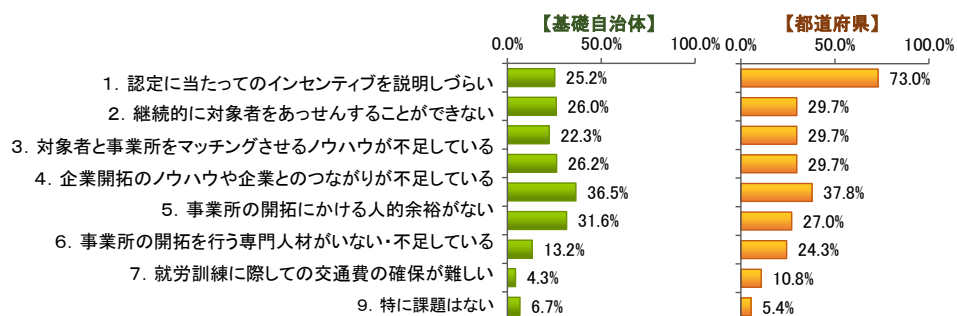
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 就労訓練アドバイザーや就労訓練事業所育成員	4	8.7%	4	22.2%
2. 自治体職員	18	39.1%	3	16.7%
3. 自立相談支援機関の委託先事業者	22	47.8%	7	38.9%
4. その他の事業の委託先事業者	9	19.6%	6	33.3%
5. 連携している外部の専門家	1	2.2%	0	0.0%
6. その他	2	4.3%	1	5.6%
7. そのような役割を担う人材はいない	0	0.0%	0	0.0%
全体	46		18	



③認定就労訓練事業所を開拓していく上での課題

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 認定に当たってのインセンティブを説明しづらい	128	25.2%	27	73.0%
2. 継続的に対象者をあつせんすることができない	132	26.0%	11	29.7%
3. 対象者と事業所をマッチングさせるノウハウが不足している	113	22.3%	11	29.7%
4. 企業開拓のノウハウや企業とのつながりが不足している	133	26.2%	11	29.7%
5. 事業所の開拓にける人的余裕がない	185	36.5%	14	37.8%
6. 事業所の開拓を行う専門人材がいない・不足している	160	31.6%	10	27.0%
7. 就労訓練に際しての交通費の確保が難しい	67	13.2%	9	24.3%
8. その他	22	4.3%	4	10.8%
9. 特に課題はない	34	6.7%	2	5.4%
全体	507		37	

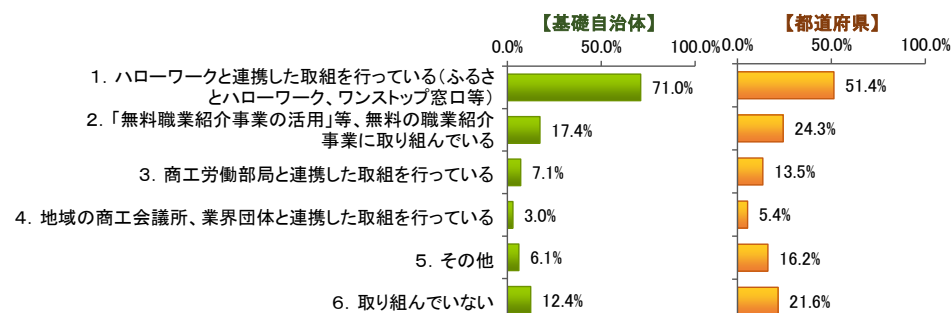


(4)その他の就労支援の取組状況

①生活困窮者に向けた就労支援の取組

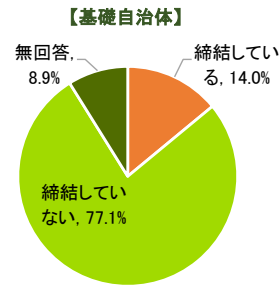
(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. ハローワークと連携した取組を行っている(ふるさとハローワーク、ワンストップ窓口等)	360	71.0%	19	51.4%
2. 「無料職業紹介事業の活用」等、無料の職業紹介事業に取り組んでいる	88	17.4%	9	24.3%
3. 商工労働部局と連携した取組を行っている	36	7.1%	5	13.5%
4. 地域の商工会議所、業界団体と連携した取組を行っている	15	3.0%	2	5.4%
5. その他	31	6.1%	6	16.2%
6. 取り組んでいない	63	12.4%	8	21.6%
全体	507		37	



②「雇用対策協定」の締結

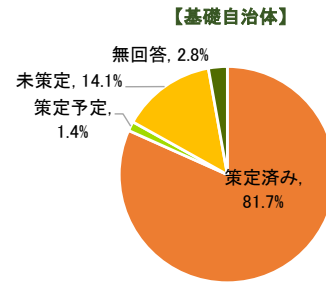
	基礎自治体	
	件数	%
締結している	71	14.0%
締結していない	391	77.1%
無回答	45	8.9%
合計	507	100.0%



※「締結している」と回答した場合

■雇用対策協定に基づく事業計画の策定

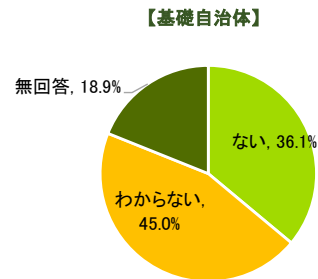
	基礎自治体	
	件数	%
策定済み	58	81.7%
策定予定	1	1.4%
未策定	10	14.1%
無回答	2	2.8%
合計	71	100.0%



※「締結していない」と回答した場合

■今後、雇用対策協定を締結する予定

	基礎自治体	
	件数	%
ある	0	0.0%
ない	141	36.1%
わからない	176	45.0%
無回答	74	18.9%
合計	391	100.0%



7. 高齢困窮者等への支援

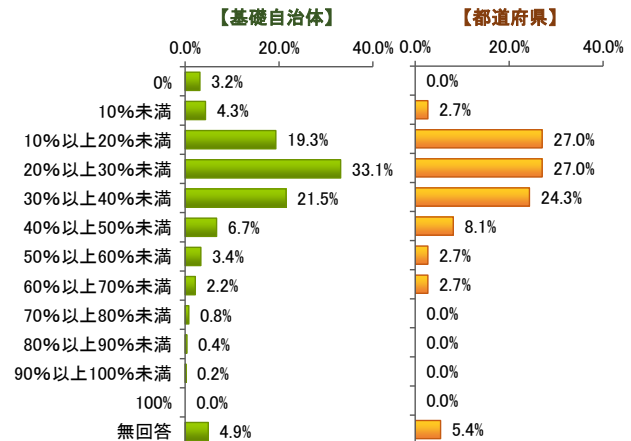
(1) 高齢(65歳以上)の生活困窮者からの相談状況

■ 令和元年4月～令和2年3月の自立相談支援機関における相談状況

【新規相談者に占める高齢者の割合】

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
0%	16	3.2%	0	0.0%
10%未満	22	4.3%	1	2.7%
10%以上20%未満	98	19.3%	10	27.0%
20%以上30%未満	168	33.1%	10	27.0%
30%以上40%未満	109	21.5%	9	24.3%
40%以上50%未満	34	6.7%	3	8.1%
50%以上60%未満	17	3.4%	1	2.7%
60%以上70%未満	11	2.2%	1	2.7%
70%以上80%未満	4	0.8%	0	0.0%
80%以上90%未満	2	0.4%	0	0.0%
90%以上100%未満	1	0.2%	0	0.0%
100%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	25	4.9%	2	5.4%
合計	507	100.0%	37	100.0%

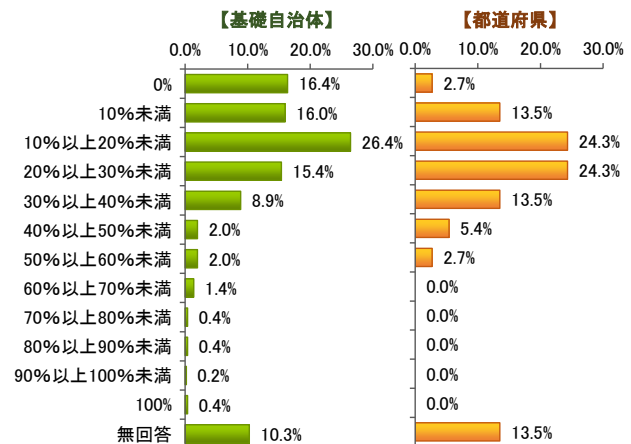
平均 26.1 % 25.5 %



【プラン作成対象者に占める高齢者の割合】

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
0%	83	16.4%	1	2.7%
10%未満	81	16.0%	5	13.5%
10%以上20%未満	134	26.4%	9	24.3%
20%以上30%未満	78	15.4%	9	24.3%
30%以上40%未満	45	8.9%	5	13.5%
40%以上50%未満	10	2.0%	2	5.4%
50%以上60%未満	10	2.0%	1	2.7%
60%以上70%未満	7	1.4%	0	0.0%
70%以上80%未満	2	0.4%	0	0.0%
80%以上90%未満	2	0.4%	0	0.0%
90%以上100%未満	1	0.2%	0	0.0%
100%	2	0.4%	0	0.0%
無回答	52	10.3%	5	13.5%
合計	507	100.0%	37	100.0%

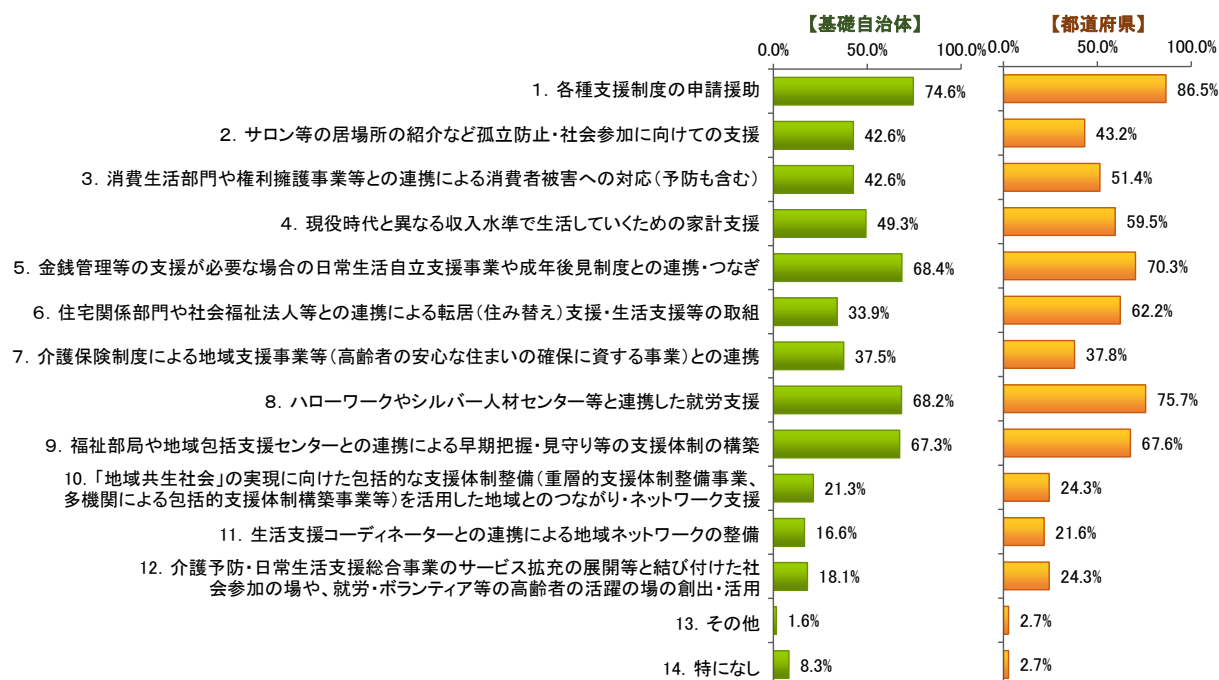
平均 15.9 % 19.7 %



(2) 高齢困窮者等に対する支援

(複数回答)

		基礎自治体		都道府県	
		件数	%	件数	%
主に 対個人 への 支援	1. 各種支援制度の申請援助	378	74.6%	32	86.5%
	2. サロン等の居場所の紹介など孤立防止・社会参加に向けての支援	216	42.6%	16	43.2%
	3. 消費生活部門や権利擁護事業等との連携による消費者被害への対応(予防も含む)	216	42.6%	19	51.4%
	4. 現役時代と異なる収入水準で生活していくための家計支援	250	49.3%	22	59.5%
	5. 金銭管理等の支援が必要な場合の日常生活自立支援事業や成年後見制度との連携・つなぎ	347	68.4%	26	70.3%
	6. 住宅関係部門や社会福祉法人等との連携による転居(住み替え)支援・生活支援等の取組	172	33.9%	23	62.2%
	7. 介護保険制度による地域支援事業等(高齢者の安心な住まいの確保に資する事業)との連携	190	37.5%	14	37.8%
	8. ハローワークやシルバー人材センター等と連携した就労支援	346	68.2%	28	75.7%
主に 対地域 への 支援	9. 福祉部局や地域包括支援センターとの連携による早期把握・見守り等の支援体制の構築	341	67.3%	25	67.6%
	10. 「地域共生社会」の実現に向けた包括的な支援体制整備(重層的支援体制整備事業、多機関による包括的支援体制構築事業等)を活用した地域とのつながり・ネットワーク支援	108	21.3%	9	24.3%
	11. 生活支援コーディネーターとの連携による地域ネットワークの整備	84	16.6%	8	21.6%
	12. 介護予防・日常生活支援総合事業のサービス拡充の展開等と結び付けた社会参加の場や、就労・ボランティア等の高齢者の活躍の場の創出・活用	92	18.1%	9	24.3%
	13. その他	8	1.6%	1	2.7%
	14. 特になし	42	8.3%	1	2.7%
	全体	507		37	



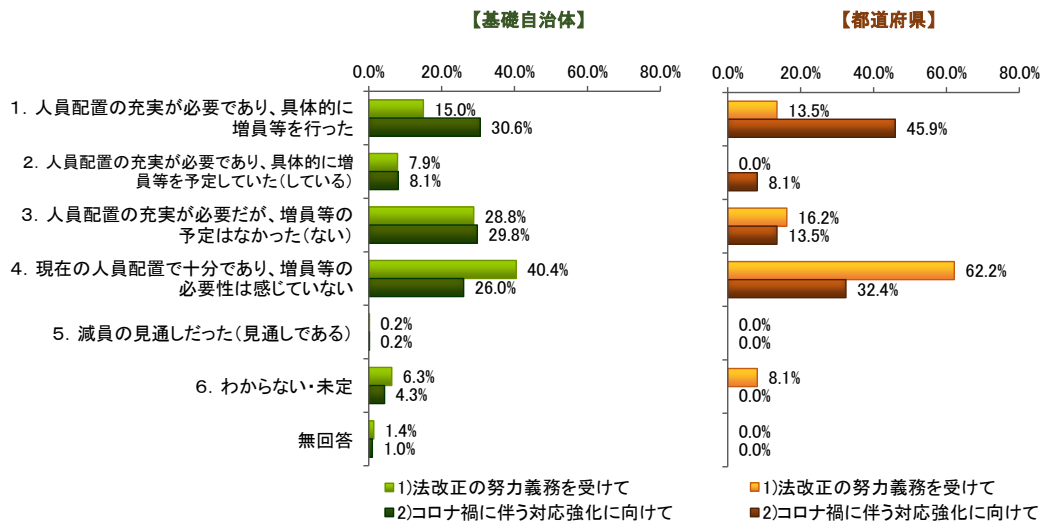
8. 人員の配置

(1) 支援員の配置状況

① 自立相談支援機関の配置状況

	基礎自治体				都道府県			
	1)法改正の努力義務を受けて		2)コロナ禍に伴う対応強化に向けて		1)法改正の努力義務を受けて		2)コロナ禍に伴う対応強化に向けて	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1. 人員配置の充実が必要であり、具体的に増員等を行った	76	15.0%	155	30.6%	5	13.5%	17	45.9%
2. 人員配置の充実が必要であり、具体的に増員等を予定していた(している)	40	7.9%	41	8.1%	0	0.0%	3	8.1%
3. 人員配置の充実が必要だが、増員等の予定はなかった(ない)	146	28.8%	151	29.8%	6	16.2%	5	13.5%
4. 現在の人員配置で十分であり、増員等の必要性は感じていない	205	40.4%	132	26.0%	23	62.2%	12	32.4%
5. 減員の見通しだった(見通しである)	1	0.2%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
6. わからない・未定	32	6.3%	22	4.3%	3	8.1%	0	0.0%
無回答	7	1.4%	5	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	507	100.0%	507	100.0%	37	100.0%	37	100.0%

③へ

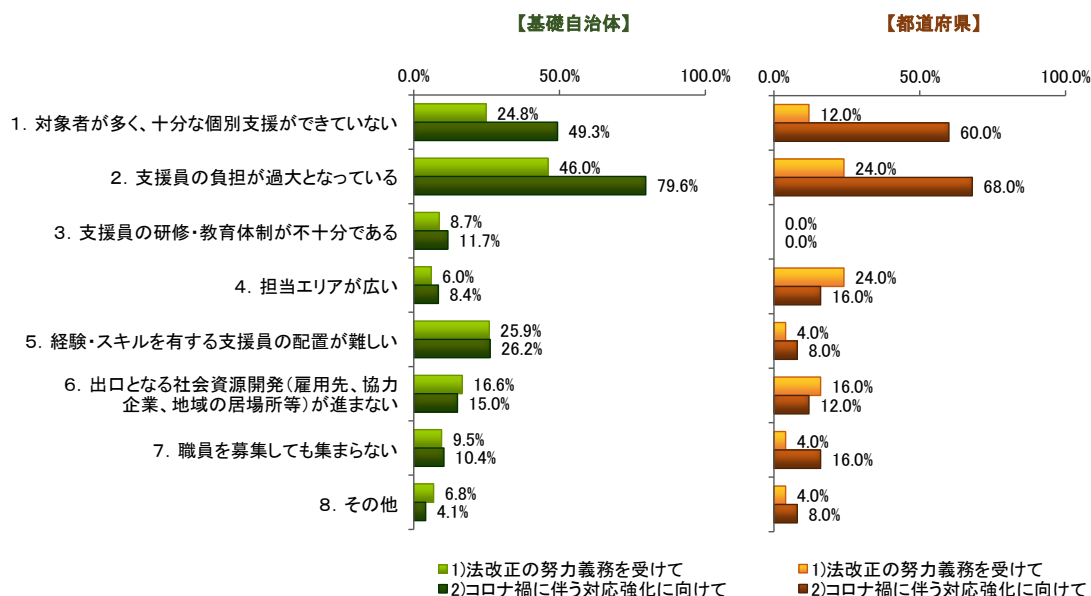


※①で1)の2)のいずれか(または両方)において「1. 人員配置の充実が必要であり、具体的に増員等を行った」「2. 人員配置の充実が必要であり、具体的に増員等を予定していた(している)」「3. 人員配置の充実が必要だが、増員等の予定はなかった(ない)」と回答した場合

②「1」「2」「3」と回答した理由について

(複数回答)

	基礎自治体				都道府県			
	1)法改正の努力義務を受けて		2)コロナ禍に伴う対応強化に向けて		1)法改正の努力義務を受けて		2)コロナ禍に伴う対応強化に向けて	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1. 対象者が多く、十分な個別支援ができていない	91	24.8%	181	49.3%	3	12.0%	15	60.0%
2. 支援員の負担が過大となっている	169	46.0%	292	79.6%	6	24.0%	17	68.0%
3. 支援員の研修・教育体制が不十分である	32	8.7%	43	11.7%	0	0.0%	0	0.0%
4. 担当エリアが広い	22	6.0%	31	8.4%	6	24.0%	4	16.0%
5. 経験・スキルを有する支援員の配置が難しい	95	25.9%	96	26.2%	1	4.0%	2	8.0%
6. 出口となる社会資源開発(雇用先、協力企業、地域の居場所等)が進まない	61	16.6%	55	15.0%	4	16.0%	3	12.0%
7. 職員を募集しても集まらない	35	9.5%	38	10.4%	1	4.0%	4	16.0%
8. その他	25	6.8%	15	4.1%	1	4.0%	2	8.0%
全体	367		367		25		25	

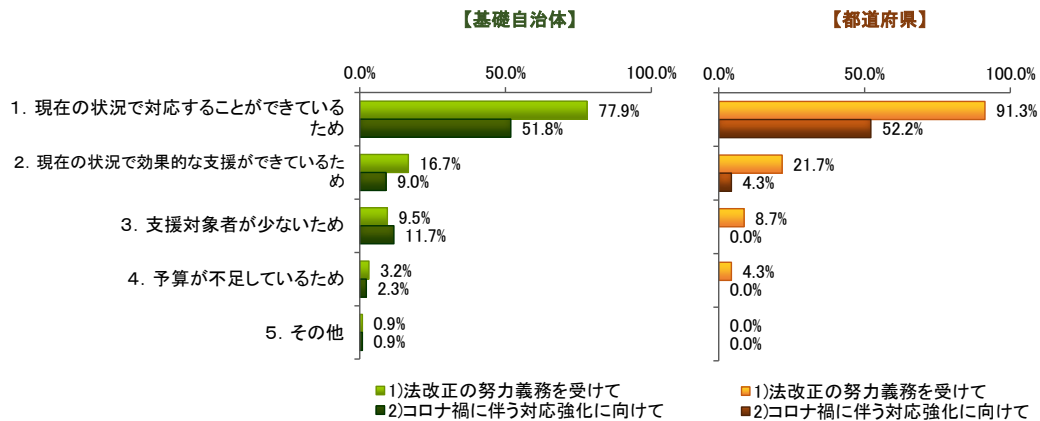


※①で1)の2)のいずれか(または両方)において「4. 現在の人員配置で十分であり、増員等の必要性は感じていない」「5. 減員の見通しだった(見通しである)」と回答した場合

③「4」「5」と回答した理由

(複数回答)

	基礎自治体				都道府県			
	1)法改正の努力義務を受けて		2)コロナ禍に伴う対応強化に向けて		1)法改正の努力義務を受けて		2)コロナ禍に伴う対応強化に向けて	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1. 現在の状況で対応することができているため	173	77.9%	115	51.8%	21	91.3%	12	52.2%
2. 現在の状況で効果的な支援ができているため	37	16.7%	20	9.0%	5	21.7%	1	4.3%
3. 支援対象者が少ないため	21	9.5%	26	11.7%	2	8.7%	0	0.0%
4. 予算が不足しているため	7	3.2%	5	2.3%	1	4.3%	0	0.0%
5. その他	2	0.9%	2	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
全体	222		222		23		23	

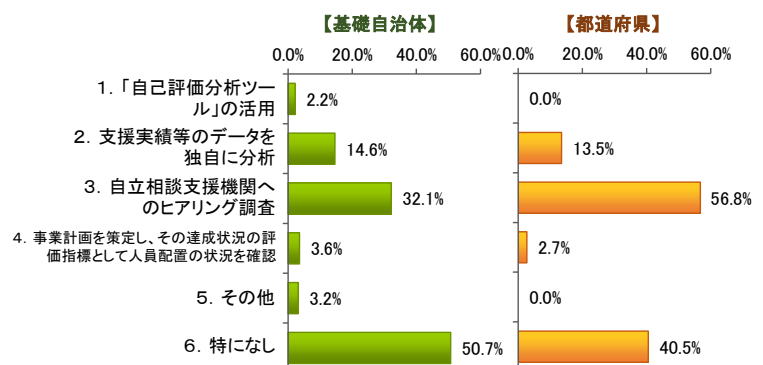


(2)適切な人員配置の促進のための取組

①自立相談支援機関における人員配置の状況の評価のための取組

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 「自己評価分析ツール」の活用	11	2.2%	0	0.0%
2. 支援実績等のデータを独自に分析	74	14.6%	5	13.5%
3. 自立相談支援機関へのヒアリング調査	163	32.1%	21	56.8%
4. 事業計画を策定し、その達成状況の評価指標として人員配置の状況を確認	18	3.6%	1	2.7%
5. その他	16	3.2%	0	0.0%
6. 特になし	257	50.7%	15	40.5%
全体	507		37	

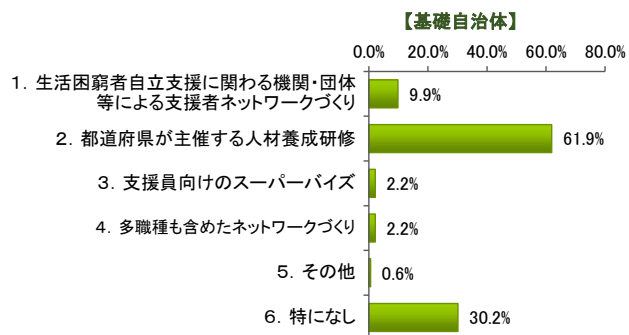


※福祉事務所設置自治体のみ回答(都道府県は除く)

②支援員の人材養成・確保にあたって都道府県が行う支援事業等のうち実際に活用した取組

(複数回答)

	基礎自治体	
	件数	%
1. 生活困窮者自立支援に関わる機関・団体等による支援者ネットワークづくり	50	9.9%
2. 都道府県が主催する人材養成研修	314	61.9%
3. 支援員向けのスーパーバイズ	11	2.2%
4. 多職種も含めたネットワークづくり	11	2.2%
5. その他	3	0.6%
6. 特になし	153	30.2%
全体	507	

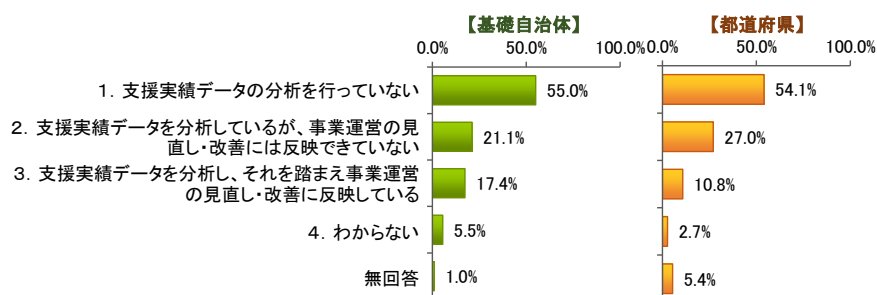


Ⅲ. その他関連事業等の取組状況

1. 支援実績等の分析・評価について

(1) 自立相談支援事業の支援実績の分析

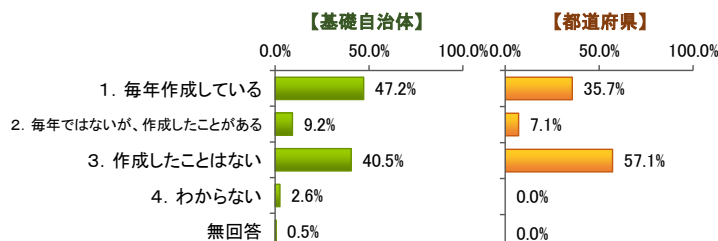
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 支援実績データの分析を行っていない	279	55.0%	20	54.1%
2. 支援実績データを分析しているが、事業運営の見直し・改善には反映できていない	107	21.1%	10	27.0%
3. 支援実績データを分析し、それを踏まえ事業運営の見直し・改善に反映している	88	17.4%	4	10.8%
4. わからない	28	5.5%	1	2.7%
無回答	5	1.0%	2	5.4%
合計	507	100.0%	37	100.0%



※「2」または「3」(支援実績データを分析している)と回答した場合

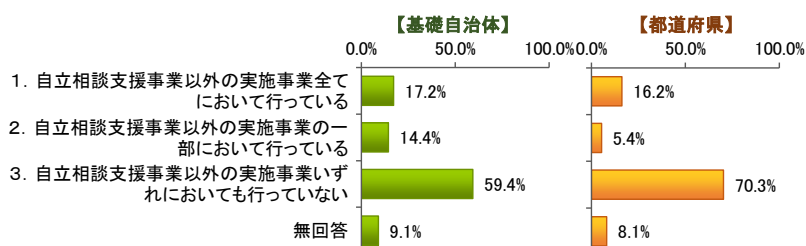
■ 自立相談支援事業の実施状況・達成状況の評価に係る報告書の作成

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 毎年作成している	92	47.2%	5	35.7%
2. 毎年ではないが、作成したことがある	18	9.2%	1	7.1%
3. 作成したことはない	79	40.5%	8	57.1%
4. わからない	5	2.6%	0	0.0%
無回答	1	0.5%	0	0.0%
合計	195	100.0%	14	100.0%



(2) 自立相談支援事業以外の各事業(任意事業)の分析

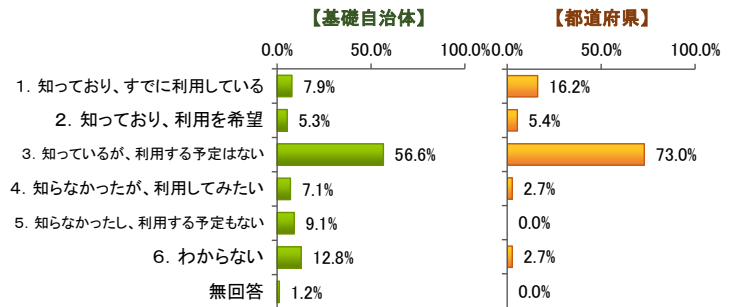
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 自立相談支援事業以外の実施事業全てにおいて行っている	87	17.2%	6	16.2%
2. 自立相談支援事業以外の実施事業の一部において行っている	73	14.4%	2	5.4%
3. 自立相談支援事業以外の実施事業いずれにおいても行っていない	301	59.4%	26	70.3%
無回答	46	9.1%	3	8.1%
合計	507	100.0%	37	100.0%



2. 「自治体・支援員向けコンサルティング事業」の実施状況について

(1)「自治体・支援員向けコンサルティング事業」の認知度

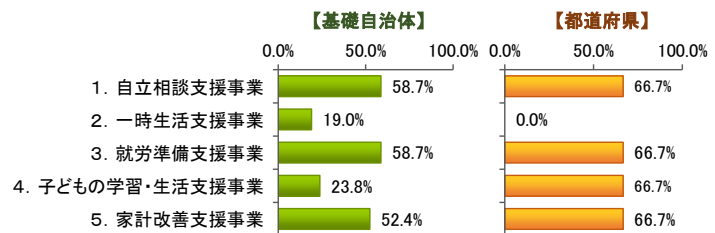
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 知っており、すでに利用している	40	7.9%	6	16.2%
2. 知っており、利用を希望	27	5.3%	2	5.4%
3. 知っているが、利用する予定はない	287	56.6%	27	73.0%
4. 知らなかったが、利用してみたい	36	7.1%	1	2.7%
5. 知らなかったし、利用する予定もない	46	9.1%	0	0.0%
6. わからない	65	12.8%	1	2.7%
無回答	6	1.2%	0	0.0%
合計	507	100.0%	37	100.0%



※(1)で自治体・支援員向けコンサルティング事業を「2. 知っており、利用を希望」「4. 知らなかったが、利用してみたい」と回答した場合
(3)コンサルティングを希望したい事業

(複数回答)

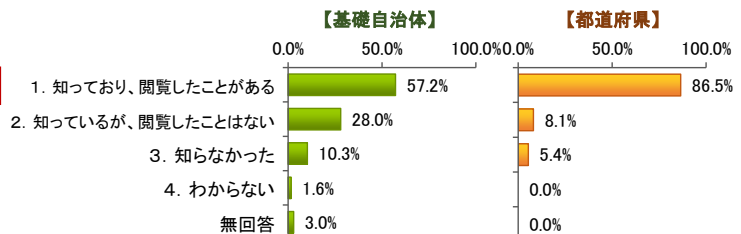
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 自立相談支援事業	37	58.7%	2	66.7%
2. 一時生活支援事業	12	19.0%	0	0.0%
3. 就労準備支援事業	37	58.7%	2	66.7%
4. 子どもの学習・生活支援事業	15	23.8%	2	66.7%
5. 家計改善支援事業	33	52.4%	2	66.7%
全体	63		3	



3. 「困窮者支援情報共有サイト」(みんなつながるネットワーク)について

(1)「困窮者支援情報共有サイト」の認知度

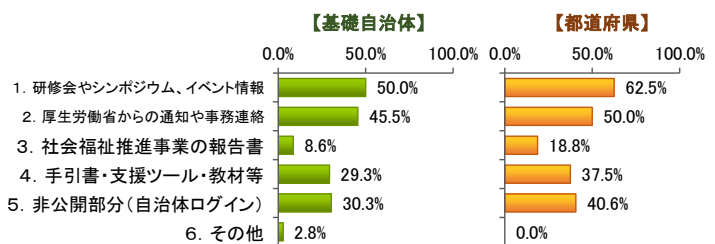
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 知っており、閲覧したことがある	290	57.2%	32	86.5%
2. 知っているが、閲覧したことはない	142	28.0%	3	8.1%
3. 知らなかった	52	10.3%	2	5.4%
4. わからない	8	1.6%	0	0.0%
無回答	15	3.0%	0	0.0%
合計	507	100.0%	37	100.0%



※(1)で「1. 知っており、閲覧したことがある」と回答した場合
(2)どんなことを調べたか

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 研修会やシンポジウム、イベント情報	145	50.0%	20	62.5%
2. 厚生労働省からの通知や事務連絡	132	45.5%	16	50.0%
3. 社会福祉推進事業の報告書	25	8.6%	6	18.8%
4. 手引書・支援ツール・教材等	85	29.3%	12	37.5%
5. 非公開部分(自治体ログイン)	88	30.3%	13	40.6%
6. その他	8	2.8%	0	0.0%
全体	290		32	



IV. 就労準備支援事業の実施に向けた取組状況

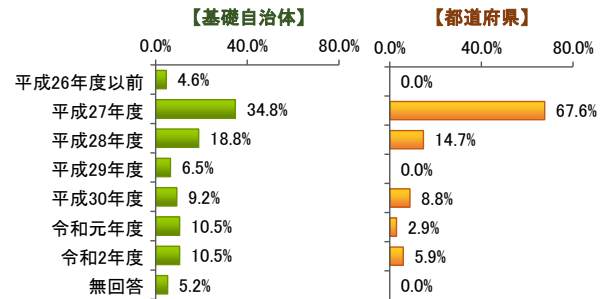
1. 就労準備支援事業を実施している自治体

※現在、「就労準備支援事業」を実施している自治体のみ

(1) 基本情報

① 就労準備支援事業の開始時期

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
平成26年度以前	15	4.6%	0	0.0%
平成27年度	113	34.8%	23	67.6%
平成28年度	61	18.8%	5	14.7%
平成29年度	21	6.5%	0	0.0%
平成30年度	30	9.2%	3	8.8%
令和元年度	34	10.5%	1	2.9%
令和2年度	34	10.5%	2	5.9%
無回答	17	5.2%	0	0.0%
合計	325	100.0%	34	100.0%



② 就労準備支援事業の運営方法と箇所数

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
直営	37	11.4%	2	5.9%
委託	270	83.1%	33	97.1%
直営+委託	14	4.3%	0	0.0%
全体	325		34	

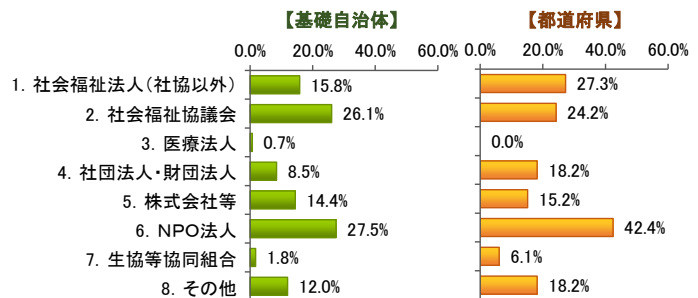
設置している自治体における平均箇所数

	基礎自治体	都道府県
	平均箇所数	平均箇所数
直営	1.0カ所	4.0カ所
委託	1.1カ所	2.4カ所
直営+委託	1.1カ所	
全体	1.1カ所	2.6カ所

■ 委託先

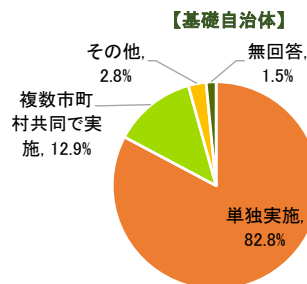
(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 社会福祉法人(社協以外)	45	15.8%	9	27.3%
2. 社会福祉協議会	74	26.1%	8	24.2%
3. 医療法人	2	0.7%	0	0.0%
4. 社団法人・財団法人	24	8.5%	6	18.2%
5. 株式会社等	41	14.4%	5	15.2%
6. NPO法人	78	27.5%	14	42.4%
7. 生協等協同組合	5	1.8%	2	6.1%
8. その他	34	12.0%	6	18.2%
全体	284		33	

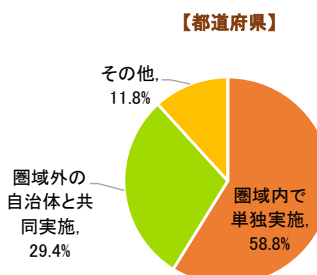


③ 実施方法

	基礎自治体	
	件数	%
単独実施	269	82.8%
複数市町村共同で実施	42	12.9%
その他	9	2.8%
無回答	5	1.5%
合計	325	100.0%

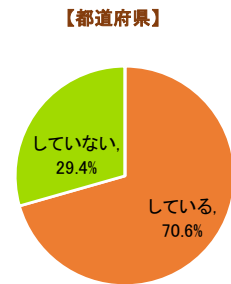
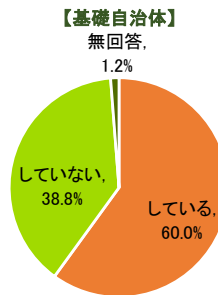


	都道府県	
	件数	%
圏域内で単独実施	20	58.8%
圏域外の自治体と共同実施	10	29.4%
その他	4	11.8%
無回答	0	0.0%
合計	34	100.0%



④被保護者就労準備支援事業との一体的な実施

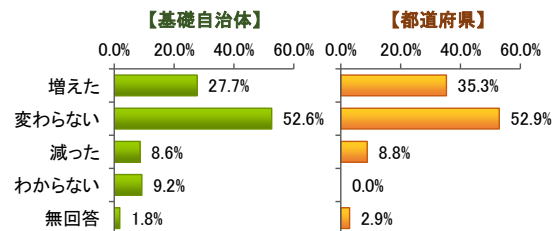
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
している	195	60.0%	24	70.6%
していない	126	38.8%	10	29.4%
無回答	4	1.2%	0	0.0%
合計	325	100.0%	34	100.0%



(2)就労準備支援事業の実施効果

①事業開始当初からの利用件数の変化

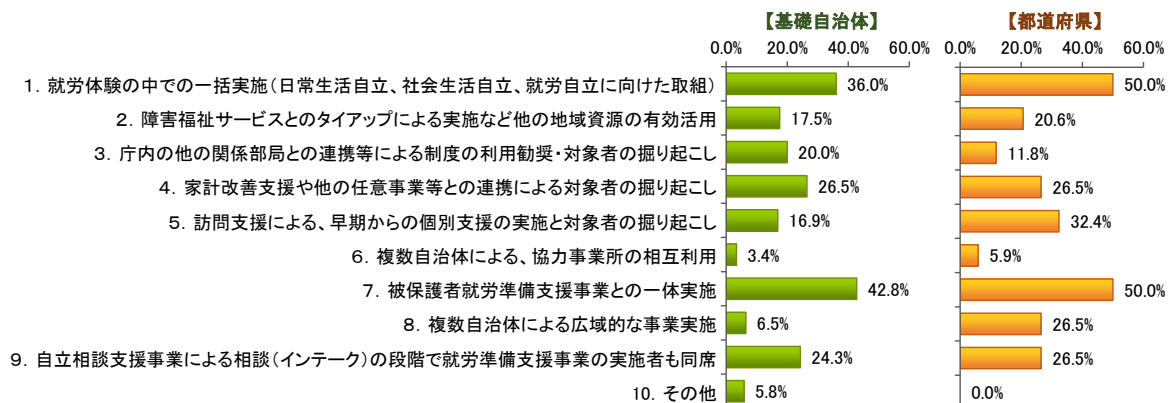
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
増えた	90	27.7%	12	35.3%
変わらない	171	52.6%	18	52.9%
減った	28	8.6%	3	8.8%
わからない	30	9.2%	0	0.0%
無回答	6	1.8%	1	2.9%
合計	325	100.0%	34	100.0%



②就労準備支援事業を効果的に進めるための取組のうち、特に事業効果につながっている取組

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 就労体験の中での一括実施(日常生活自立、社会生活自立、就労自立に向けた取組)	117	36.0%	17	50.0%
2. 障害福祉サービスとのタイアップによる実施など他の地域資源の有効活用	57	17.5%	7	20.6%
3. 庁内の他の関係部局との連携等による制度の利用勧奨・対象者の掘り起こし	65	20.0%	4	11.8%
4. 家計改善支援や他の任意事業等との連携による対象者の掘り起こし	86	26.5%	9	26.5%
5. 訪問支援による、早期からの個別支援の実施と対象者の掘り起こし	55	16.9%	11	32.4%
6. 複数自治体による、協力事業所の相互利用	11	3.4%	2	5.9%
7. 被保護者就労準備支援事業との一体実施	139	42.8%	17	50.0%
8. 複数自治体による広域的な事業実施	21	6.5%	9	26.5%
9. 自立相談支援事業による相談(インテーク)の段階で就労準備支援事業の実施者も同席	79	24.3%	9	26.5%
10. その他	19	5.8%	0	0.0%
全体	325		34	



2. 就労準備支援事業を実施していない自治体

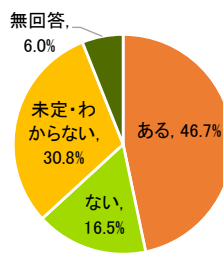
※現在、「就労準備支援事業」を実施していない自治体のみ

(1) 就労準備支援事業の実施状況

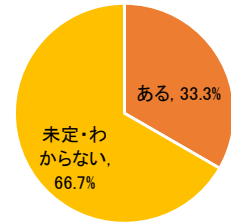
① 今後の就労準備支援事業の実施予定

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
ある	85	46.7%	1	33.3%
ない	30	16.5%	0	0.0%
未定・わからない	56	30.8%	2	66.7%
無回答	11	6.0%	0	0.0%
合計	182	100.0%	3	100.0%

【基礎自治体】



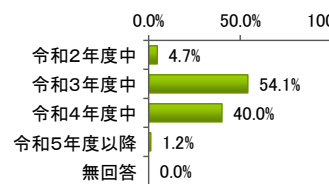
【都道府県】



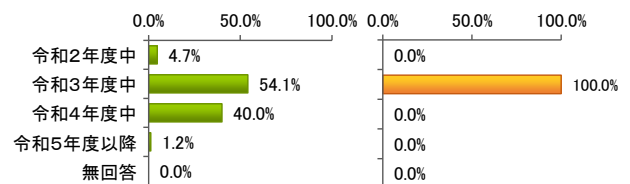
■ 事業の実施予定時期

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
令和2年度中	4	4.7%	0	0.0%
令和3年度中	46	54.1%	1	100.0%
令和4年度中	34	40.0%	0	0.0%
令和5年度以降	1	1.2%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
合計	85	100.0%	1	100.0%

【基礎自治体】



【都道府県】

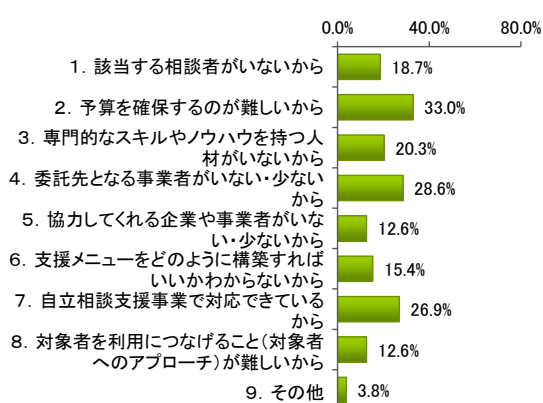


② 就労準備支援事業を実施していない理由

(複数回答)

	基礎自治体	
	件数	%
1. 該当する相談者がいないから	34	18.7%
2. 予算を確保するのが難しいから	60	33.0%
3. 専門的なスキルやノウハウを持つ人材がいないから	37	20.3%
4. 委託先となる事業者がいない・少ないから	52	28.6%
5. 協力してくれる企業や事業者がいない・少ないから	23	12.6%
6. 支援メニューをどのように構築すればいいかわからないから	28	15.4%
7. 自立相談支援事業で対応できているから	49	26.9%
8. 対象者を利用につなげること(対象者へのアプローチ)が難しいから	23	12.6%
9. その他	7	3.8%
全体	182	

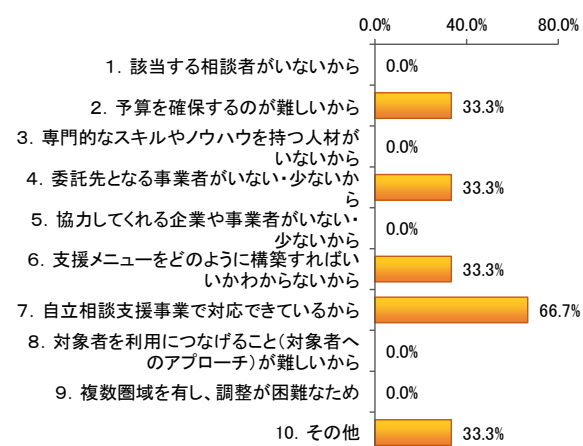
【基礎自治体】



(複数回答)

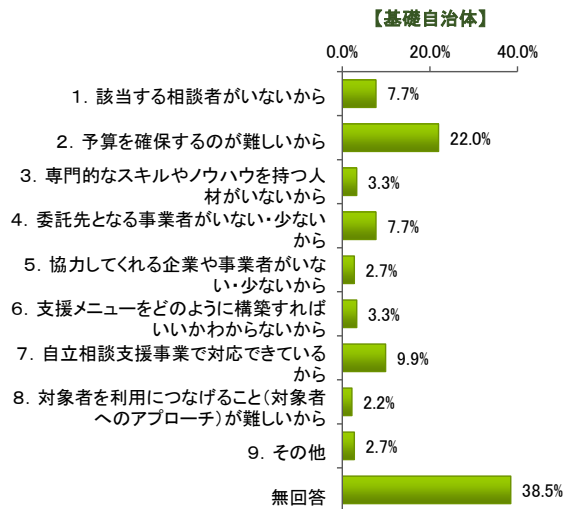
	都道府県	
	件数	%
1. 該当する相談者がいないから	0	0.0%
2. 予算を確保するのが難しいから	1	33.3%
3. 専門的なスキルやノウハウを持つ人材がいないから	0	0.0%
4. 委託先となる事業者がいない・少ないから	1	33.3%
5. 協力してくれる企業や事業者がいない・少ないから	0	0.0%
6. 支援メニューをどのように構築すればいいかわからないから	1	33.3%
7. 自立相談支援事業で対応できているから	2	66.7%
8. 対象者を利用につなげること(対象者へのアプローチ)が難しいから	0	0.0%
9. 複数圏域を有し、調整が困難なため	0	0.0%
10. その他	1	33.3%
全体	3	

【都道府県】

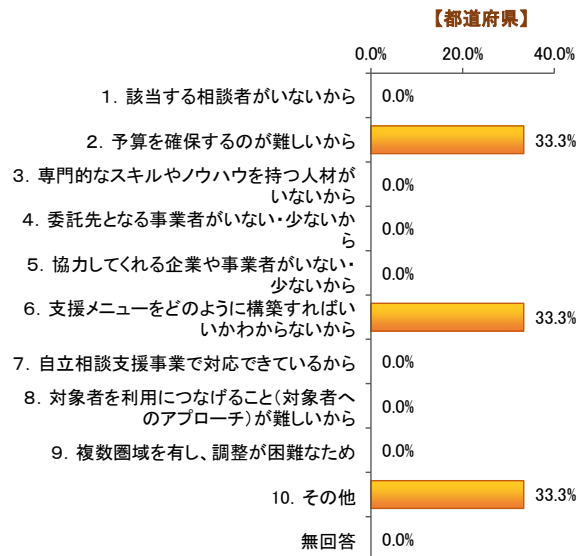


■就労準備支援事業を実施していない理由のうち、最も課題となっていること

	基礎自治体	
	件数	%
1. 該当する相談者がいないから	14	7.7%
2. 予算を確保するのが難しいから	40	22.0%
3. 専門的なスキルやノウハウを持つ人材がいないから	6	3.3%
4. 委託先となる事業者がいない・少ないから	14	7.7%
5. 協力してくれる企業や事業者がいない・少ないから	5	2.7%
6. 支援メニューをどのように構築すればいいかわからないから	6	3.3%
7. 自立相談支援事業で対応できているから	18	9.9%
8. 対象者を利用につなげること(対象者へのアプローチ)が難しいから	4	2.2%
9. その他	5	2.7%
無回答	70	38.5%
合計	182	100.0%



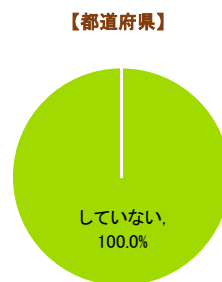
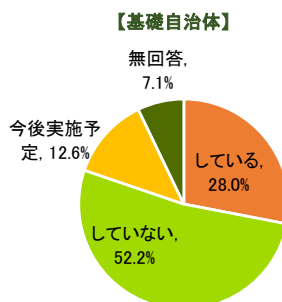
	都道府県	
	件数	%
1. 該当する相談者がいないから	0	0.0%
2. 予算を確保するのが難しいから	1	33.3%
3. 専門的なスキルやノウハウを持つ人材がいないから	0	0.0%
4. 委託先となる事業者がいない・少ないから	0	0.0%
5. 協力してくれる企業や事業者がいない・少ないから	0	0.0%
6. 支援メニューをどのように構築すればいいかわからないから	1	33.3%
7. 自立相談支援事業で対応できているから	0	0.0%
8. 対象者を利用につなげること(対象者へのアプローチ)が難しいから	0	0.0%
9. 複数圏域を有し、調整が困難なため	0	0.0%
10. その他	1	33.3%
無回答	0	0.0%
合計	3	100.0%



(2)就労準備支援事業の利用ニーズ

①これまでに就労準備支援事業の潜在的なニーズの把握の実施

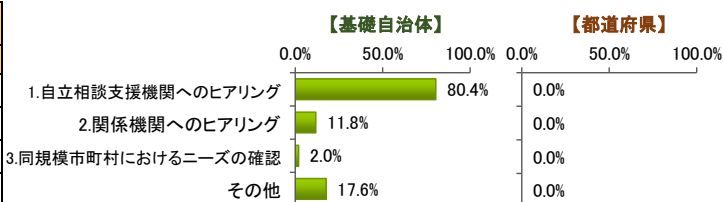
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
している	51	28.0%	0	0.0%
していない	95	52.2%	3	100.0%
今後実施予定	23	12.6%	0	0.0%
無回答	13	7.1%	0	0.0%
合計	182	100.0%	3	100.0%



②把握方法

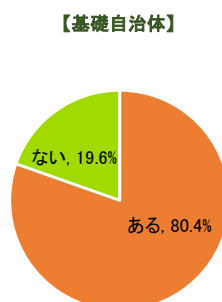
(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 自立相談支援機関へのヒアリング	41	80.4%		
2. 関係機関へのヒアリング	6	11.8%		
3. 同規模市町村におけるニーズの確認	1	2.0%		
その他	9	17.6%		
全体	51			



③潜在的なニーズの有無

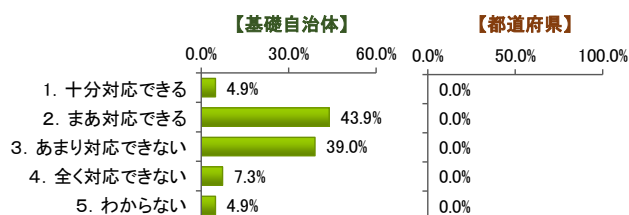
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
ある	41	80.4%		
ない	10	19.6%		
無回答	0	0.0%		
合計	51	100.0%		



【都道府県】

④把握されたニーズに対し、現状の人材・体制、支援メニューでの対応

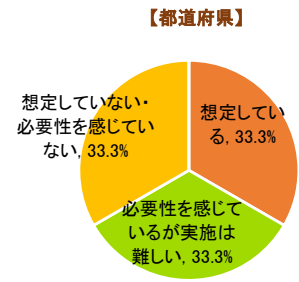
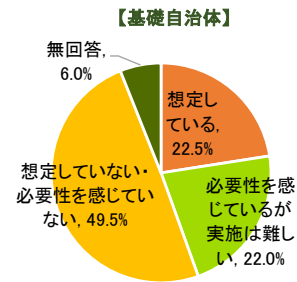
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 十分対応できる	2	4.9%		
2. まあ対応できる	18	43.9%		
3. あまり対応できない	16	39.0%		
4. 全く対応できない	3	7.3%		
5. わからない	2	4.9%		
合計	41	100.0%		



(3) 広域実施の検討について

① 就労準備支援事業の実施について検討する場合の広域実施の想定

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
想定している	41	22.5%	1	33.3%
必要性を感じているが実施は難しい	40	22.0%	1	33.3%
想定していない・必要性を感じていない	90	49.5%	1	33.3%
無回答	11	6.0%	0	0.0%
合計	182	100.0%	3	100.0%



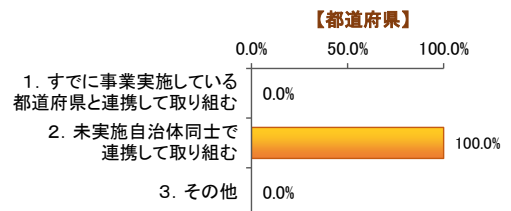
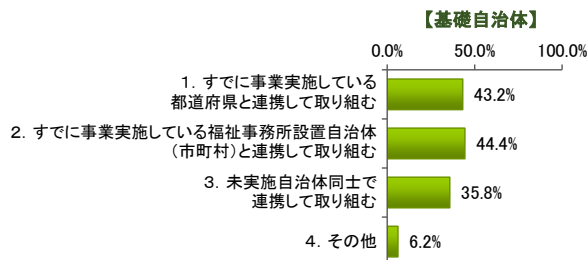
② 想定している広域連携

(複数回答)

	基礎自治体	
	件数	%
1. すでに事業実施している都道府県と連携して取り組む	35	43.2%
2. すでに事業実施している福祉事務所設置自治体(市町村)と連携して取り組む	36	44.4%
3. 未実施自治体同士で連携して取り組む	29	35.8%
4. その他	5	6.2%
全体	81	

(複数回答)

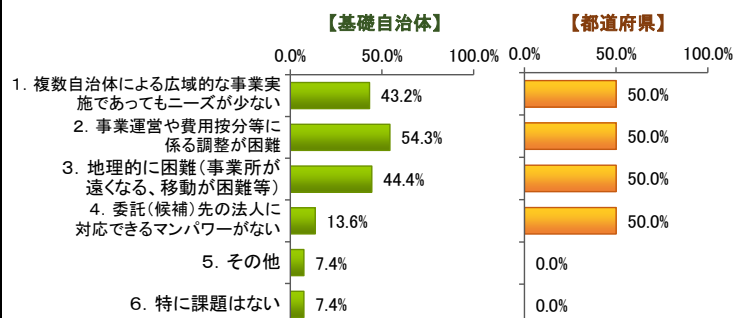
	都道府県	
	件数	%
1. すでに事業実施している都道府県と連携して取り組む	0	0.0%
2. 未実施自治体同士で連携して取り組む	2	100.0%
3. その他	0	0.0%
全体	2	



③ 広域実施を行うにあたっての課題

(複数回答)

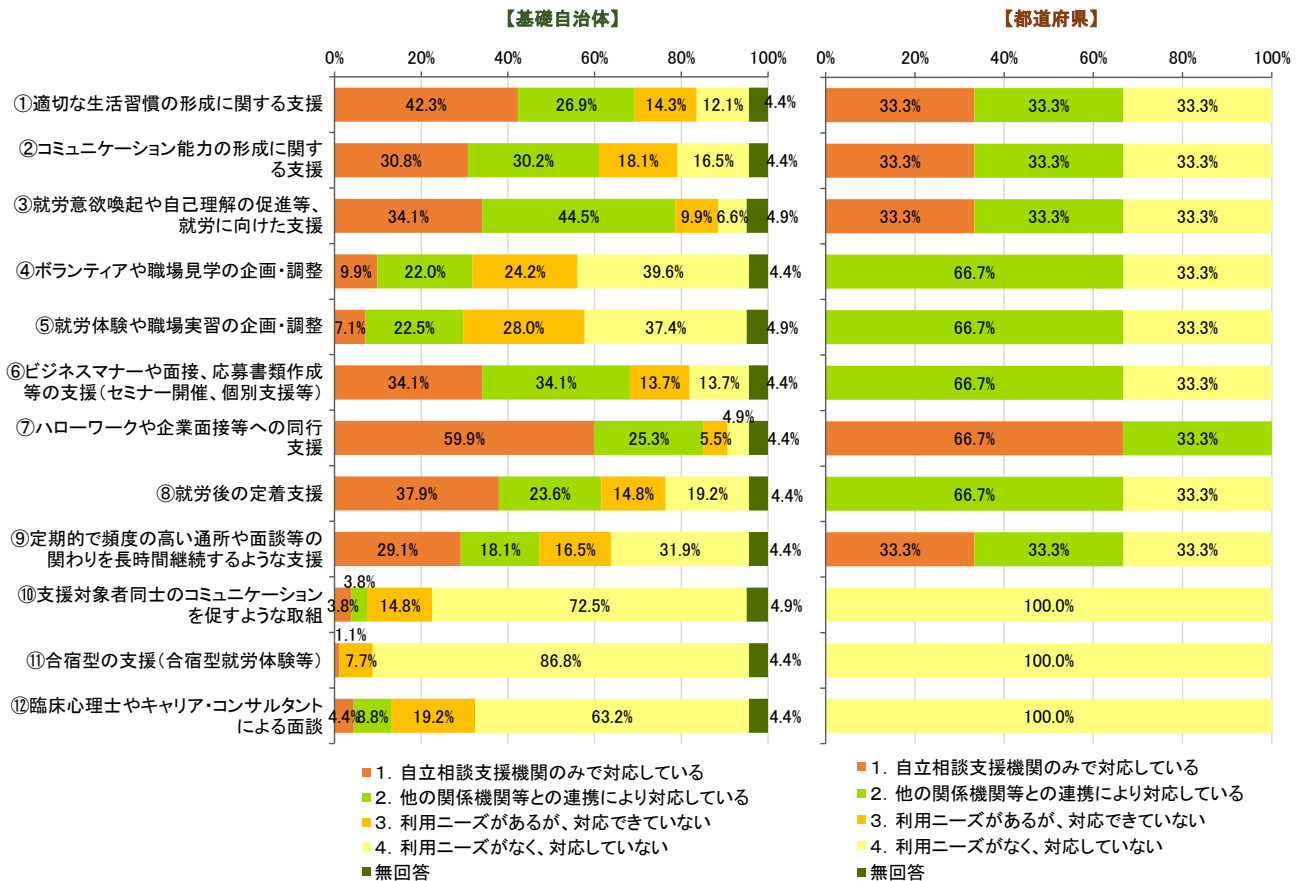
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 複数自治体による広域的な事業実施であってもニーズが少ない	35	43.2%	1	50.0%
2. 事業運営や費用按分等に係る調整が困難	44	54.3%	1	50.0%
3. 地理的に困難(事業所が遠くなる、移動が困難等)	36	44.4%	1	50.0%
4. 委託(候補)先の法人に対応できるマンパワーがない	11	13.6%	1	50.0%
5. その他	6	7.4%	0	0.0%
6. 特に課題はない	6	7.4%	0	0.0%
全体	81		2	



(4) 自立相談支援事業における就労支援

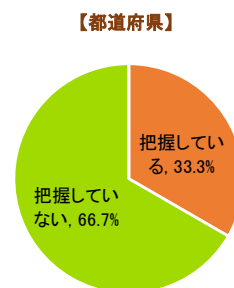
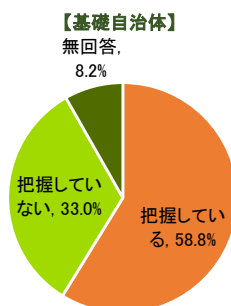
■ 自立相談支援事業における就労支援で対応している支援内容

	基礎自治体						都道府県					
	1. 自立相談支援機関のみで対応している	2. 他の関係機関等との連携により対応している	3. 利用ニーズがあるが、対応できていない	4. 利用ニーズがなく、対応していない	無回答	合計	1. 自立相談支援機関のみで対応している	2. 他の関係機関等との連携により対応している	3. 利用ニーズがあるが、対応できていない	4. 利用ニーズがなく、対応していない	無回答	合計
①適切な生活習慣の形成に関する支援	77 42.3%	49 26.9%	26 14.3%	22 12.1%	8 4.4%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
②コミュニケーション能力の形成に関する支援	56 30.8%	55 30.2%	33 18.1%	30 16.5%	8 4.4%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
③就労意欲喚起や自己理解の促進等、就労に向けた支援	62 34.1%	81 44.5%	18 9.9%	12 6.6%	9 4.9%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
④ボランティアや職場見学の企画・調整	18 9.9%	40 22.0%	44 24.2%	72 39.6%	8 4.4%	182 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
⑤就労体験や職場実習の企画・調整	13 7.1%	41 22.5%	51 28.0%	68 37.4%	9 4.9%	182 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
⑥ビジネスマナーや面接、応募書類作成等の支援(セミナー開催、個別支援等)	62 34.1%	62 34.1%	25 13.7%	25 13.7%	8 4.4%	182 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
⑦ハローワークや企業面接等への同行支援	109 59.9%	46 25.3%	10 5.5%	9 4.9%	8 4.4%	182 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
⑧就労後の定着支援	69 37.9%	43 23.6%	27 14.8%	35 19.2%	8 4.4%	182 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
⑨定期的で頻度の高い通所や面談等の関わりを長時間継続するような支援	53 29.1%	33 18.1%	30 16.5%	58 31.9%	8 4.4%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
⑩支援対象者同士のコミュニケーションを促すような取組	7 3.8%	7 3.8%	27 14.8%	132 72.5%	9 4.9%	182 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%
⑪合宿型の支援(合宿型就労体験等)	2 1.1%	0 0.0%	14 7.7%	158 86.8%	8 4.4%	182 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%
⑫臨床心理士やキャリア・コンサルタントによる面談	8 4.4%	16 8.8%	35 19.2%	115 63.2%	8 4.4%	182 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%



(5) 自立相談支援事業による就労支援の実施後の状況について

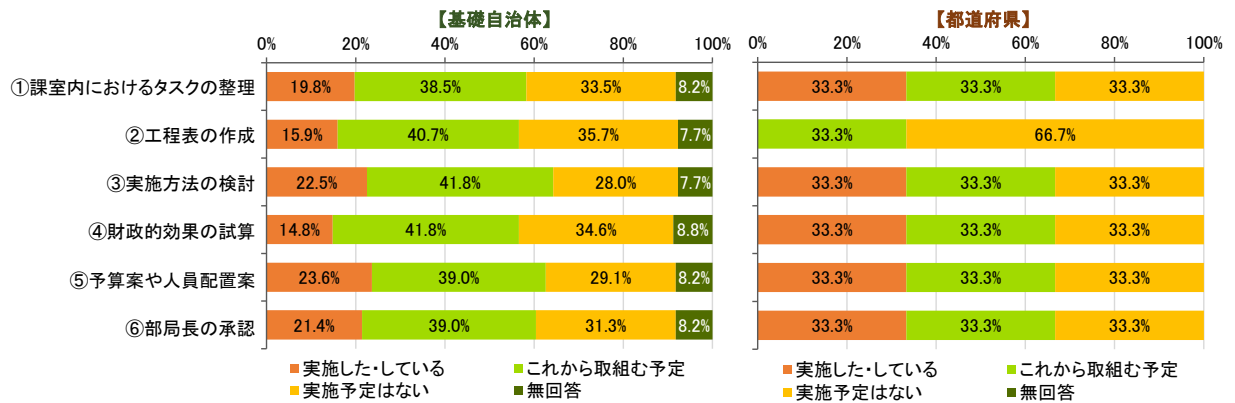
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
把握している	107	58.8%	1	33.3%
把握していない	60	33.0%	2	66.7%
無回答	15	8.2%	0	0.0%
合計	182	100.0%	3	100.0%



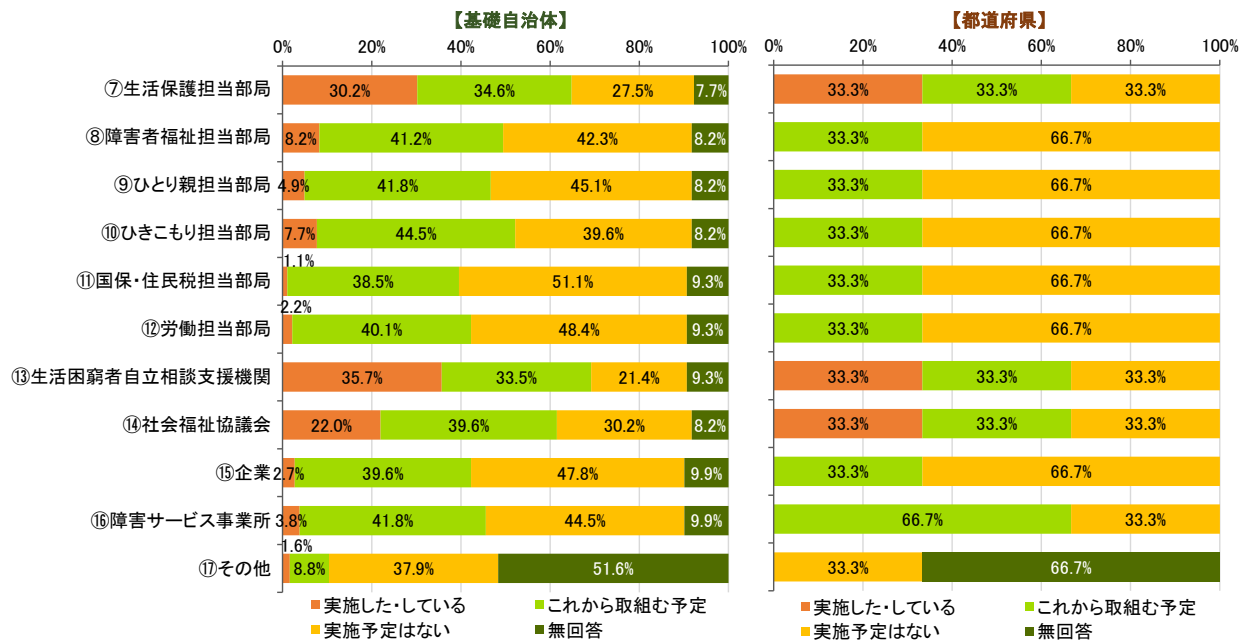
(6)「就労準備支援事業」の実施に向けた取組の進捗状況

		基礎自治体					都道府県				
		実施した・している	これから取組む予定	実施予定はない	無回答	合計	実施した・している	これから取組む予定	実施予定はない	無回答	合計
庁内担当部局内における準備状況	①課室内におけるタスクの整理	36 19.8%	70 38.5%	61 33.5%	15 8.2%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	②工程表の作成	29 15.9%	74 40.7%	65 35.7%	14 7.7%	182 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	③実施方法の検討	41 22.5%	76 41.8%	51 28.0%	14 7.7%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	④財政的効果の試算	27 14.8%	76 41.8%	63 34.6%	16 8.8%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	⑤予算案や人員配置案	43 23.6%	71 39.0%	53 29.1%	15 8.2%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	⑥部局長の承認	39 21.4%	71 39.0%	57 31.3%	15 8.2%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
庁内関係部局・庁外関係機関との調整状況	⑦生活保護担当部局	55 30.2%	63 34.6%	50 27.5%	14 7.7%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	⑧障害者福祉担当部局	15 8.2%	75 41.2%	77 42.3%	15 8.2%	182 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	⑨ひとり親担当部局	9 4.9%	76 41.8%	82 45.1%	15 8.2%	182 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	⑩ひきこもり担当部局	14 7.7%	81 44.5%	72 39.6%	15 8.2%	182 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	⑪国保・住民税担当部局	2 1.1%	70 38.5%	93 51.1%	17 9.3%	182 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	⑫労働担当部局	4 2.2%	73 40.1%	88 48.4%	17 9.3%	182 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	⑬生活困窮者自立相談支援機関	65 35.7%	61 33.5%	39 21.4%	17 9.3%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	⑭社会福祉協議会	40 22.0%	72 39.6%	55 30.2%	15 8.2%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	⑮企業	5 2.7%	72 39.6%	87 47.8%	18 9.9%	182 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	⑯障害サービス事業所	7 3.8%	76 41.8%	81 44.5%	18 9.9%	182 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
財政部局との調整状況	⑰その他	3 1.6%	16 8.8%	69 37.9%	94 51.6%	182 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	3 100.0%
	⑱予算要求	41 22.5%	69 37.9%	57 31.3%	15 8.2%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	⑲査定	21 11.5%	85 46.7%	59 32.4%	17 9.3%	182 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	⑳議会審議	4 2.2%	89 48.9%	70 38.5%	19 10.4%	182 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
事業準備に向けた取組状況	㉑議会承認	3 1.6%	91 50.0%	70 38.5%	18 9.9%	182 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	㉒上限人数を定めた委託契約等限定実施の検討	9 4.9%	72 39.6%	81 44.5%	20 11.0%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	㉓担い手の確保(受託候補事業者の選定)	19 10.4%	78 42.9%	68 37.4%	17 9.3%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	㉔協力企業等の開拓(受け皿及び出口開拓)	5 2.7%	86 47.3%	74 40.7%	17 9.3%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	㉕支援内容のメニュー化(プログラム化)	5 2.7%	88 48.4%	73 40.1%	16 8.8%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	㉖人員体制の構築(人材の確保、職員の配置)	13 7.1%	84 46.2%	67 36.8%	18 9.9%	182 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	㉗(委託の場合)公募手続きの実施	2 1.1%	71 39.0%	88 48.4%	21 11.5%	182 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%

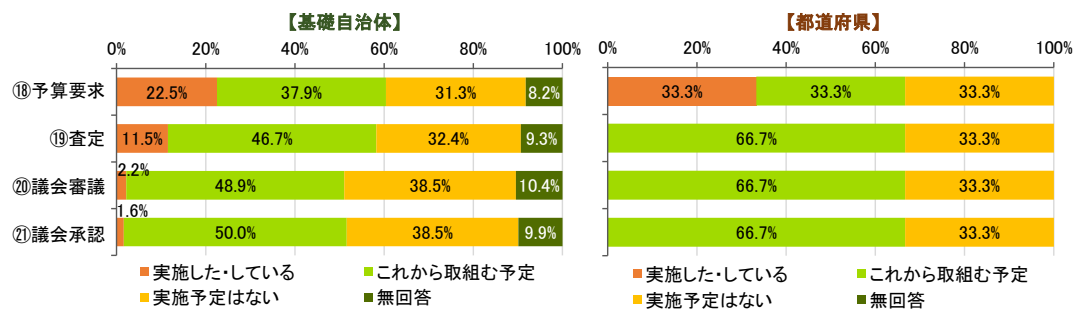
■庁内担当部局内における準備状況



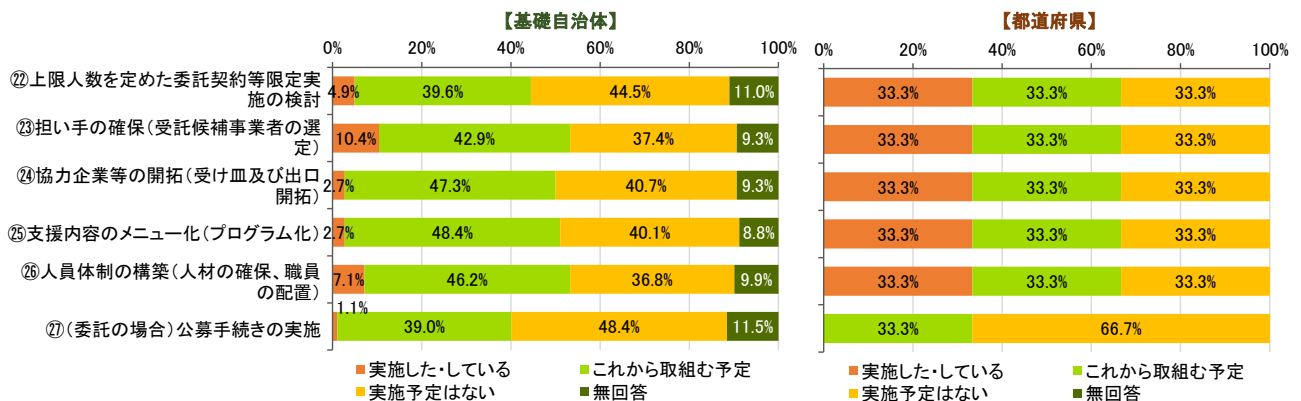
■庁内関係部局・庁外関係機関との調整状況



■財政部局との調整状況



■事業準備に向けた取組状況



V. 家計改善支援事業の実施に向けた取組状況

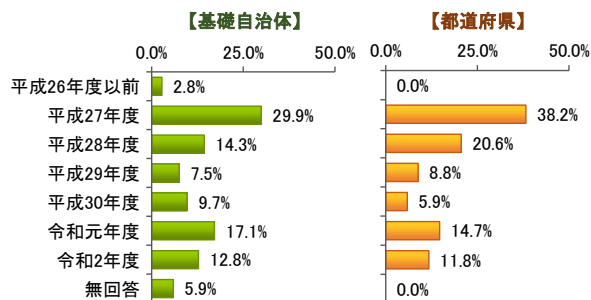
1. 家計改善支援事業を実施している自治体

※現在、「家計改善支援事業」を実施している自治体のみ

(1) 基本情報

① 家計改善支援事業の開始時期

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
平成26年度以前	9	2.8%	0	0.0%
平成27年度	96	29.9%	13	38.2%
平成28年度	46	14.3%	7	20.6%
平成29年度	24	7.5%	3	8.8%
平成30年度	31	9.7%	2	5.9%
令和元年度	55	17.1%	5	14.7%
令和2年度	41	12.8%	4	11.8%
無回答	19	5.9%	0	0.0%
合計	321	100.0%	34	100.0%



② 家計改善支援事業の運営方法と箇所数

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
直営	48	15.0%	2	5.9%
委託	263	81.9%	33	97.1%
直営+委託	5	1.6%	0	0.0%
全体	321		34	

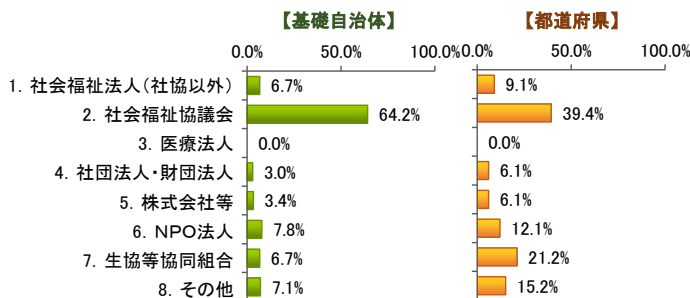
設置している自治体における平均箇所数

	基礎自治体	都道府県
	平均箇所数	平均箇所数
直営	1.0カ所	2.0カ所
委託	1.0カ所	2.1カ所
直営+委託	1.0カ所	
全体	1.0カ所	2.1カ所

■ 委託先

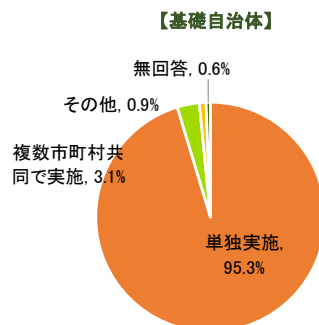
(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 社会福祉法人(社協以外)	18	6.7%	3	9.1%
2. 社会福祉協議会	172	64.2%	13	39.4%
3. 医療法人	0	0.0%	0	0.0%
4. 社団法人・財団法人	8	3.0%	2	6.1%
5. 株式会社等	9	3.4%	2	6.1%
6. NPO法人	21	7.8%	4	12.1%
7. 生協等協同組合	18	6.7%	7	21.2%
8. その他	19	7.1%	5	15.2%
全体	268		33	

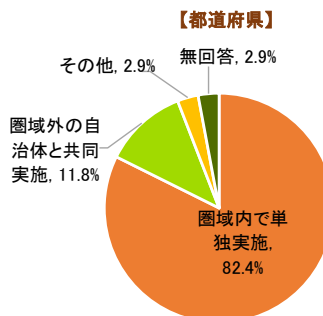


③ 実施方法

	基礎自治体	
	件数	%
単独実施	306	95.3%
複数市町村共同で実施	10	3.1%
その他	3	0.9%
無回答	2	0.6%
合計	321	100.0%

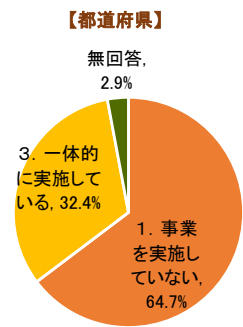
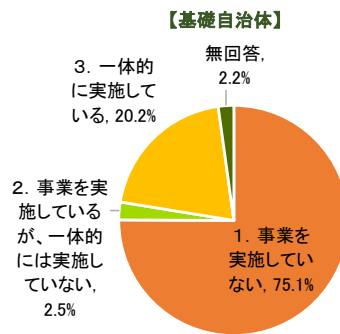


	都道府県	
	件数	%
圏域内で単独実施	28	82.4%
圏域外の自治体と共同実施	4	11.8%
その他	1	2.9%
無回答	1	2.9%
合計	34	100.0%



④被保護者家計改善支援事業との一体的な実施

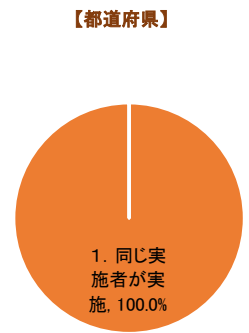
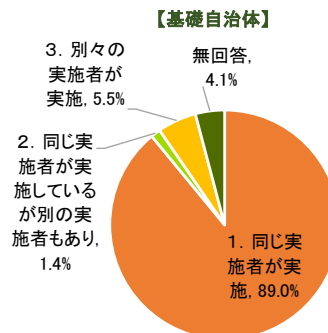
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 事業を実施していない	241	75.1%	22	64.7%
2. 事業を実施しているが、一体的には実施していない	8	2.5%	0	0.0%
3. 一体的に実施している	65	20.2%	11	32.4%
無回答	7	2.2%	1	2.9%
合計	321	100.0%	34	100.0%



※「2」「3」と回答した場合

④被保護者家計改善支援事業の実施者と家計改善支援事業の実施者

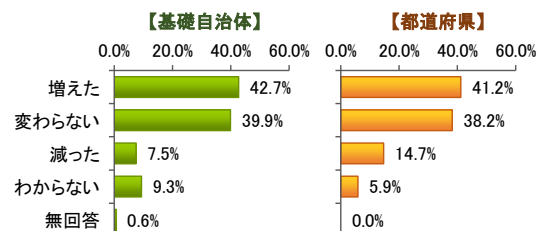
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 同じ実施者が実施	65	89.0%	11	100.0%
2. 同じ実施者が実施しているが別の実施者もあり	1	1.4%	0	0.0%
3. 別々の実施者が実施	4	5.5%	0	0.0%
無回答	3	4.1%	0	0.0%
合計	73	100.0%	11	100.0%



(2)家計改善支援事業の実施効果

①事業開始当初からの利用件数の変化

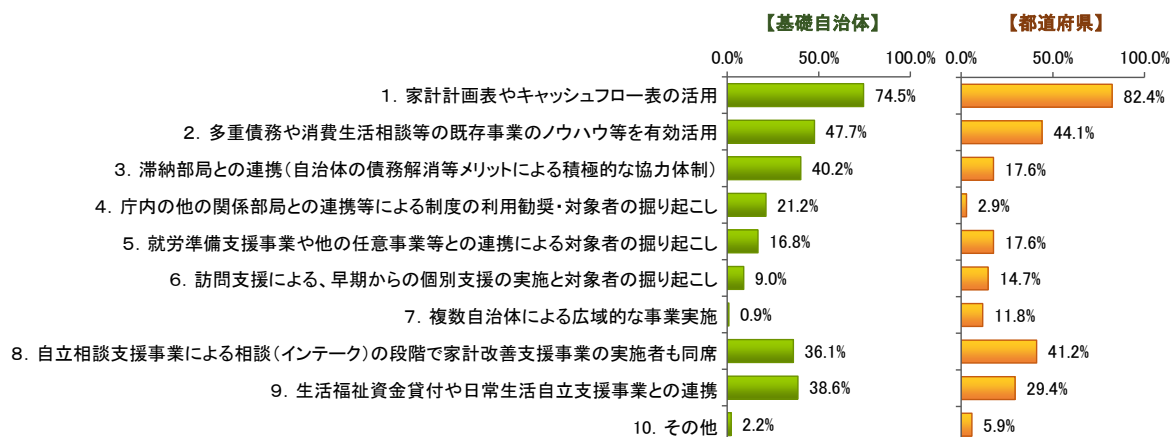
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
増えた	137	42.7%	14	41.2%
変わらない	128	39.9%	13	38.2%
減った	24	7.5%	5	14.7%
わからない	30	9.3%	2	5.9%
無回答	2	0.6%	0	0.0%
合計	321	100.0%	34	100.0%



②家計改善支援事業を効果的に進めるための取組のうち、特に事業効果につながっている取組

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 家計計画表やキャッシュフロー表の活用	239	74.5%	28	82.4%
2. 多重債務や消費生活相談等の既存事業のノウハウ等を有効活用	153	47.7%	15	44.1%
3. 滞納部局との連携(自治体の債務解消等メリットによる積極的な協力体制)	129	40.2%	6	17.6%
4. 庁内の他の関係部局との連携等による制度の利用勧奨・対象者の掘り起こし	68	21.2%	1	2.9%
5. 就労準備支援事業や他の任意事業等との連携による対象者の掘り起こし	54	16.8%	6	17.6%
6. 訪問支援による、早期からの個別支援の実施と対象者の掘り起こし	29	9.0%	5	14.7%
7. 複数自治体による広域的な事業実施	3	0.9%	4	11.8%
8. 自立相談支援事業による相談(インテーク)の段階で家計改善支援事業の実施者も同席	116	36.1%	14	41.2%
9. 生活福祉資金貸付や日常生活自立支援事業との連携	124	38.6%	10	29.4%
10. その他	7	2.2%	2	5.9%
全体	321		34	



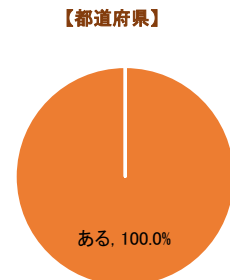
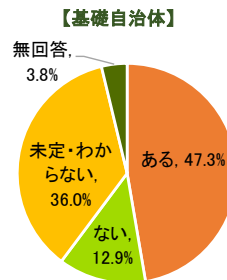
2. 家計改善支援事業を実施していない自治体

※現在、「家計改善支援事業」を実施していない自治体のみ

(1) 家計改善支援事業の実施状況

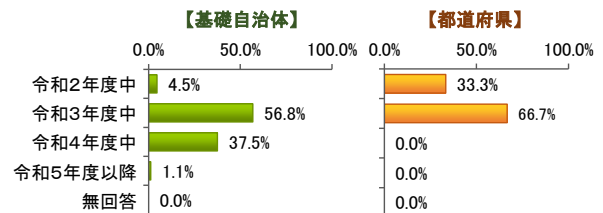
① 今後の家計改善支援事業の実施予定

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
ある	88	47.3%	3	100.0%
ない	24	12.9%	0	0.0%
未定・わからない	67	36.0%	0	0.0%
無回答	7	3.8%	0	0.0%
合計	186	100.0%	3	100.0%



■ 事業の実施予定時期

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
令和2年度中	4	4.5%	1	33.3%
令和3年度中	50	56.8%	2	66.7%
令和4年度中	33	37.5%	0	0.0%
令和5年度以降	1	1.1%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
合計	88	100.0%	3	100.0%

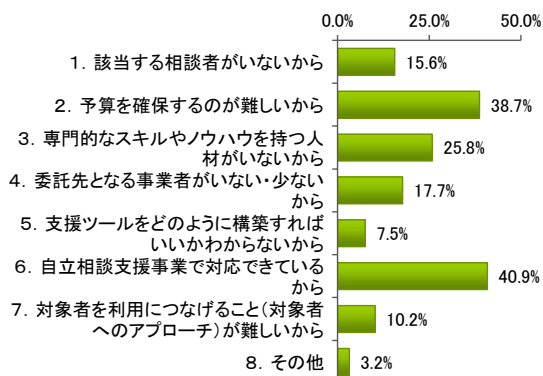


② 家計改善支援事業を実施していない理由

(複数回答)

	基礎自治体	
	件数	%
1. 該当する相談者がいないから	29	15.6%
2. 予算を確保するのが難しいから	72	38.7%
3. 専門的なスキルやノウハウを持つ人材がいないから	48	25.8%
4. 委託先となる事業者がいない・少ないから	33	17.7%
5. 支援ツールをどのように構築すればいいかわからないから	14	7.5%
6. 自立相談支援事業で対応できているから	76	40.9%
7. 対象者を利用につなげること(対象者へのアプローチ)が難しいから	19	10.2%
8. その他	6	3.2%
全体	186	

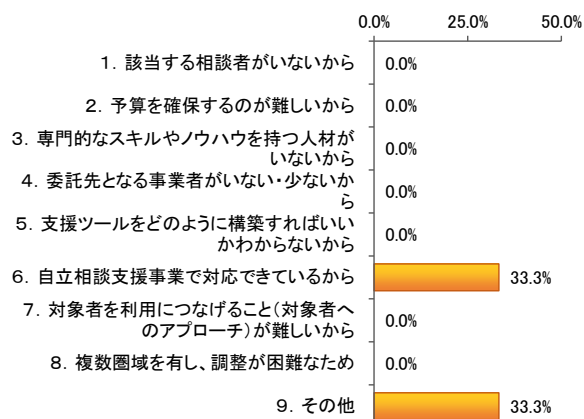
【基礎自治体】



(複数回答)

	都道府県	
	件数	%
1. 該当する相談者がいないから	0	0.0%
2. 予算を確保するのが難しいから	0	0.0%
3. 専門的なスキルやノウハウを持つ人材がいないから	0	0.0%
4. 委託先となる事業者がいない・少ないから	0	0.0%
5. 支援ツールをどのように構築すればいいかわからないから	0	0.0%
6. 自立相談支援事業で対応できているから	1	33.3%
7. 対象者を利用につなげること(対象者へのアプローチ)が難しいから	0	0.0%
8. 複数圏域を有し、調整が困難なため	0	0.0%
9. その他	1	33.3%
全体	3	

【都道府県】

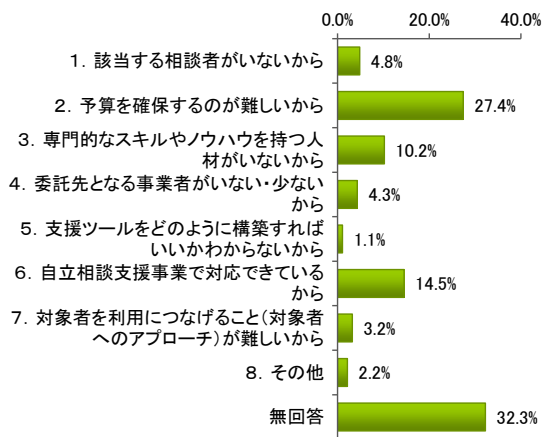


■家計改善支援事業を実施していない理由のうち、最も課題となっていること

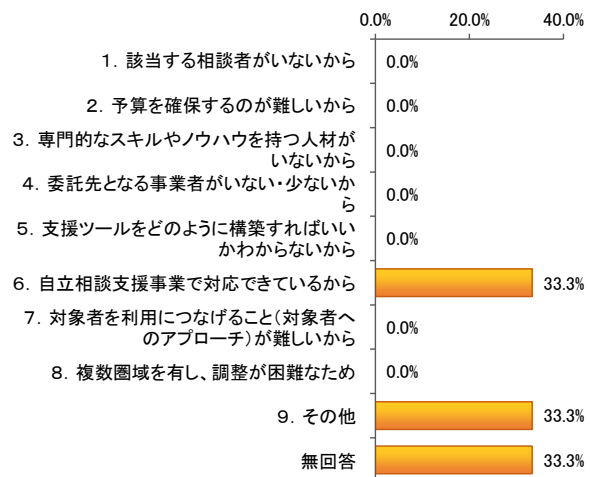
	基礎自治体	
	件数	%
1. 該当する相談者がいないから	9	4.8%
2. 予算を確保するのが難しいから	51	27.4%
3. 専門的なスキルやノウハウを持つ人材がいないから	19	10.2%
4. 委託先となる事業者がいない・少ないから	8	4.3%
5. 支援ツールをどのように構築すればいいかわからないから	2	1.1%
6. 自立相談支援事業で対応できているから	27	14.5%
7. 対象者を利用につなげること(対象者へのアプローチ)が難しいから	6	3.2%
8. その他	4	2.2%
無回答	60	32.3%
合計	186	100.0%

	都道府県	
	件数	%
1. 該当する相談者がいないから	0	0.0%
2. 予算を確保するのが難しいから	0	0.0%
3. 専門的なスキルやノウハウを持つ人材がいないから	0	0.0%
4. 委託先となる事業者がいない・少ないから	0	0.0%
5. 支援ツールをどのように構築すればいいかわからないから	0	0.0%
6. 自立相談支援事業で対応できているから	1	33.3%
7. 対象者を利用につなげること(対象者へのアプローチ)が難しいから	0	0.0%
8. 複数圏域を有し、調整が困難なため	0	0.0%
9. その他	1	33.3%
無回答	1	33.3%
合計	3	100.0%

【基礎自治体】



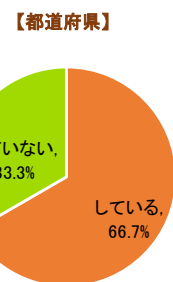
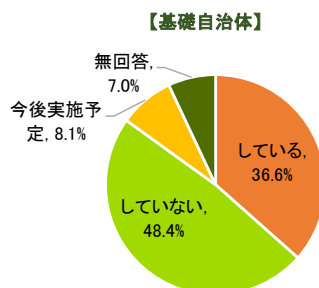
【都道府県】



(2) 家計改善支援事業の利用ニーズ

① これまでに家計改善支援事業の潜在的なニーズの把握の実施

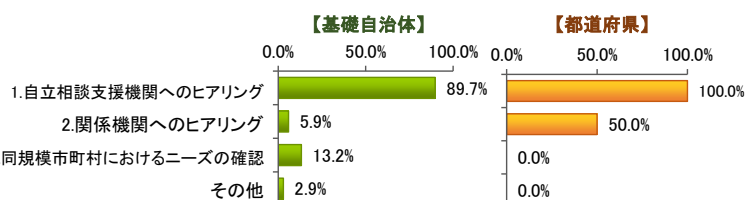
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
している	68	36.6%	2	66.7%
していない	90	48.4%	1	33.3%
今後実施予定	15	8.1%	0	0.0%
無回答	13	7.0%	0	0.0%
合計	186	100.0%	3	100.0%



② 把握方法

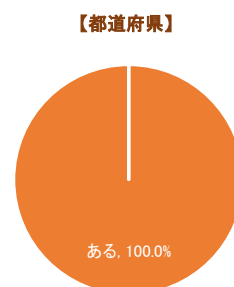
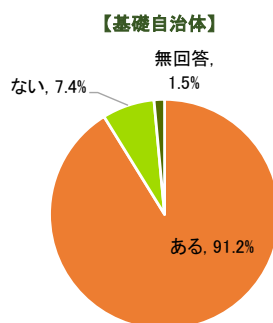
(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 自立相談支援機関へのヒアリング	61	89.7%	2	100.0%
2. 関係機関へのヒアリング	4	5.9%	1	50.0%
3. 同規模市町村におけるニーズの確認	9	13.2%	0	0.0%
その他	2	2.9%	0	0.0%
全体	68		2	



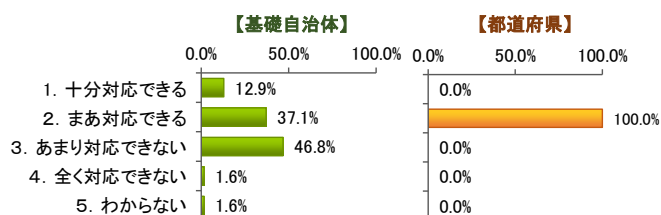
③ 潜在的なニーズの有無

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
ある	62	91.2%	2	100.0%
ない	5	7.4%	0	0.0%
無回答	1	1.5%	0	0.0%
合計	68	100.0%	2	100.0%



④ 把握されたニーズに対し、現状の人材・体制、支援メニューでの対応

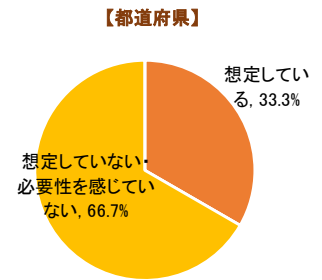
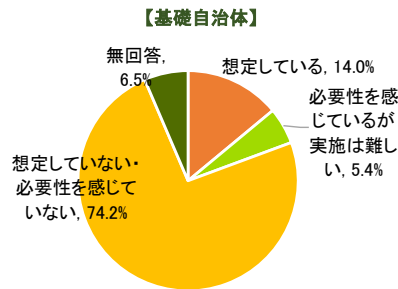
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 十分対応できる	8	12.9%	0	0.0%
2. まあ対応できる	23	37.1%	2	100.0%
3. あまり対応できない	29	46.8%	0	0.0%
4. 全く対応できない	1	1.6%	0	0.0%
5. わからない	1	1.6%	0	0.0%
全体	62	100.0%	2	100.0%



(3) 広域実施の検討について

① 家計改善支援事業の実施について検討する場合の広域実施の想定

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
想定している	26	14.0%	1	33.3%
必要性を感じているが実施は難しい	10	5.4%	0	0.0%
想定していない・必要性を感じていない	138	74.2%	2	66.7%
無回答	12	6.5%	0	0.0%
合計	186	100.0%	3	100.0%



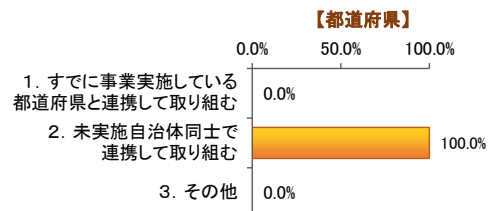
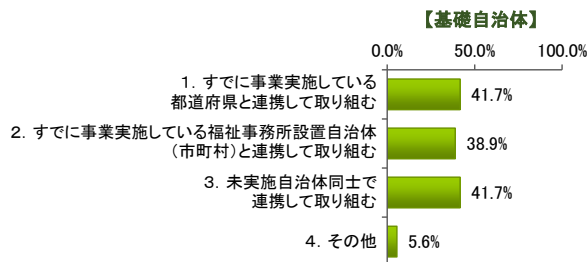
② 想定している広域連携

(複数回答)

	基礎自治体	
	件数	%
1. すでに事業実施している都道府県と連携して取り組む	15	41.7%
2. すでに事業実施している福祉事務所設置自治体(市町村)と連携して取り組む	14	38.9%
3. 未実施自治体同士で連携して取り組む	15	41.7%
4. その他	2	5.6%
全体	36	

(複数回答)

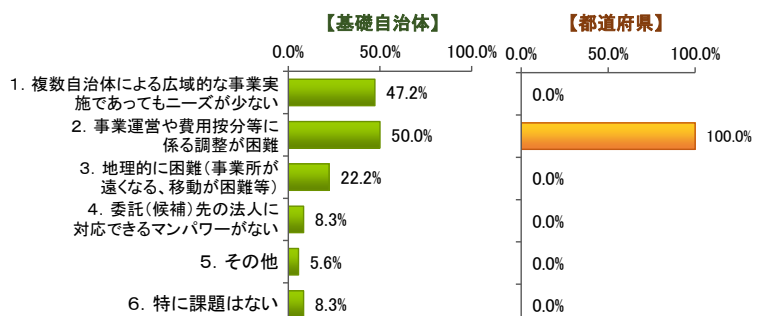
	都道府県	
	件数	%
1. すでに事業実施している都道府県と連携して取り組む	0	0.0%
2. 未実施自治体同士で連携して取り組む	1	100.0%
3. その他	0	0.0%
全体	1	



③ 広域実施を行うにあたっての課題

(複数回答)

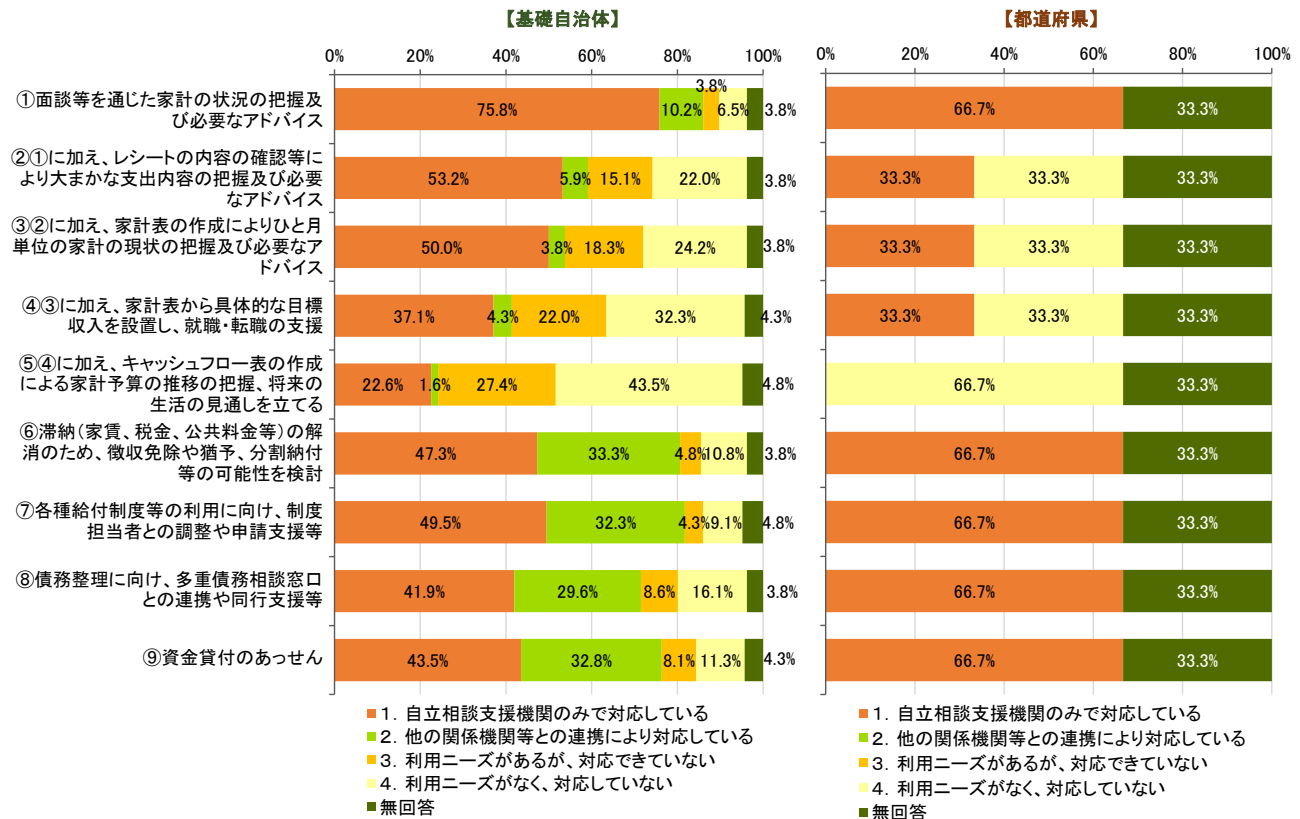
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 複数自治体による広域的な事業実施であってもニーズが少ない	17	47.2%	0	0.0%
2. 事業運営や費用按分等に係る調整が困難	18	50.0%	1	100.0%
3. 地理的に困難(事業所が遠くなる、移動が困難等)	8	22.2%	0	0.0%
4. 委託(候補)先の法人に対応できるマンパワーがない	3	8.3%	0	0.0%
5. その他	2	5.6%	0	0.0%
6. 特に課題はない	3	8.3%	0	0.0%
全体	36		1	



(4) 自立相談支援事業における家計支援

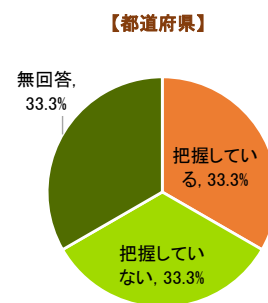
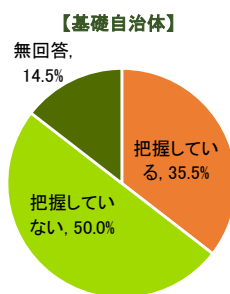
■ 自立相談支援事業における家計支援で対応している支援内容

	基礎自治体						都道府県					
	1. 自立相談支援機関のみで対応している	2. 他の関係機関等との連携により対応している	3. 利用ニーズがあるが、対応できていない	4. 利用ニーズがなく、対応していない	無回答	合計	1. 自立相談支援機関のみで対応している	2. 他の関係機関等との連携により対応している	3. 利用ニーズがあるが、対応できていない	4. 利用ニーズがなく、対応していない	無回答	合計
①面談等を通じた家計の状況の把握及び必要なアドバイス	141 75.8%	19 10.2%	7 3.8%	12 6.5%	7 3.8%	186 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
②①に加え、レシートの内容の確認等により大まかな支出内容の把握及び必要なアドバイス	99 53.2%	11 5.9%	28 15.1%	41 22.0%	7 3.8%	186 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%
③②に加え、家計表の作成によりひと月単位の家計の現状の把握及び必要なアドバイス	93 50.0%	7 3.8%	34 18.3%	45 24.2%	7 3.8%	186 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%
④③に加え、家計表から具体的な目標収入を設置し、就職・転職の支援	69 37.1%	8 4.3%	41 22.0%	60 32.3%	8 4.3%	186 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%
⑤④に加え、キャッシュフロー表の作成による家計予算の推移の把握、将来の生活の見通しを立てる	42 22.6%	3 1.6%	51 27.4%	81 43.5%	9 4.8%	186 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	3 100.0%
⑥滞納(家賃、税金、公共料金等)の解消のため、徴収免除や猶予、分割納付等の可能性を検討	88 47.3%	62 33.3%	9 4.8%	20 10.8%	7 3.8%	186 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
⑦各種給付制度等の利用に向け、制度担当者との調整や申請支援等	92 49.5%	60 32.3%	8 4.3%	17 9.1%	9 4.8%	186 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
⑧債務整理に向け、多重債務相談窓口との連携や同行支援等	78 41.9%	55 29.6%	16 8.6%	30 16.1%	7 3.8%	186 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
⑨資金貸付のあっせん	81 43.5%	61 32.8%	15 8.1%	21 11.3%	8 4.3%	186 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%



(5) 自立相談支援事業による家計改善支援の実施後の状況について

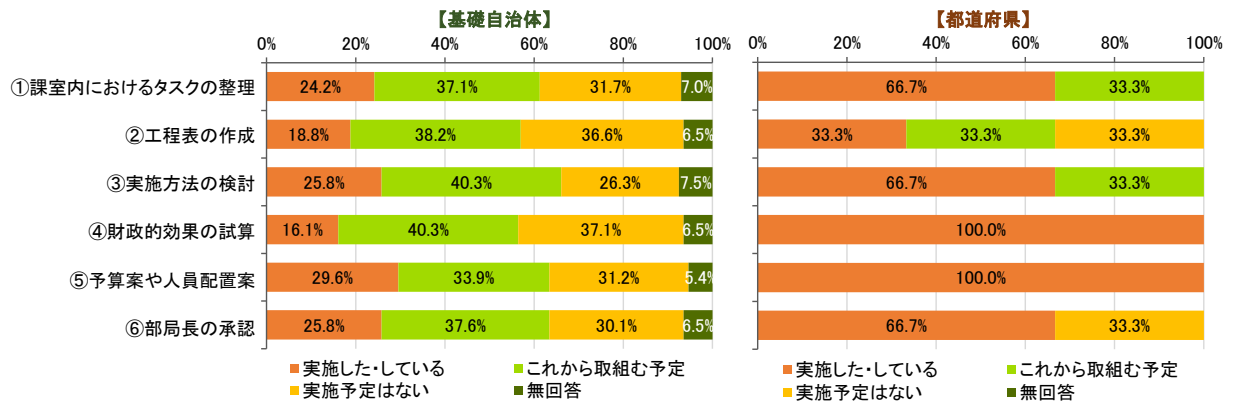
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
把握している	66	35.5%	1	33.3%
把握していない	93	50.0%	1	33.3%
無回答	27	14.5%	1	33.3%
合計	186	100.0%	3	100.0%



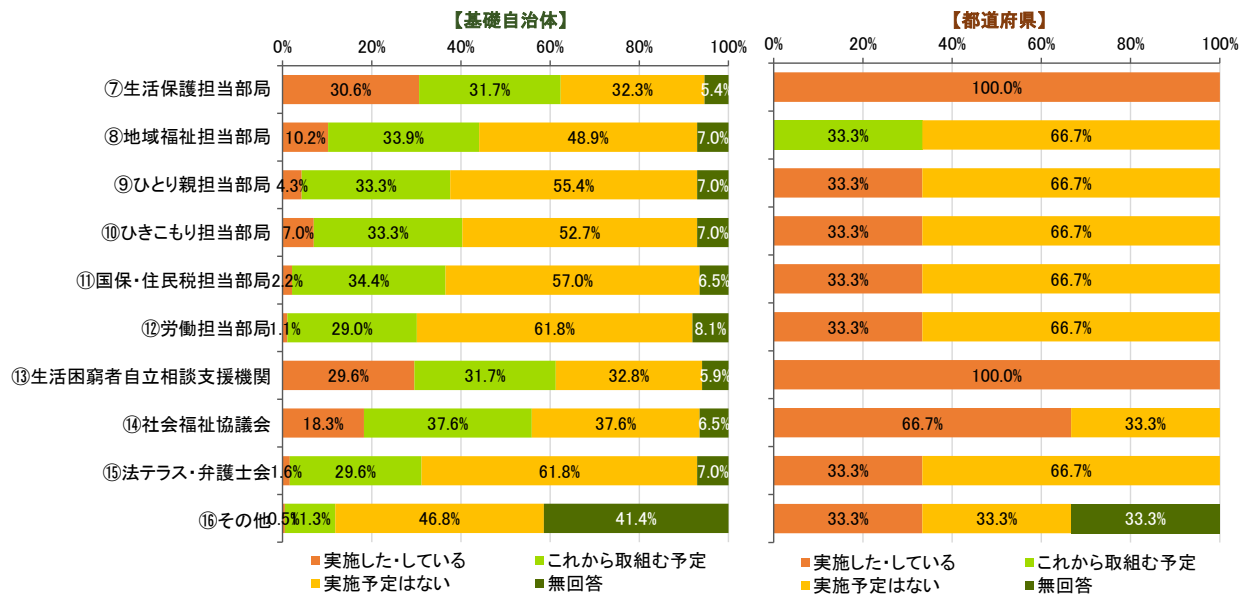
(6)「家計改善支援事業」の実施に向けた取組の進捗状況

		基礎自治体					都道府県				
		実施した・している	これから取組む予定	実施予定はない	無回答	合計	実施した・している	これから取組む予定	実施予定はない	無回答	合計
庁内担当部局内における準備状況	①課室内におけるタスクの整理	45 24.2%	69 37.1%	59 31.7%	13 7.0%	186 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	②工程表の作成	35 18.8%	71 38.2%	68 36.6%	12 6.5%	186 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	③実施方法の検討	48 25.8%	75 40.3%	49 26.3%	14 7.5%	186 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	④財政的効果の試算	30 16.1%	75 40.3%	69 37.1%	12 6.5%	186 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	⑤予算案や人員配置案	55 29.6%	63 33.9%	58 31.2%	10 5.4%	186 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	⑥部局長の承認	48 25.8%	70 37.6%	56 30.1%	12 6.5%	186 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
庁内関係部局・庁外関係機関との調整状況	⑦生活保護担当部局	57 30.6%	59 31.7%	60 32.3%	10 5.4%	186 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	⑧地域福祉担当部局	19 10.2%	63 33.9%	91 48.9%	13 7.0%	186 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	⑨ひとり親担当部局	8 4.3%	62 33.3%	103 55.4%	13 7.0%	186 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	⑩ひきこもり担当部局	13 7.0%	62 33.3%	98 52.7%	13 7.0%	186 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	⑪国保・住民税担当部局	4 2.2%	64 34.4%	106 57.0%	12 6.5%	186 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	⑫労働担当部局	2 1.1%	54 29.0%	115 61.8%	15 8.1%	186 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	⑬生活困窮者自立相談支援機関	55 29.6%	59 31.7%	61 32.8%	11 5.9%	186 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	⑭社会福祉協議会	34 18.3%	70 37.6%	70 37.6%	12 6.5%	186 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	⑮法テラス・弁護士会	3 1.6%	55 29.6%	115 61.8%	13 7.0%	186 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	⑯その他	1 0.5%	21 11.3%	87 46.8%	77 41.4%	186 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%
財政部局との調整状況	⑰予算要求	50 26.9%	66 35.5%	59 31.7%	11 5.9%	186 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	⑱査定	23 12.4%	87 46.8%	63 33.9%	13 7.0%	186 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	⑲議会審議	6 3.2%	87 46.8%	79 42.5%	14 7.5%	186 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	⑳議会承認	5 2.7%	87 46.8%	79 42.5%	15 8.1%	186 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
事業準備に向けた取組状況	㉑上限人数を定めた委託契約等限定実施の検討	8 4.3%	65 34.9%	101 54.3%	12 6.5%	186 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	㉒巡回相談の検討	7 3.8%	52 28.0%	115 61.8%	12 6.5%	186 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	㉓庁内関係部署や関係機関への利用促進に向けたアプローチ	7 3.8%	88 47.3%	79 42.5%	12 6.5%	186 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	㉔担い手の確保(受託候補事業者の選定)	23 12.4%	70 37.6%	82 44.1%	11 5.9%	186 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	㉕人員体制の構築(人材の確保、職員の配置)	19 10.2%	82 44.1%	73 39.2%	12 6.5%	186 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	㉖(委託の場合)公募手続きの実施	4 2.2%	62 33.3%	107 57.5%	13 7.0%	186 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%

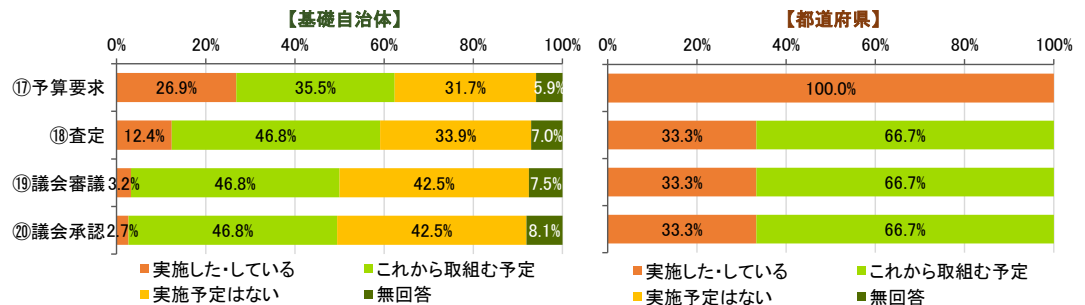
■庁内担当部局内における準備状況



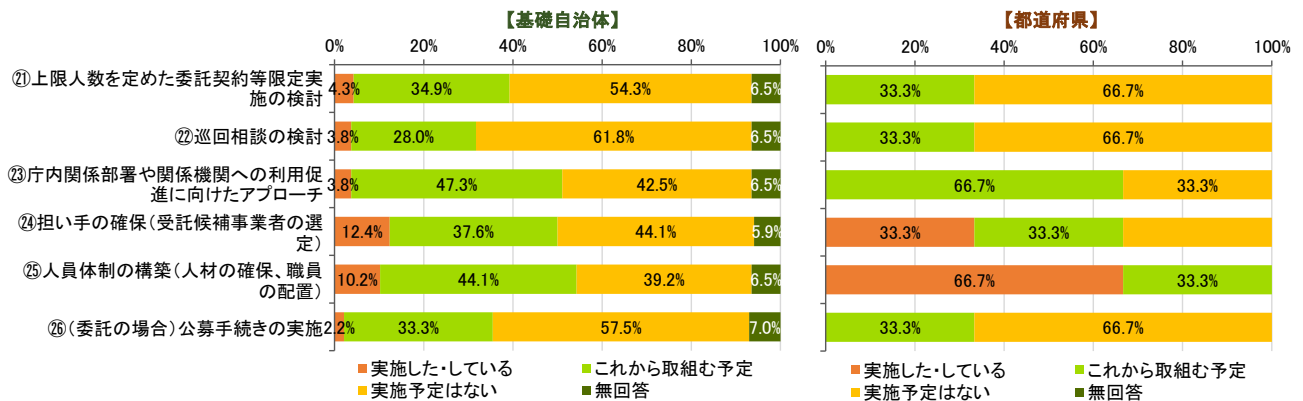
■庁内関係部局・庁外関係機関との調整状況



■財政部局との調整状況



■事業準備に向けた取組状況



VI. 新型コロナウイルス感染症の影響について

1. 自立相談支援機関等への相談の状況

※すべての自治体が回答

(1) 直近の新規相談件数及び住居確保給付金の支給実績

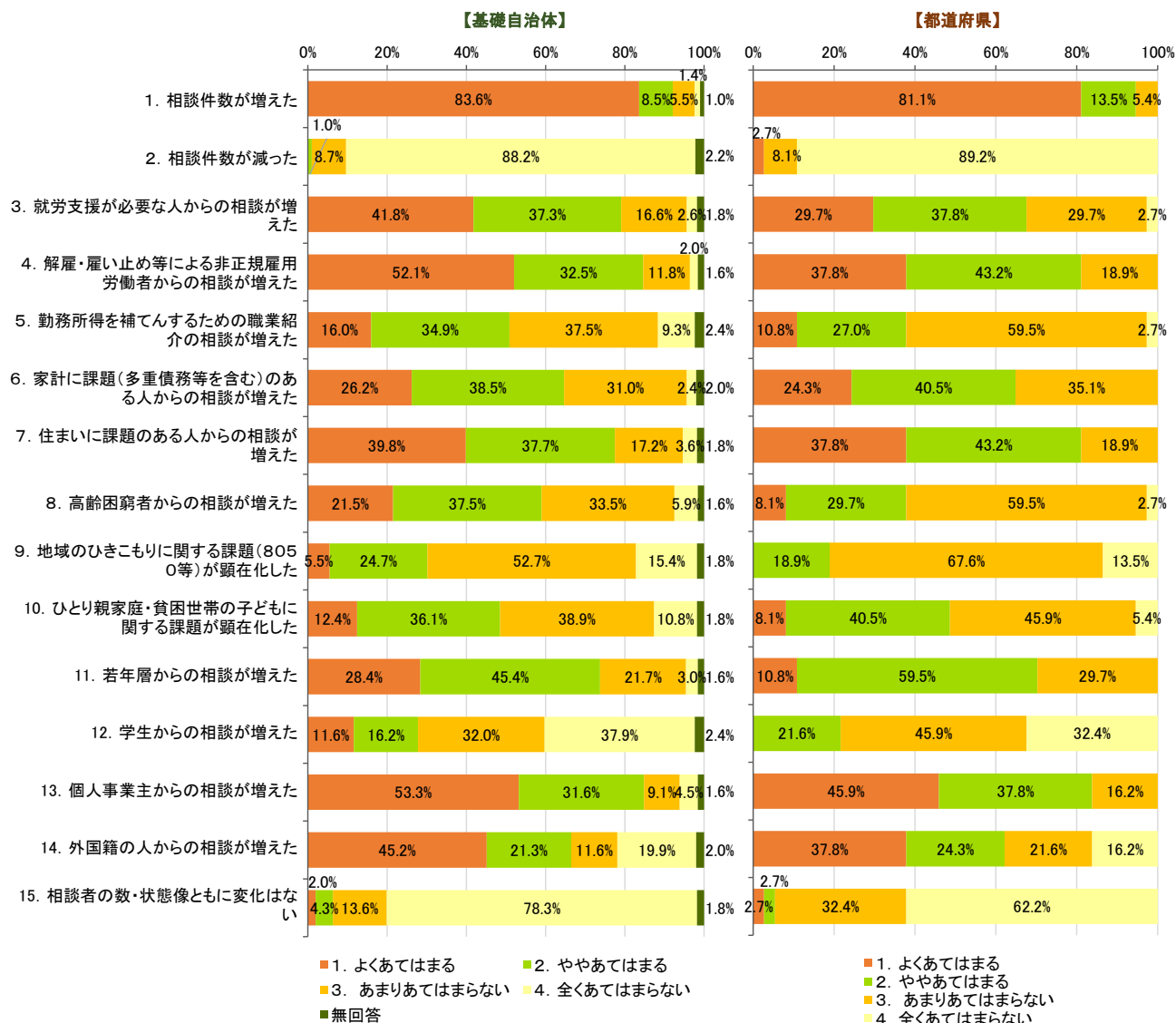
【平均件数】

		基礎自治体					都道府県				
		5月	6月	7月	8月	9月	5月	6月	7月	8月	9月
新規相談件数(自立相談支援機関)		140.1	100.0	80.8	84.9	91.7	104.9	71.5	71.4	85.4	100.0
住居確保給付金	相談件数	137.5	88.3	56.9	44.0	34.4	79.9	51.9	33.9	24.7	20.9
	申請件数	49.0	34.7	18.0	11.6	9.1	30.2	19.3	10.0	8.8	7.5
	支給件数	28.5	51.8	53.6	45.6	37.2	21.0	24.5	21.1	17.6	14.6

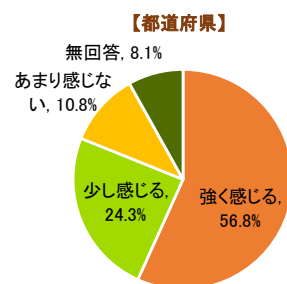
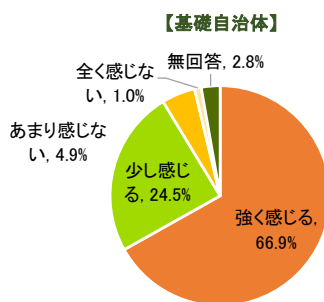
(2) 相談者の数・状態像の変化

① 新型コロナウイルス感染拡大の影響及び住居確保給付金の支給対象の拡大等に伴う、自立相談支援機関等の相談者の数・状態像の変化

	基礎自治体						都道府県					
	1. よくあてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. 全くあてはまらない	無回答	合計	1. よくあてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. 全くあてはまらない	無回答	合計
1. 相談件数が増えた	424 83.6%	43 8.5%	28 5.5%	7 1.4%	5 1.0%	507 100.0%	30 81.1%	5 13.5%	2 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
2. 相談件数が減った	0 0.0%	5 1.0%	44 8.7%	447 88.2%	11 2.2%	507 100.0%	1 2.7%	0 0.0%	3 8.1%	33 89.2%	0 0.0%	37 100.0%
3. 就労支援が必要な人からの相談が増えた	212 41.8%	189 37.3%	84 16.6%	13 2.6%	9 1.8%	507 100.0%	11 29.7%	14 37.8%	11 29.7%	1 2.7%	0 0.0%	37 100.0%
4. 解雇・雇い止め等による非正規雇用労働者からの相談が増えた	264 52.1%	165 32.5%	60 11.8%	10 2.0%	8 1.6%	507 100.0%	14 37.8%	16 43.2%	7 18.9%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
5. 勤務所得を補てんするための職業紹介の相談が増えた	81 16.0%	177 34.9%	190 37.5%	47 9.3%	12 2.4%	507 100.0%	4 10.8%	10 27.0%	22 59.5%	1 2.7%	0 0.0%	37 100.0%
6. 家計に課題(多重債務等を含む)のある人からの相談が増えた	133 26.2%	195 38.5%	157 31.0%	12 2.4%	10 2.0%	507 100.0%	9 24.3%	15 40.5%	13 35.1%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
7. 住まいに課題のある人からの相談が増えた	202 39.8%	191 37.7%	87 17.2%	18 3.6%	9 1.8%	507 100.0%	14 37.8%	16 43.2%	7 18.9%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
8. 高齢困窮者からの相談が増えた	109 21.5%	190 37.5%	170 33.5%	30 5.9%	8 1.6%	507 100.0%	3 8.1%	11 29.7%	22 59.5%	1 2.7%	0 0.0%	37 100.0%
9. 地域のひきこもりに関する課題(8050等)が顕在化した	28 5.5%	125 24.7%	267 52.7%	78 15.4%	9 1.8%	507 100.0%	0 0.0%	7 18.9%	25 67.6%	5 13.5%	0 0.0%	37 100.0%
10. ひとり親家庭・貧困世帯の子どもに関する課題が顕在化した	63 12.4%	183 36.1%	197 38.9%	55 10.8%	9 1.8%	507 100.0%	3 8.1%	15 40.5%	17 45.9%	2 5.4%	0 0.0%	37 100.0%
11. 若年層からの相談が増えた	144 28.4%	230 45.4%	110 21.7%	15 3.0%	8 1.6%	507 100.0%	4 10.8%	22 59.5%	11 29.7%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
12. 学生からの相談が増えた	59 11.6%	82 16.2%	162 32.0%	192 37.9%	12 2.4%	507 100.0%	0 0.0%	8 21.6%	17 45.9%	12 32.4%	0 0.0%	37 100.0%
13. 個人事業主からの相談が増えた	270 53.3%	160 31.6%	46 9.1%	23 4.5%	8 1.6%	507 100.0%	17 45.9%	14 37.8%	6 16.2%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
14. 外国籍の人からの相談が増えた	229 45.2%	108 21.3%	59 11.6%	101 19.9%	10 2.0%	507 100.0%	14 37.8%	9 24.3%	8 21.6%	6 16.2%	0 0.0%	37 100.0%
15. 相談者の数・状態像ともに変化はない	10 2.0%	22 4.3%	69 13.6%	397 78.3%	9 1.8%	507 100.0%	1 2.7%	1 2.7%	12 32.4%	23 62.2%	0 0.0%	37 100.0%

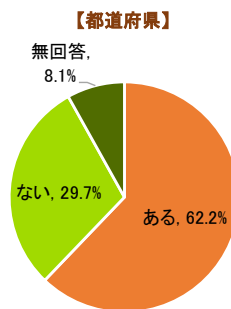
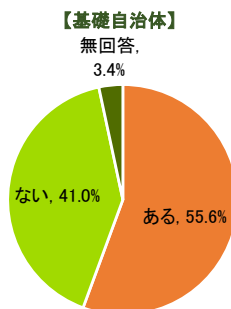


	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
強く感じる	339	66.9%	21	56.8%
少し感じる	124	24.5%	9	24.3%
あまり感じない	25	4.9%	4	10.8%
全く感じない	5	1.0%	0	0.0%
無回答	14	2.8%	3	8.1%
合計	507	100.0%	37	100.0%



(3)住居確保給付金の申請に係る相談のうち、自立相談支援機関のプランを作成することが適切と考えられたが、何らかの事情によりプランの作成・自立相談支援事業による継続的な支援につなげていないケース

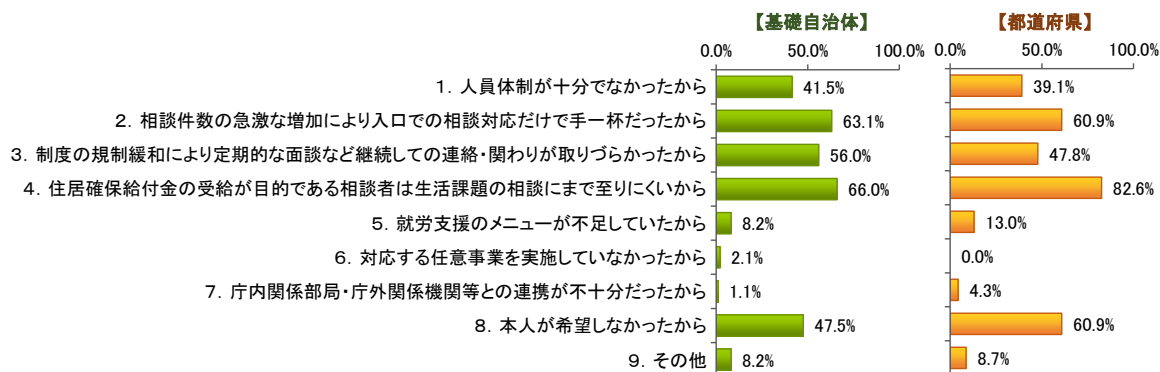
	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
ある	282	55.6%	23	62.2%
ない	208	41.0%	11	29.7%
無回答	17	3.4%	3	8.1%
合計	507	100.0%	37	100.0%



■その理由

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 人員体制が十分でなかったから	117	41.5%	9	39.1%
2. 相談件数の急激な増加により入口での相談対応だけで手一杯だったから	178	63.1%	14	60.9%
3. 制度の規制緩和により定期的な面談など継続しての連絡・関わりが取りづらかったから	158	56.0%	11	47.8%
4. 住居確保給付金の受給が目的である相談者は生活課題の相談にまで至りにくいから	186	66.0%	19	82.6%
5. 就労支援のメニューが不足していたから	23	8.2%	3	13.0%
6. 対応する任意事業を実施していなかったから	6	2.1%	0	0.0%
7. 庁内関係部局・庁外関係機関等との連携が不十分だったから	3	1.1%	1	4.3%
8. 本人が希望しなかったから	134	47.5%	14	60.9%
9. その他	23	8.2%	2	8.7%
全体	282		23	

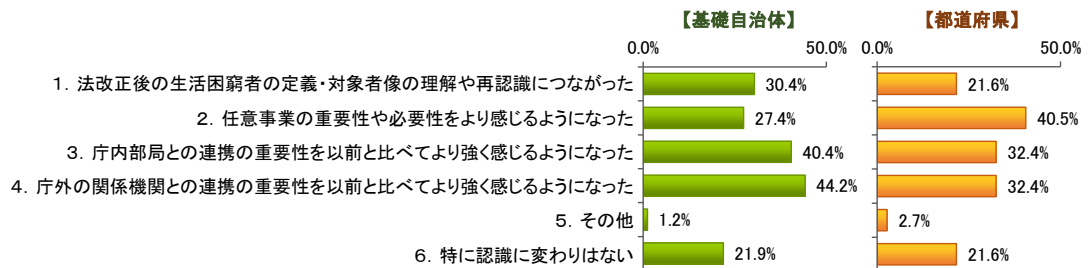


2. 生活に困窮される方への支援・自立相談支援機関等の強化について

■「1」で回答したような影響・変化を受けて生活困窮者自立支援制度の実施に対する認識の変化

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 法改正後の生活困窮者の定義・対象者像の理解や再認識につながった	154	30.4%	8	21.6%
2. 任意事業の重要性や必要性をより感じるようになった	139	27.4%	15	40.5%
3. 庁内部局との連携の重要性を以前と比べてより強く感じるようになった	205	40.4%	12	32.4%
4. 庁外の関係機関との連携の重要性を以前と比べてより強く感じるようになった	224	44.2%	12	32.4%
5. その他	6	1.2%	1	2.7%
6. 特に認識に変わりはない	111	21.9%	8	21.6%
全体	507		37	

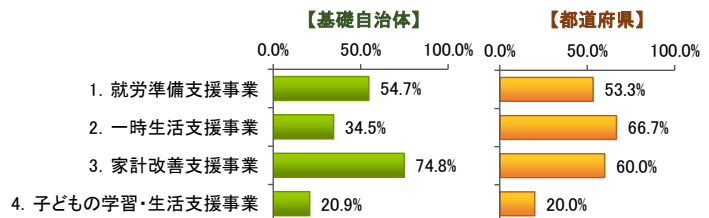


※「2. 任意事業の重要性や必要性をより感じるようになった」と回答した場合

■「重要性や必要性を感じる」と思う事業

(複数回答)

	基礎自治体		都道府県	
	件数	%	件数	%
1. 就労準備支援事業	76	54.7%	8	53.3%
2. 一時生活支援事業	48	34.5%	10	66.7%
3. 家計改善支援事業	104	74.8%	9	60.0%
4. 子どもの学習・生活支援事業	29	20.9%	3	20.0%
全体	139		15	



Ⅶ. 福祉事務所を設置していない町村による相談の実施状況

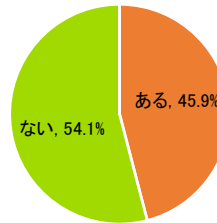
※すべての都道府県が回答

1. 町村における一次相談の実施状況

■「福祉事務所を設置していない町村における相談事業」を実施または今後実施予定の町村

	都道府県	
	件数	%
ある	17	45.9%
ない	20	54.1%
わからない・把握していない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	37	100.0%

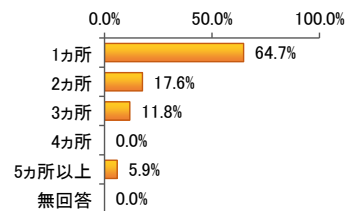
【都道府県】



■実施している・実施予定の町村の数

	都道府県	
	件数	%
1カ所	11	64.7%
2カ所	3	17.6%
3カ所	2	11.8%
4カ所	0	0.0%
5カ所以上	1	5.9%
無回答	0	0.0%
合計	17	100.0%

【都道府県】

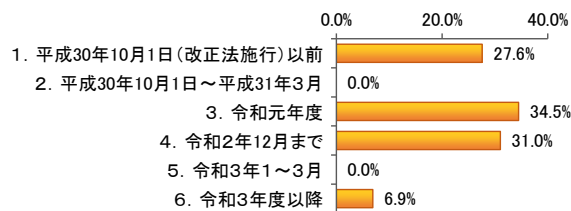


※「福祉事務所を設置していない町村における相談事業」を実施・実施予定の町村として回答のあった29町村について集計

■開始時期

	都道府県	
	件数	%
1. 平成30年10月1日(改正法施行)以前	8	27.6%
2. 平成30年10月1日～平成31年3月	0	0.0%
3. 令和元年度	10	34.5%
4. 令和2年12月まで	9	31.0%
5. 令和3年1～3月	0	0.0%
6. 令和3年度以降	2	6.9%
合計	29	100.0%

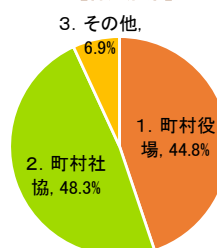
【都道府県】



■主な対応窓口

	都道府県	
	件数	%
1. 町村役場	13	44.8%
2. 町村社協	14	48.3%
3. その他	2	6.9%
無回答	0	0.0%
合計	29	100.0%

【都道府県】

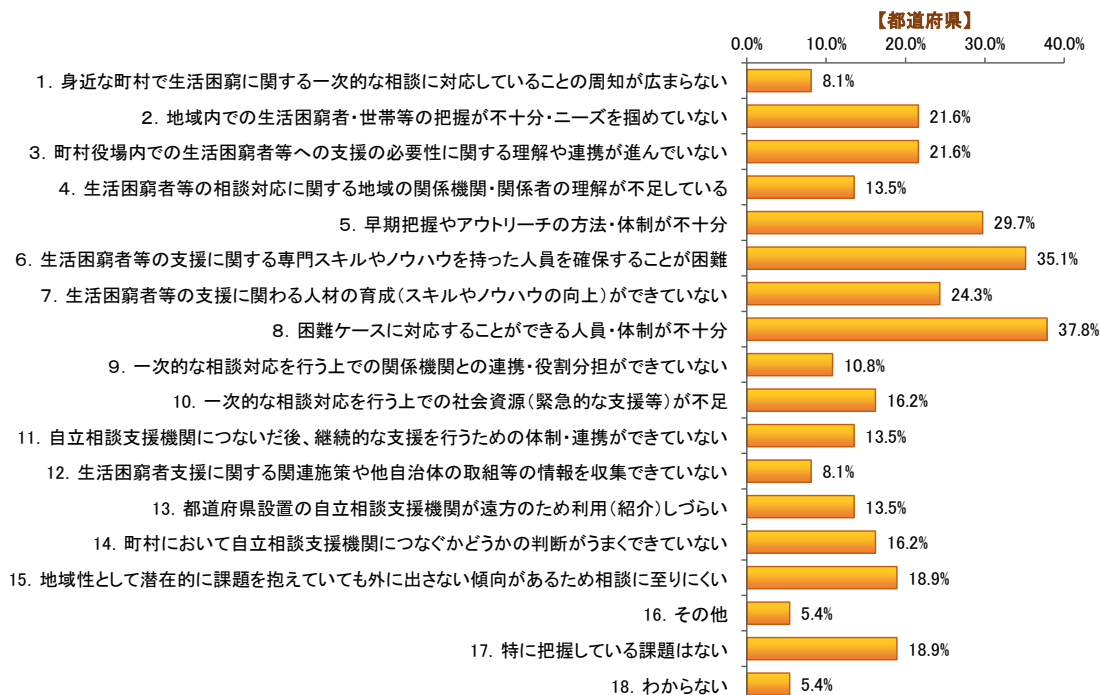


2. 町村における一次相談の実施上の課題

(1) 町村における一次相談の実施上の課題

(複数回答)

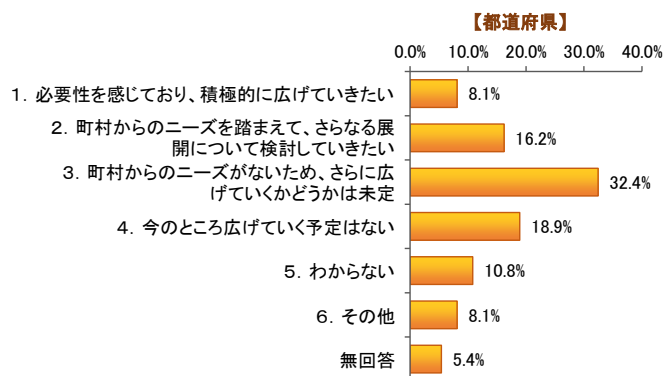
	都道府県	
	件数	%
1. 身近な町村で生活困窮に関する一次的な相談に対応していることの周知が広まらない	3	8.1%
2. 地域内での生活困窮者・世帯等の把握が不十分・ニーズを掴めていない	8	21.6%
3. 町村役場内での生活困窮者等への支援の必要性に関する理解や連携が進んでいない	8	21.6%
4. 生活困窮者等の相談対応に関する地域の関係機関・関係者の理解が不足している	5	13.5%
5. 早期把握やアウトリーチの方法・体制が不十分	11	29.7%
6. 生活困窮者等の支援に関する専門スキルやノウハウを持った人員を確保することが困難	13	35.1%
7. 生活困窮者等の支援に関わる人材の育成(スキルやノウハウの向上)ができていない	9	24.3%
8. 困難ケースに対応することができる人員・体制が不十分	14	37.8%
9. 一次的な相談対応を行う上での関係機関との連携・役割分担ができていない	4	10.8%
10. 一次的な相談対応を行う上での社会資源(緊急的な支援等)が不足	6	16.2%
11. 自立相談支援機関につないだ後、継続的な支援を行うための体制・連携ができていない	5	13.5%
12. 生活困窮者支援に関する関連施策や他自治体の取組等の情報を収集できていない	3	8.1%
13. 都道府県設置の自立相談支援機関が遠方のため利用(紹介)しづらい	5	13.5%
14. 町村において自立相談支援機関につなぐかどうかの判断がうまくできていない	6	16.2%
15. 地域性として潜在的に課題を抱えていても外に出さない傾向があるため相談に至りにくい	7	18.9%
16. その他	2	5.4%
17. 特に把握している課題はない	7	18.9%
18. わからない	2	5.4%
全体	37	



3. 福祉事務所未設置町村における相談事業の必要性

(1) 今後「福祉事務所を設置していない町村における相談事業」をさらに管内で展開していくことについて

	都道府県	
	件数	%
1. 必要性を感じており、積極的に広げていきたい	3	8.1%
2. 町村からのニーズを踏まえて、さらなる展開について検討していきたい	6	16.2%
3. 町村からのニーズがないため、さらに広げていくかどうかは未定	12	32.4%
4.今のところ広げていく予定はない	7	18.9%
5. わからない	4	10.8%
6. その他	3	8.1%
無回答	2	5.4%
全体	37	



Ⅷ. 広域行政としての都道府県内自治体への支援に関すること

※【全都道府県が回答】福祉事務所設置自治体としての業務（町村部の施行）ではなく、管内一般市等への支援

■管内自治体が効果的かつ効率的に事業を実施していくための支援

(複数回答)

	都道府県			
	法改正前 (H30.10.1以前)		法改正後 (H30.10.1以降)	
	件数	%	件数	%
1. 任意事業実施促進の働きかけ(複数自治体による広域的な事業実施体制の整備等)	21	53.8%	30	76.9%
2. 任意事業について、都道府県実施分との共同実施に向けた企画等	10	25.6%	14	35.9%
3. 都道府県の商工労働部門や住宅部門の専門的知見を活かした助言等	4	10.3%	6	15.4%
4. 一般市等が持つ社会資源のリスト化・共有	2	5.1%	5	12.8%
5. 就労訓練アドバイザーの設置	2	5.1%	2	5.1%
6. 就労体験・就労訓練の受入れ先の開拓	12	30.8%	17	43.6%
7. 都道府県が設置する居住支援協議会との関係づくりの支援	4	10.3%	6	15.4%
8. 都道府県研修の開催	28	71.8%	29	74.4%
9. 生活困窮者自立支援に関わる機関・団体等による支援者ネットワークづくり	13	33.3%	15	38.5%
10. 支援員向けのスーパーバイズ(市域を越えた経験豊富な支援員等による情報提供や助言等バックアップの取組)	4	10.3%	5	12.8%
11. 多職種も含めたネットワークづくり	7	17.9%	7	17.9%
12. その他	1	2.6%	2	5.1%
全体	39		39	

【都道府県】

